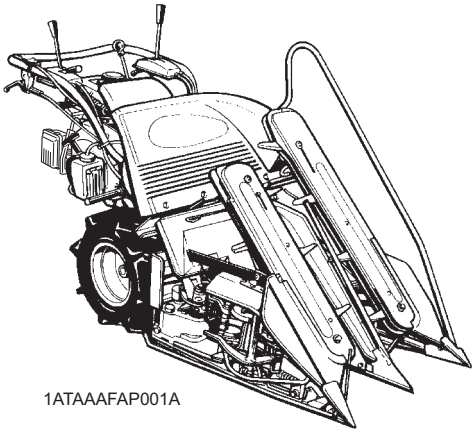
クボタバインダー

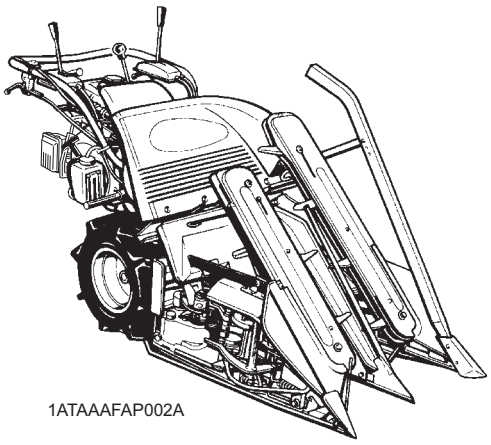
取扱説明書

Operator's Manual

RN55



1ATAAAFAP001A



1ATAAAFAP002A

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために，操作装置のシンボルマークが使用されています。シンボルマークの意味は下記のとおりですのでよく理解して戴き誤操作のないようご注意ください。

エンジン回転数“低回転”

エンジン回転数“高回転”

専門用語の説明

● 自動ひも通し	エンジンの圧縮ガスを利用し，結束ひもを自動で通す部分。【HD・SD】に標準装備。
● ひもブレーキ圧	結束ひもの供給量を調節し，束のしまり状態，結束ミスの種類により切換えます。
● ホルダバネ圧	結束するとき結束ひもを保持し，ひもの種類により切換えます。
● ビルバネ圧	結束するとき結び目を作り，その結び目の状態で調節します。
● ドア	結束するとき，結束クラッチを感知する部分。束の大きさにより調節します。
● パチンコ	結束ミスの一種。
● 分草かん	未刈側作物を分けていく部分。作物の倒伏状態により位置を変更します。
● スイングデバイダ	長かん作物で，倒伏のひどいとき，作物をやさしく分草する部分。【SD】に標準装備。
● 長かん分草金具	長かん倒伏作物を刈取るとき，穂先の搬送を向上する部品。【SD】に標準装備。
● 大径湿田タイヤ	空気圧ゼロの湿田用タイヤで，２輪２条に装着可能。【S・DS・HDS・SDS】に標準装備。
● 大径特殊低ラグタイヤ	土の付着の少ない空気圧 19.6kPa(0.2kgf/cm^2) の超粘土質ほ場用タイヤで，２輪２条に装着可能。【M・DM・HDM・SDM】に標準装備。
● 自動刈取クラッチ	作物の有無を感知し，自動的に刈取部の作動を断続する部分。【D・HD・SD】に標準装備。
● 安全ピン	刈取部に異常負荷発生のとき，部品の破損を防ぐための部品。
● セーフティスタート	シャトルシフトレバーが“N”（中立）の位置でエンジンが始動可能な構造。

はじめに

このたびはクボタ製品をお買上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいてじゅうぶん理解され，お買上げの製品がすぐれた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また，お読みになったあとも製品に近接して保存し，わからないことがあったときには取出してお読みください。なお，品質・性能向上あるいは安全上，使用部品の変更を行なうことがあります。その際には，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げの販売店に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

⚠ 危険	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警告	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注意	注意事項を守らないと，ケガを負うおそれのあるものを示します。
重要	注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。
補足	その他，使用上役立つ補足説明を示します。

本製品の使用目的について

本製品は，稲・麦の刈取り用の作業機としてご使用ください。
使用目的以外の作業や改造はしないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は，保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳細は保証書をご覧ください。）

仕様について

この取扱説明書では，仕様の異なる製品を下記のように表示していますので，お買上げの製品の仕様をお確かめのうえ，お間違いのないようお願いいたします。
なお，説明は“HD 仕様”を基本とし，“HD 仕様”と取扱いが異なる場合はそのつど追加説明してあります。従って，機種及び仕様区分によっては付いていない装置の説明もあります。

基本型式の表示

【例】RJN55 - SD S
①　②　③

①車輪・刈取条数によって
・２輪２条刈り

②諸装置の仕様によって（別表参照）
・“標準仕様”（表示なし）
・“D 仕様”
・“HD 仕様”
・“SD 仕様”

仕様(区分) / 諸装置	標準	D	HD	SD
自動ひも通し装置	—	—	○	○
自動刈取り装置	—	○	○	○
集中注油装置	—	○	○	○
スイングデバイダ	—	—	—	○
予備ひも載せ	—	○	○	○
カマ差し	○	○	○	○

③タイヤによって
・広幅低ラグタイヤ　　･･･ 標準
・大径特殊低ラグタイヤ　　･･･“M 仕様”
・大径湿田タイヤ　　･･･“S 仕様”

目　次

⚠安全に作業するために

⚠安全に作業するために..... ⚠-1
1．安全作業をするため次のことがらを必ず守ってください。..... ⚠-1
2．⚠表示ラベルと貼付位置..... ⚠-8
3．⚠表示ラベルの手入れ ..... ⚠-12

サービスと保証について

サービスと保証について 1
ご相談窓口 1
補修用部品の供給年限について 1

諸装置の説明

諸装置の説明 2
機体方向説明 2
装置の名称と各部のはたらき 3
エンジンスイッチ 4
アクセルレバー 4
チョークレバー 4
リコイルスタータ 4
主変速レバー 5
シャトルシフトレバー 5
操向クラッチレバー 5
刈取クラッチレバー 5
ジェットレバー【HD・SD】..... 6
注油ポンプレバー【D・HD・SD】..... 6
自動刈取センサ【D・HD・SD】..... 6
駐車ブレーキレバー 6

運転前の点検

運転前の点検 7
日常点検項目 8
集中注油装置による注油【D・HD・SD】..... 10
オイルタンクへの給油 10
集中注油の操作 11
集中注油による注油箇所 12
注油ノズルの外し方 12
配管ホースの外し方 12

エンジンの始動と停止

エンジンの始動と停止 13
エンジンの始動と停止のしかた 13
エンジンの始動のしかた 13
エンジンの停止のしかた 15

バインダーの運転

バインダーの運転 16
新車のときの扱い方 16
新車のときの扱い方 16
発進のしかた 17
発進 17
停車のしかた 18
停車 18
ほ場間の移動のしかた 18
ほ場間の移動 18
トラックへの積込み・積降しのしかた ... 19
トラックへの積込み・積降ろし 19

上手な刈取り作業のしかた

上手な刈取り作業のしかた 21
バインダー作業ができる作物とほ場条件 21
作物の条件 21
ほ場の条件 21
刈取り作業前の準備 22
タイヤの取付け位置 22
タイヤの空気圧 22
自動ひも通しの使い方【HD・SD】..... 23
予備ひもの積載【D・HD・SD】..... 26
結束ひもの取扱い 26
束の大きさの調節 27
ハンドル高さの調節 28
作物条件に応じた各部の調整 29
倒伏状態と刈り方 29
倒伏状態と分草かんの使い方 30
デバイダの使い方 30
株元払いかんの使い方 31
わら押え棒の取扱い 31
引起し爪作用高さの調整 31
刈取り作業について 32

刈取り作業の注意点 32
雑草の多い田畑の刈取り 32
露や雨にぬれた作物の刈取り 32
湿田の刈取り 33
短かんで稲株が小さい作物の刈取り
【D・HD・SD】 34
作業中の故障対策 35
ほ場の手刈り 35
刈取り作業の操作 36
旋回のしかた 37
ほ場の形状による刈り方 37
麦の刈取り 38
麦の刈取り方法 38
密植した作物の刈取り 38

メンテナンス

メンテナンス 39
給油・点検調整一覧表 39
注油・給油一覧表 39
点検調整一覧表 40
毎日作業前 41
20～30アールごと 41
集中注油装置による注油箇所
【D・HD・SD】 41
油差し（手動）による注油箇所
【標準】 41
走行クラッチワイヤ・
シャトルワイヤの調整 42
駐車ブレーキワイヤの調整 42
操向クラッチワイヤの調整 42
刈取クラッチワイヤの調整 42
搬送ベルトの張り調整 42
50～60アールごと 42
注油箇所 42
100アールごと 44
エアクリーナの掃除 44
エンジンオイルの交換 44
ミッションケースのオイル交換 44
結束ケースのオイル交換 45
チェーンケースのオイル交換 45
200アールごと 45
エンジンオイルの給油・交換 45
ミッションケースの給油・交換 45
チェーンケースの給油・交換 46
結束ケースの給油・交換 47
グリース補給箇所 47
走行クラッチワイヤの調整 47
駐車ブレーキワイヤの調整 48
シャトルワイヤの調整 48
操向クラッチワイヤの調整 49
搬送ベルトの張り調整 49
刈刃部の整備 50
自動刈取クラッチの調整
【D・HD・SD】 51
フューエルフィルタの掃除 52
電気配線の損傷及び
接続部のゆるみの点検 53
その他の整備 54
引起しチェーンの張り調整 54
安全ピンの交換 54
点火プラグの調整 56
冷却ファンの掃除 57
リコイルスタータの空気吸込み部
の掃除 57

使用後の手入れと長期格納

使用後の手入れと長期格納 58
使用後の手入れ 58
長期格納のときの手入れ 58
使用者が行ってはいけない修理 60
廃棄物の処理について 60
洗車時の注意 61

結束ミスが出たら

結束ミスが出たら･･･ 62
結束ミスが出たときの点検 62
束の放出が悪いとき 62
結束ミスの原因と処置 63

【SD】仕様（スイングデバイダ付き）のお客様へ

**【SD】仕様（スイングデバイダ付き）
のお客様へ 66**
スイングデバイダの操作 66
前後調節式デバイダの操作 66
注油箇所 67
倒伏作物の刈り方 67
分草かんの使い方 67
長かん分草金具の使い方 68

【標準・D】仕様のお客様へ

【標準・D】仕様のお客様へ 69
結束ひもについて 69
結束ひもの通し方 69
刈取クラッチレバーの操作【標準】..... 72

付表

付表 73
主要諸元 73
自動刈取クラッチ【D・HD・SD】..... 73
自動刈取クラッチ【D・HD・SD】..... 74
付属部品 75
クボタ純正オイル 76
アタッチメント 77
搬送ベルト 77
車輪 77
株元払いかん 77
ホイール，キット（S. フロート）..... 78
ホイール，キット（M. フロート）..... 78
倒伏分草桿 78
ホイール，キット
（WH. フロート）..... 78
ひも通しワイヤ 79
デバイダ，キット（スイング）..... 79
センサキット 79
セツダンバアッシ（5AO66-5530-4）.... 79
主な消耗部品一覧表 81
結束ひも 83

⚠ 安全に作業するために　　必ず読んでください。

本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠警告・⚠注意・重要・補足としてそのつど取上げています。
更に安全に関した事項を抜粋した『製品取扱エフ』を添付しておりますので，よくお読みいただいて必ず守ってください。

1. 安全作業をするため次のことがらを必ず守ってください。

⚠安全指示順守

■ 本書および本機の警告ラベルをよく読み理解してください。

- 警告ラベルはいつもきれいにしておいてください。
- 破損・紛失したときは，注文して再度貼付けてください。
- 正しい運転，作業方法をよく覚えてください。
- 製品を勝手に改造しないでください。安全性をそこなったり機能や寿命低下の原因になります。
- 本書記載事項以外についても安全には細心の注意を払ってください

M-6215A

⚠適格者運転

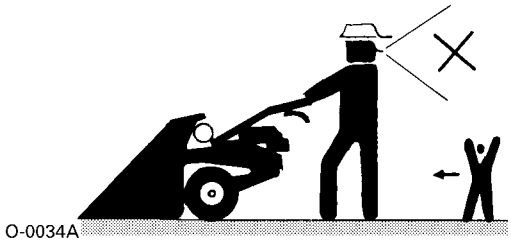
■ 次の方はバインダーを使用しないでください。

- お酒を飲んでいる方，睡眠不足の方，妊娠中のご婦人，16 才未満の方，過労気味で正常な運転が困難な方は使用しないでください。
- 初めて使用する方は操作に慣れるまで，“**低速**”で運転してください。

M-6216A

⚠子供が近づくのは危険

■ 点検，整備中及び刈取り作業中，本機に子供を近づけないでください。

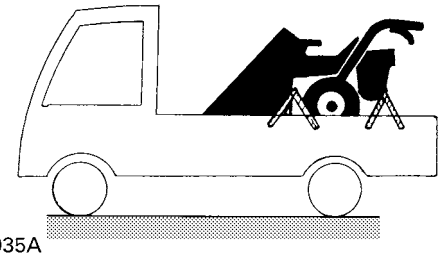

O-0034A

⚠ 安全に作業するために

⚠移動走行

■ **このバインダーは，一般道路を走行することはできません。**

● 移動するときは,トラックなどで輸送してください。



O-0035A

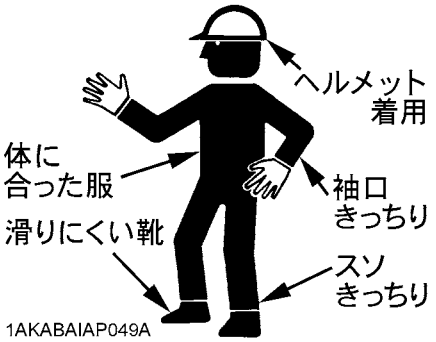
⚠安全な服装

■ **作業に合った服装および健康状態**

● 作業にあったキチンとした作業着を着用してください。

● だぶついた服装は，回転部に巻込まれやすく危険です。また靴は，すべらないものを使用してください。

● ヘルメット，滑りにくい靴を着用し，必要に応じて安全靴，保護メガネや手袋などを着用してください。



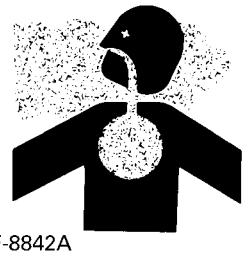
1AKABAIAP049A

⚠排気ガスに注意

■ **エンジンの排気ガスは有毒です。**

● 屋内で運転する場合は，適切な換気をしてください。

● ドアや窓を開け，外気がじゅうぶん入るようにしてください。



F-8842A

⚠燃料の取扱いは安全に－火気厳禁

■ **燃料は非常に燃えやすく危険です。**
取扱いには，十分注意してください。

● 燃料補給中は火気を近づけないでください。くわえタバコや，裸火照明はしないでください。

● 燃料補給は，エンジンを止めて冷えてから，行なってください。

● 燃料はタンク規定量を補給してください。

● 燃料やオイルが，こぼれたときは，きれいにふきとってください。

● 燃料補給後，タンクキャップは，もれないように，しっかり締めてください。

B-1499A

⚠作業開始前点検（日常点検）の実施

■ **運転の前に，8 ページの点検項目の点検をしてください。**
異常があれば整備してから運転してください。

● 点検は，平たんで安定した場所で行なってください。

■ **点検，整備，調整，掃除，燃料の補給，注油，グリースの補給をするときは，エンジンを止めてください。**

● 集中注油するときは，エンジン回転を“**低速**”にし主変速レバーを“N”（中立）にし，刈取部を作動しながら行なってください。【D・HD・SD】

● マフラやエンジン周辺部にわらくずがたまっていると火災の原因となり危険です。きれいに取り除いてください。

● 燃料，油脂は指定のものを使用してください。

■ **点検，掃除などで外したカバー類は，必ず取付けてください。**

■ **自動ひも通しで，結束ひもを通すときは，周囲の人にじゅうぶん注意して行なってください。【HD・SD】**

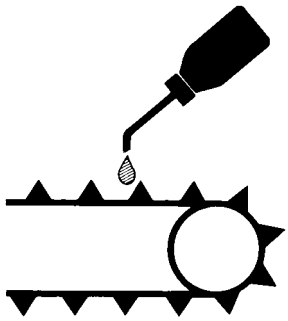
● 手動で結束ひもを通すときは，エンジンを必ず止めて行なってください。【標準・D】

● ニードルよりひもを引っ張り出すときは，“**わら押え棒**”に目があたらないよう注意してください。

● ホルダに結束ひもを通す場合は，エンジン回転を“**低速**”にし結束部の回転部分に触れないように注意してください。

M-6220A

M-6527A


M-6621A

⚠機械を動かす場合は安全に注意

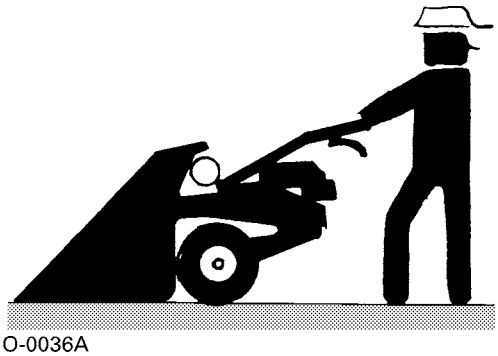
■ **機械を動かす場合は周囲および足元の安全に気をつけてください。**

● エンジンを始動するときは，機械が動かないように，平たんな場所に置き，必ず駐車ブレーキレバーを“**入**”にし，主変速レバーを“N”（中立），シャトルシフトレバーを“N”（中立），刈取りクラッチレバーを“**停止**”にし，周囲の人に合図をし運転位置で行なってください。

● シャトルシフトレバーが“**前進**”又は“**後進**”位置では，エンジンは始動しません。（セーフティスタート）

● リコイルスタータを引っ張るときは，手が周囲の人や物にあたらないことを，確かめて行なってください。

● 機械の発進や刈取部を運転するときは，周囲の人に合図をし，安全を確認して人を機械に近づけないでください。


O-0036A

⚠ 安全に作業するために

⚠安全なトラック輸送

■ **あゆみ板でのトラックなどへの積込み・積降しは，平たんな場所で“低速刈取”で行なってください。**

● トラックは駐車ブレーキをかけ“**車止め**”を確実に行なってください。

● あゆみ板は，すべり止めのついたバインダーの機体質量に耐えるもので，トラックの荷台の高さの“1”に対しあゆみ板の長さ“**4以上**”のものを使用してください。

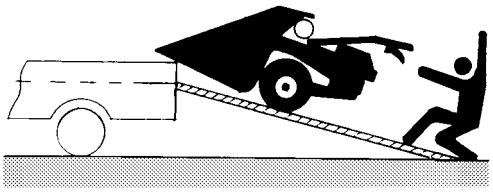
● あゆみ板の安定，平行を確かめてください。

● あゆみ板の途中で，シャトルシフトレバーの“N”（中立）操作をすると機械が急降下し危険ですので，絶対しないでください。

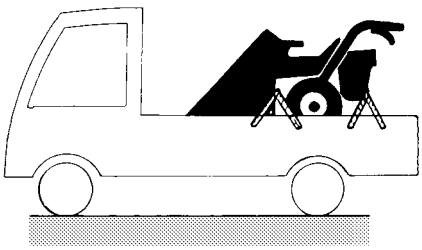
● あゆみ板の途中で，操向クラッチレバーを握ると，握った方向と逆の方向に機械が旋回し，落下の危険がありますので絶対しないでください。

■ **トラックの上ではバインダーのロープフックにロープ掛けを行ない，しっかり床に固定してください。**

● エンジンを止めたあとで，主変速レバーは“**低速刈取**”の位置，駐車ブレーキレバーは“**入**”の位置にして，機械が動かないようにしてください。



O-1037A



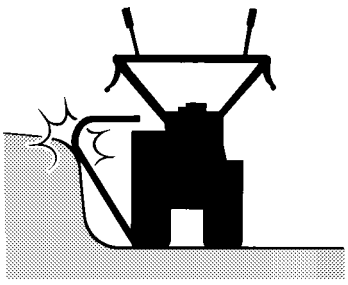
O-1038A

⚠安全なほ場間の移動

■ **安全のため，刈取りクラッチレバーは必ず“停止”にしてください。**

● デバイダの先端に，必ずデバイダカバーを取付けてください。

● 突出部で周囲の人のじゃまにならないように，分草かんは収納位置にしてください。



O-2123A 改

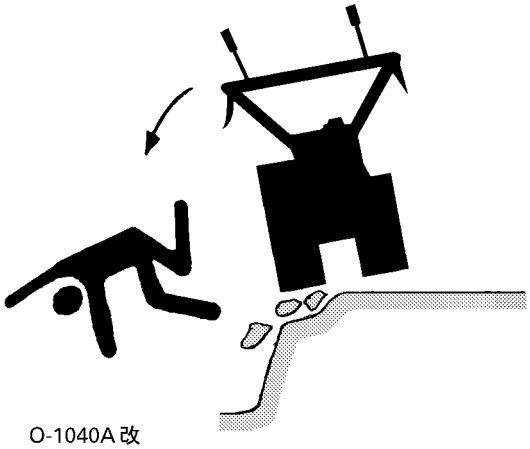
⚠転倒・転落注意

■ **転倒・転落は重大事故になります。**

- 雨天のときは，農道の路肩が弱くなることがあり，バインダーの重みで崩れるような場所は移動しないでください。
- 道幅に余裕がなく，高所にある場所で運転を誤ると転落して危険ですので，移動しないでください。

■ **傾斜地，急な坂道，凹凸のある場所の移動は，転倒する危険がありますので，エンジン回転を“低速”にし主変速レバーは“低速刈取”で注意しながら，ゆっくり行なってください。**

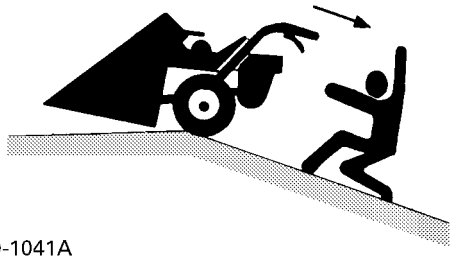
- 傾斜地，急な坂道をバックで降りる場合は，転倒の危険がありますので，後方足元を確認し，エンジン回転を“**低速**”にしてください。
- 傾斜地，急な坂道の途中で，シャトルシフトレバーの“N”（中立）操作は，機械が急降下し危険ですので，絶対しないでください。
- 傾斜地，急な坂道の途中で，操向クラッチレバーの操作はしないでください。



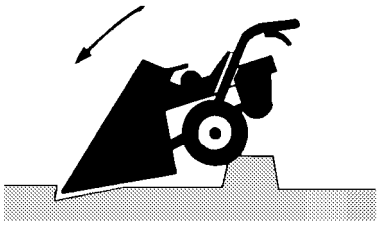
O-1040A 改

■ **10 cm以上の段差のある場所では，あゆみ板を使用してください。**

- 主変速レバーを“**低速刈取**”で段差に直角に機械を入れてください。
- あゆみ板の途中で，操向クラッチレバーの操作はしないでください。
- あゆみ板はすべり止めのついたバインダーの機体質量に耐えるものを使用してください。



O-1041A

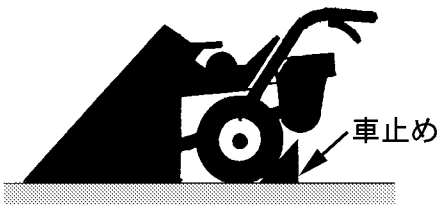


O-1042A

⚠安全な駐車のしかた

■ **駐車するときは，平たんで安定した場所で行なってください。**

- 傾斜地や坂道では，機械が動き出し危険ですので，絶対に駐車しないでください。
- やむをえず傾斜地に駐車するときは，エンジンを止めて主変速レバーを“**低速刈取**”，駐車ブレーキレバーを“**入**”にして，必ず“**車止め**”をしてください。



O-1043A

⚠ 安全に作業するために

⚠夜間作業時の注意

■ **夜間の刈取作業，およびほ場間の移動のときには，必ずランプを点灯してください。**

● ランプはアタッチメント採用しています。

⚠安全な刈取り作業

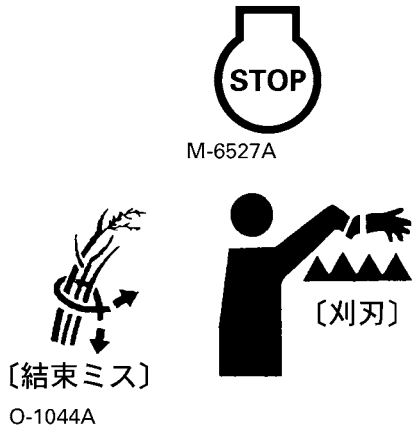
■ **異常に気づいたら，直ぐにエンジンを止めてください。**

● 危険な作動部分が，あちこちにあります。機械の運転中にわらの巻付きや詰まりを取除くことは絶対しないでください。エンジンを必ず止めて処置してください。

● 刈刃部の詰まりを取除くときは，刃部で負傷する危険がありますので，エンジンを必ず止めて，刃部に注意して行なってください。

● 安全カバーの内部には危険な作動部分があります。カバーを外したまま運転しないでください。

■ **結束ミスが３回連続して発生した場合は，作業を中止しエンジンを必ず止めて，処置してください。**



M-6527A
O-1044A

⚠共同作業の安全確保

■ **共同作業を行なうときは，互いに合図をかわして安全を確保し行なってください。**

⚠旋回するときの注意

■ **旋回する場合は周囲の人にあたらないようにじゅうぶん注意してエンジン回転は“低速”でゆっくり行なってください。**

⚠安全な点検・整備

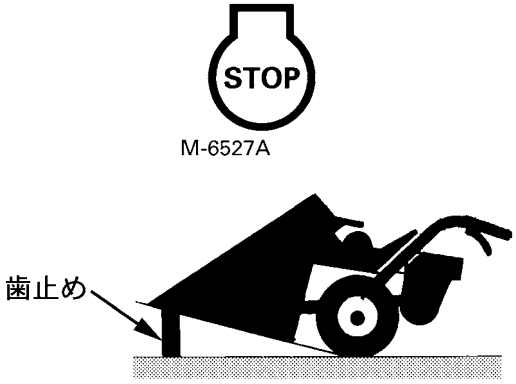
■ **エンジンをかけたままでの点検，整備，清掃は危険です。**
エンジンを止めて，平たんで安定した場所で駐車ブレーキを“入”にして行なってください。

● 刈取部を上げて点検，整備，調整，清掃をするときは，転倒落下防止の“**歯止め**”をしてください。

● 刈刃の点検，調整をするときは，厚手の手袋を使い，刃先に手が触れないように注意してください。

■ **点検，整備後，確認をするときは，エンジン回転を“低速”で行なってください。**

■ **点検，整備時，外したカバー類は，もとの位置に必ず取付けてください。**



M-6527A
O-1045A

⚠火災防止

■ **わらくずは燃えやすく，注意が必要です。**

● エンジン本体，マフラ周辺，配線部にわらくずがたまっていると危険です。作業前，作業後に点検しきれいに取除いてください。

■ **機械にカバーをかけるときは，エンジンやマフラが冷えてから行なってください。**

● エンジン“停止”直後にカバーをかけると，火災になるおそれがあります。

■ **電気配線の被覆が破れるとショートして火災が発生することがあります。点検をして破れている部分は修理が必要です。**

O-1046A 改

⚠ヤケド防止

■ **高温の油が皮膚に触れるとヤケドをします。**

● 運転中のエンジンオイルは高温になります。エンジンおよびその他の部品も高温になっています。オイルのふき出しによるヤケドのおそれがあるため，十分に温度が下がってから点検，整備してください。

■ **エンジン本体，マフラ，排気管が高温になります。運転中および停止直後は触れないでください。**

● エンジンの点検，調整，掃除はエンジンが冷えてから，行なってください。

B-1502A

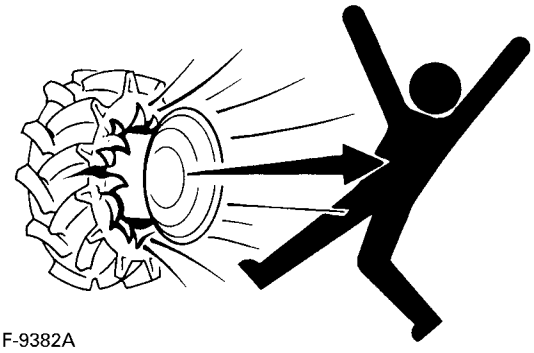
⚠安全なタイヤの空気圧

■ **タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守ってください。**

● 空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり死傷事故を引き起こす原因になります。

● タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。

● タイヤ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。
（特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）



F-9382A

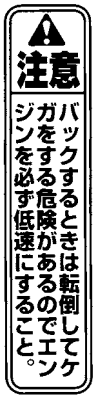
⚠バインダーを他人に貸すとき

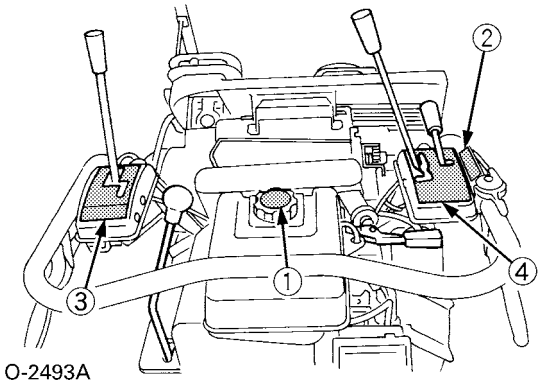
■ **取扱説明書をよく読んでいただくとともに，取扱方法，安全な使い方を説明し，安全な作業ができるように指導してあげてください。**

2. ⚠表示ラベルと貼付位置

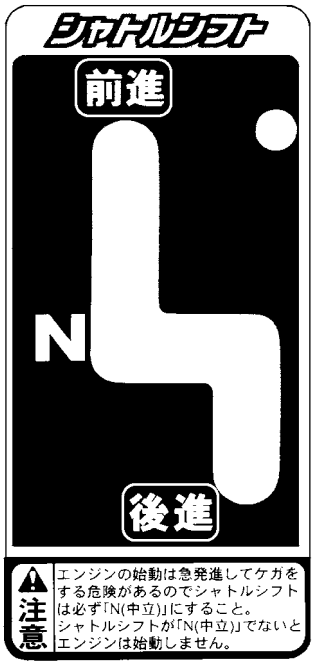
①品番 50080-1689-2

②品番 50080-2223-2





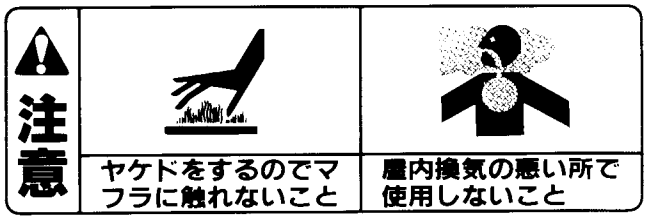
③品番 5A066-3244-1

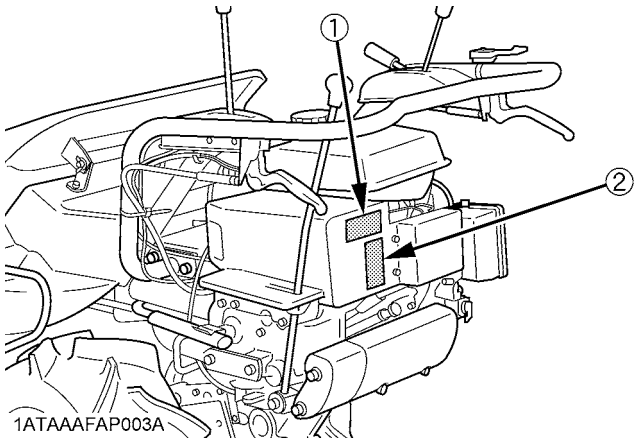


④品番 5A066-3117-1
【D, HD, SD】

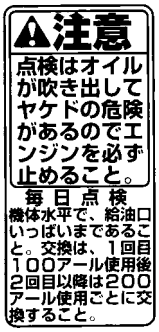
④品番 5A060-3117-1【標準】

①品番 54181-3132-1

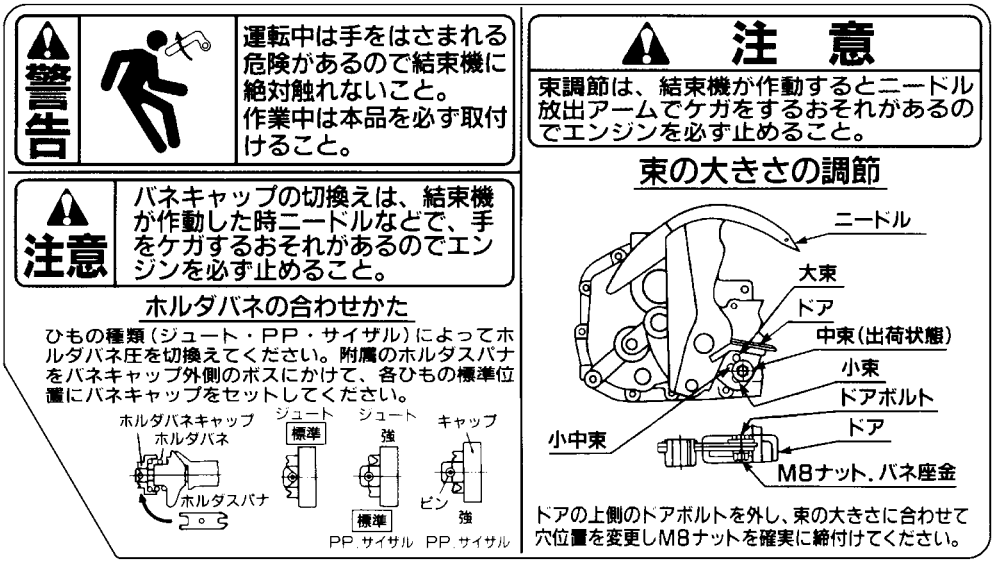


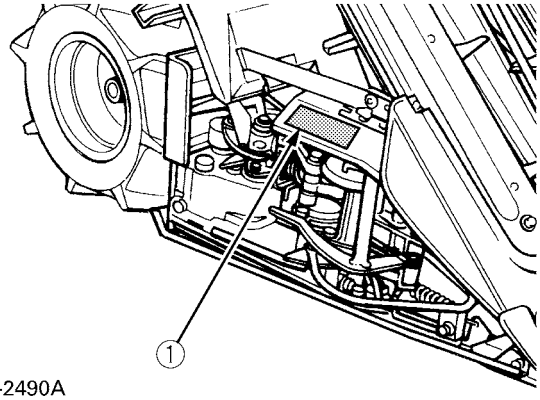


②品番 50080-1653-1



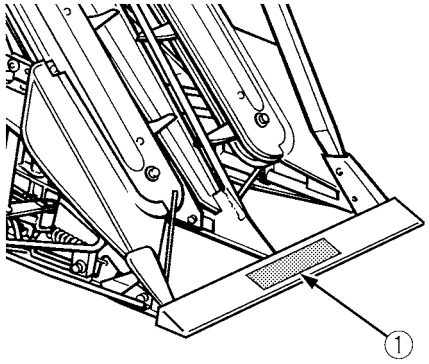
①品番 5A066-6745-1





①品番 59700-4332-2

⚠注意	デバイダ先端に当たるとケガをするおそれがあるので、移動するときは必ず本品を取り付けること。

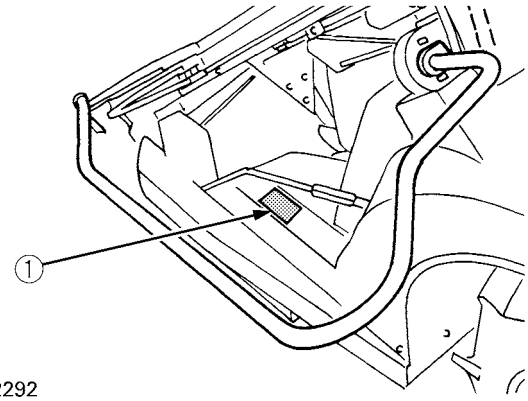


O-2300改

---

①品番 50080-3819-2【D・HD・SD】

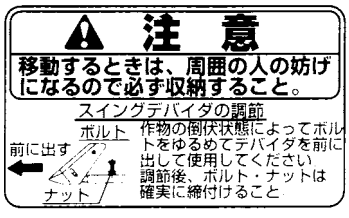
⚠注意	運転中は、引起し爪・刈刃などで、ケガをする危険があるので、センサに絶対触れないこと。

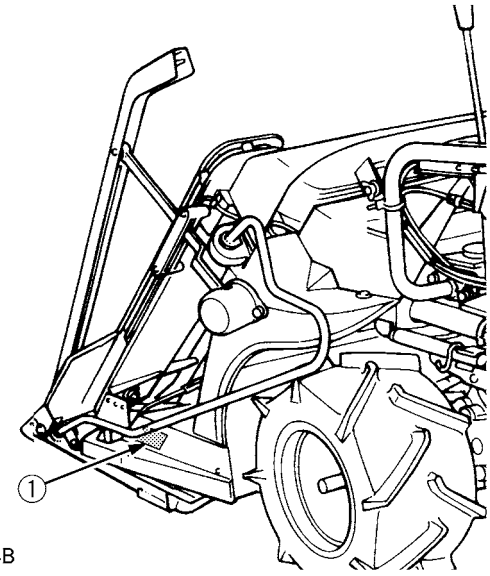


O-2292

---

①品番 50085-5179-1【SD】



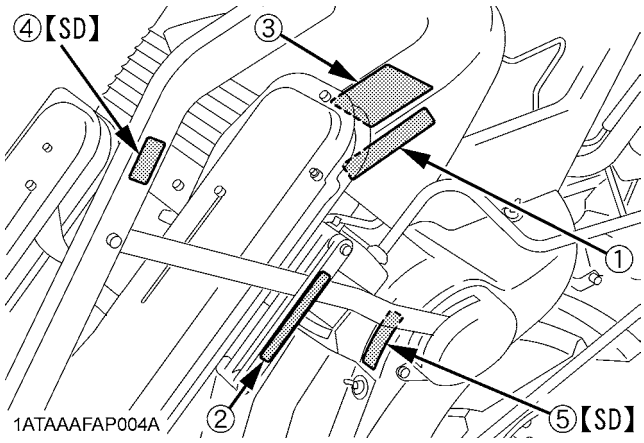


O-2494B

①品番 5H601-4344-1

⚠注意 人に当たりケガをさせるおそれがあるので、移動するときは必ず収納すること。

1ARADAKAP2180



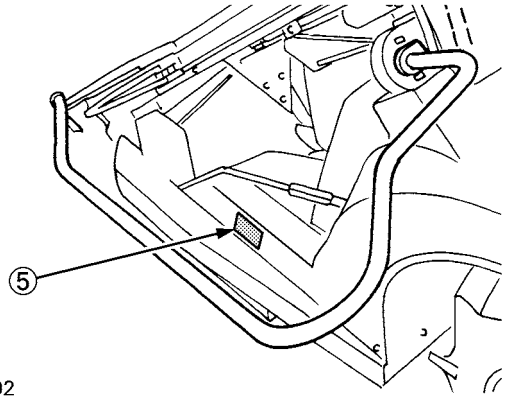
②品番 50085-5134-2【SD】

⚠注意 スイングデバイダ作動のときは、指をはさまれるおそれがあるので絶対触れないこと。
刈取り作業以外は、作動させないこと。

③品番 5A096-1684-1

⚠ 注 意

安全に作業するために、取扱説明書を読んで機械の使い方を覚えること。
◇作業前・作業中：注油・点検・調整・掃除のときは、服を巻込まれるおそれがあるのでエンジンを必ず止めること。また、引起部・搬送部・結束部・刈刃部などの、作動部分に絶対触れないこと。
◇機械の積降ろし：途中で、シャトルシフトレバー・操向クラッチレバーを操作すると機体が急降下し、落下の危険があるので絶対操作しないこと。また、エンジンを必ず低速にすること。
◇駐停車：機械を離れるときは、走行クラッチレバー「切」又は、シャトルシフトレバーを「N(中立)」にし、駐車ブレーキ「入」にし、エンジンを必ず止めること。
坂道・傾斜地に絶対駐車しないこと。



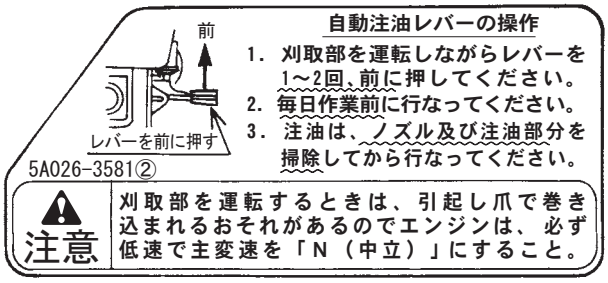
④品番 5A029-5138-1【SD】

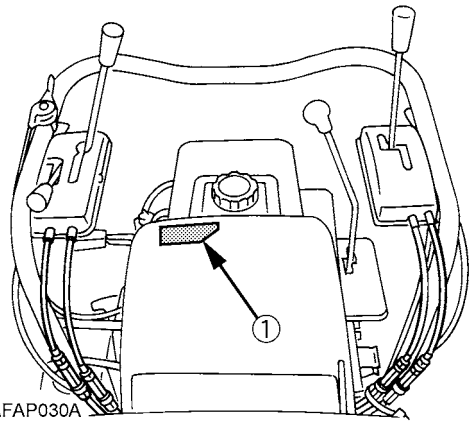
⚠注意
可動部接近注意

⑤品番 50080-5772-3

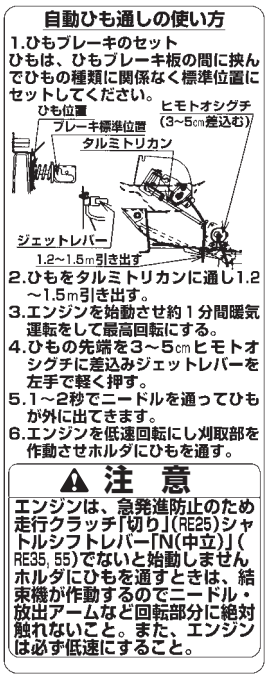
⚠注意 運転中は、刈刃・回転軸などでケガをする危険があるので手を絶対入れないこと。
作業中は本品を必ず取付けること。

①品番 5A066-3581-1【D・HD・SD】

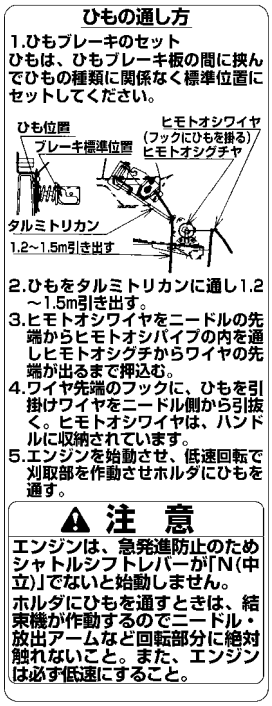


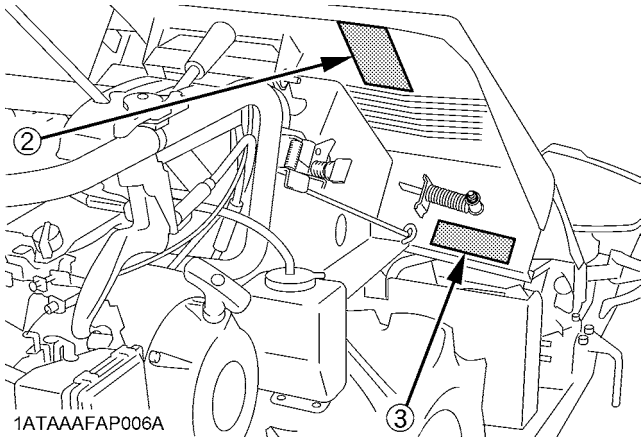


②品番 5A026-2159-2 【HD・SD】

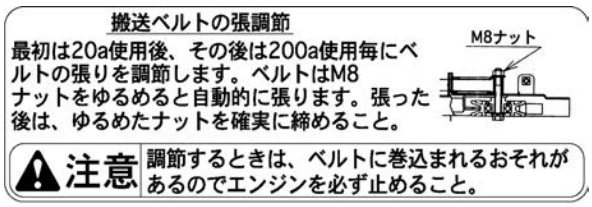


②品番 5A020-2159-3 【標準・D】





③品番 5A026-5832-2



3. ⚠表示ラベルの手入れ

1. ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
   もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布でふいてください。
   シンナーやアセトンなどの溶剤を使うと，文字や絵が消えることがありますので絶対に使わないでください。
2. 高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
3. 破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
4. ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。
5. 新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全にふき取り，乾いた後，もとの位置に貼ってください。

サービスと保証について

この製品には，保証書が添付してありますのでご使用前によくご覧ください。

■ご相談窓口

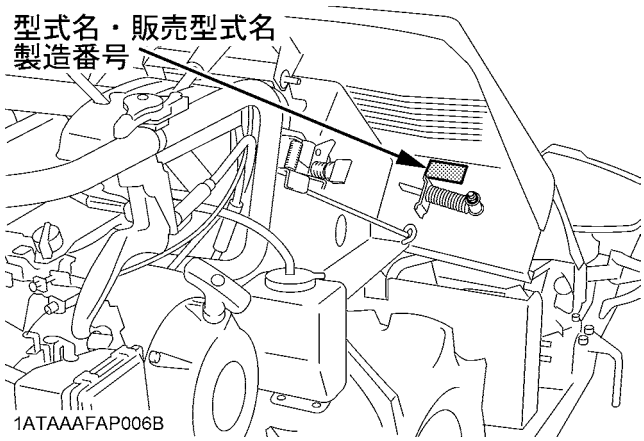
ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた購入先にそれぞれ**“ご相談窓口”**を設けておりますのでお気軽にご相談ください。

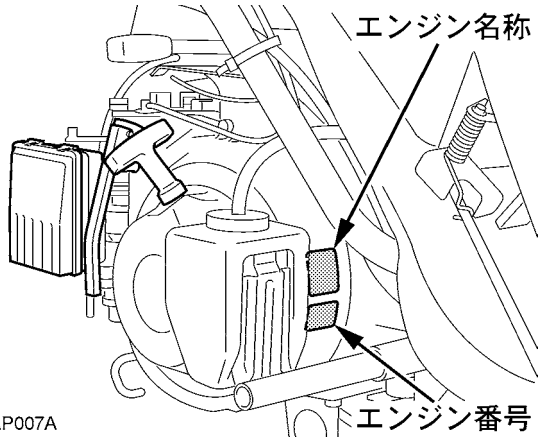
その際　(1) 型式名・販売型式名と製造番号
　　(2) エンジン名称とエンジン番号
をあわせてご連絡ください。

なお，部品ご注文の際は，購入先に純正部品表を準備しておりますので，そちらでご相談ください。

警　告

＊ 機械の改造は危険ですので，改造しないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。





■補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期限）は製造打ち切り後９年といたします。

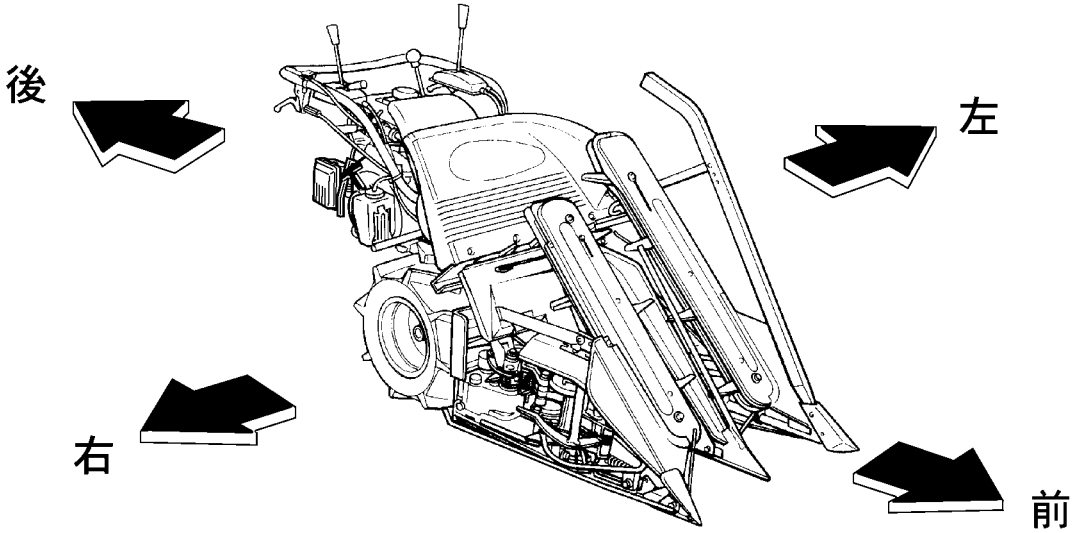
ただし，供給年限内であっても特殊部品につきましては，納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了致しますが，供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には，納期及び価格についてご相談させていただきます。

諸装置の説明

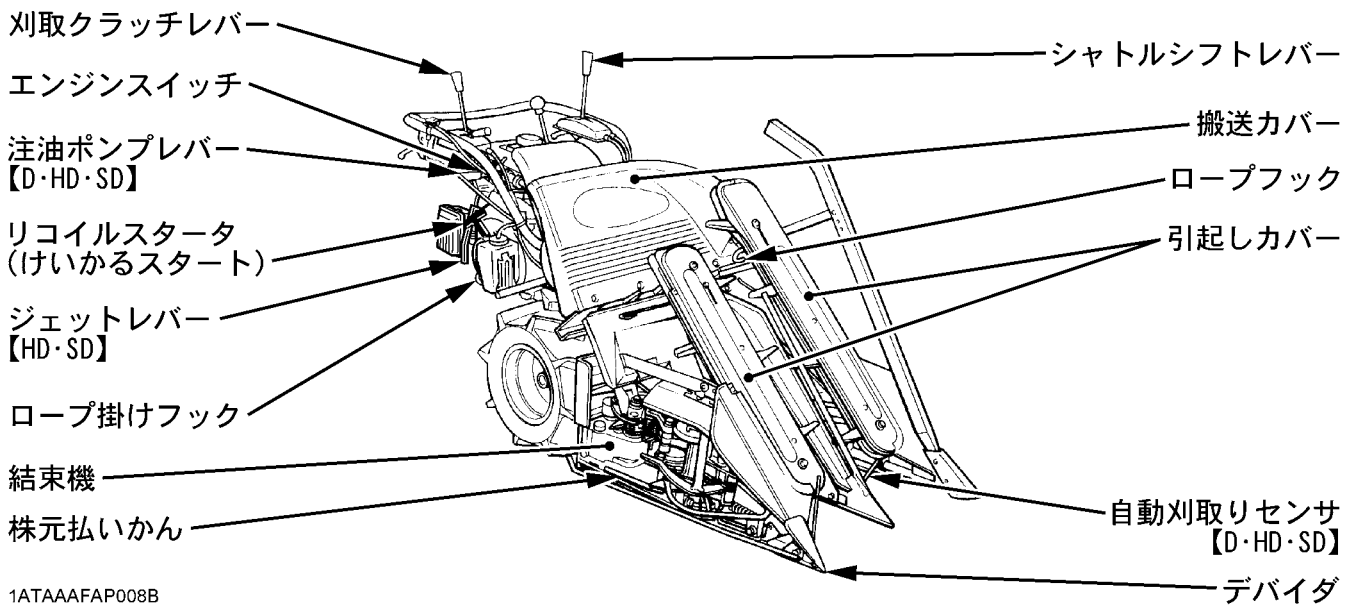
機体方向説明

この取扱説明書で使用している**前後・左右・左回り・右回り**などの方向は，図示の通りです。

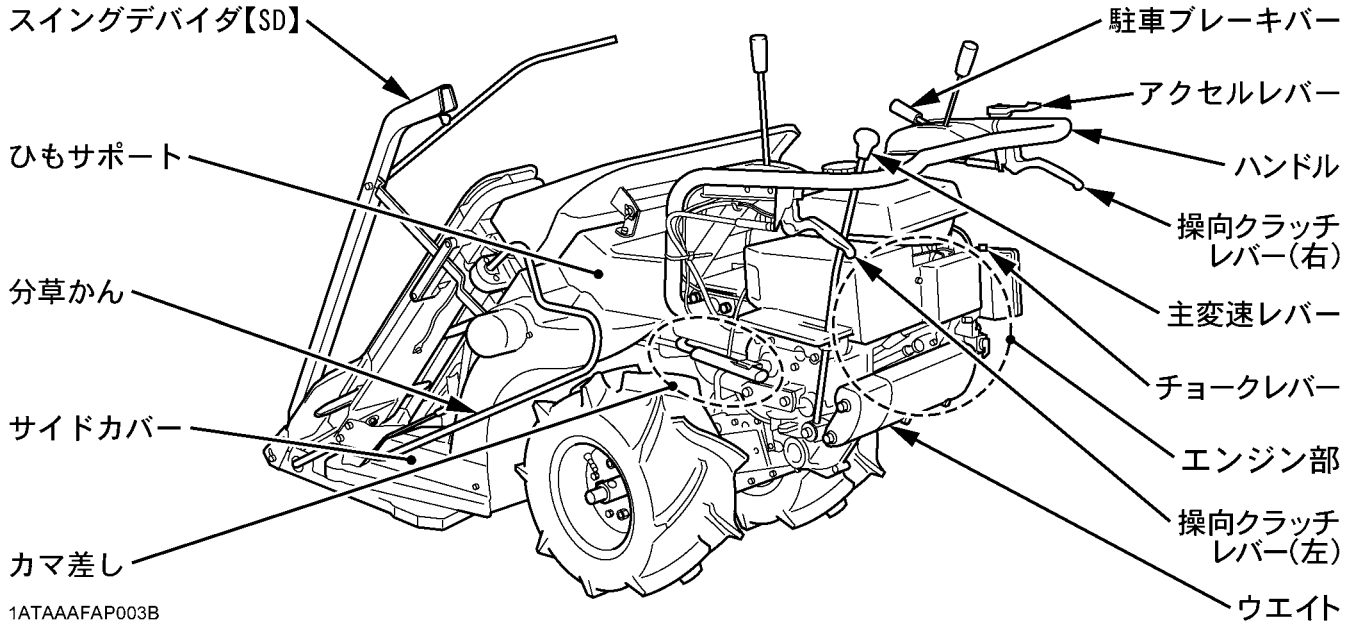


1ATAAAFAP008A

装置の名称と各部のはたらき



1ATAAAFAP008B

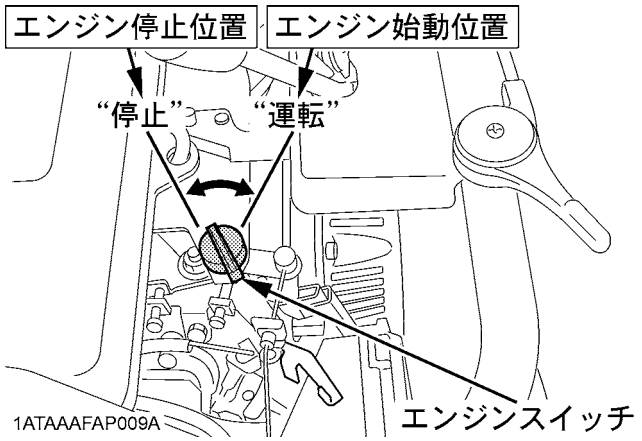


1ATAAAFAP003B

装置の名称と各部のはたらき

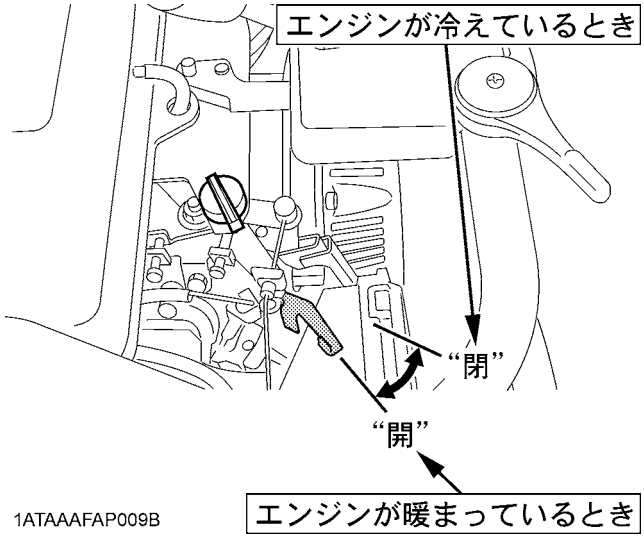
■エンジンスイッチ

エンジンの運転，停止を切替えるスイッチです。



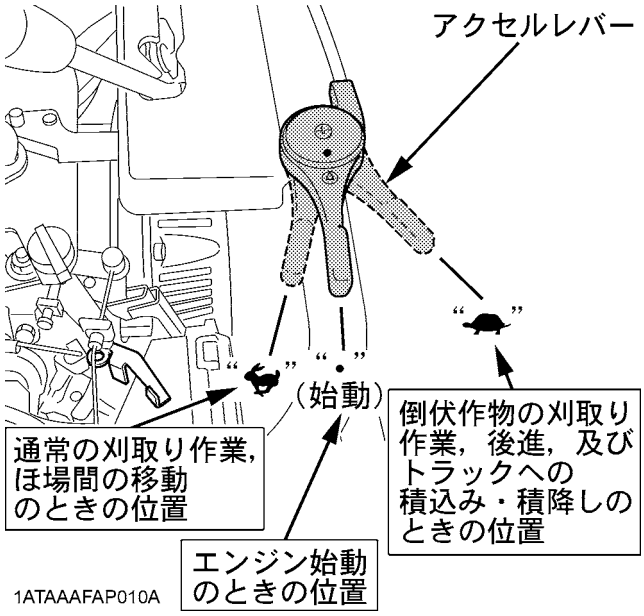
■チョークレバー

エンジンに入る空気の量を調節するレバーです。



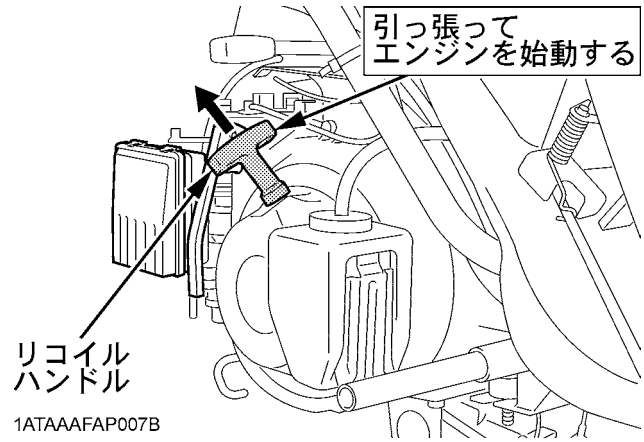
■アクセルレバー

エンジンの回転数を調節するレバーです。



■リコイルスタータ

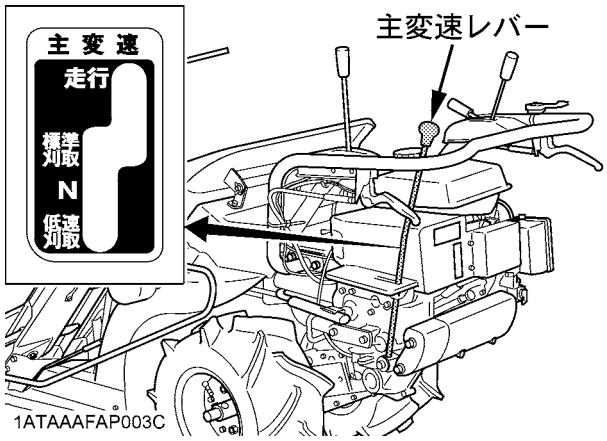
エンジンを始動するためのものです。



装置の名称と各部のはたらき

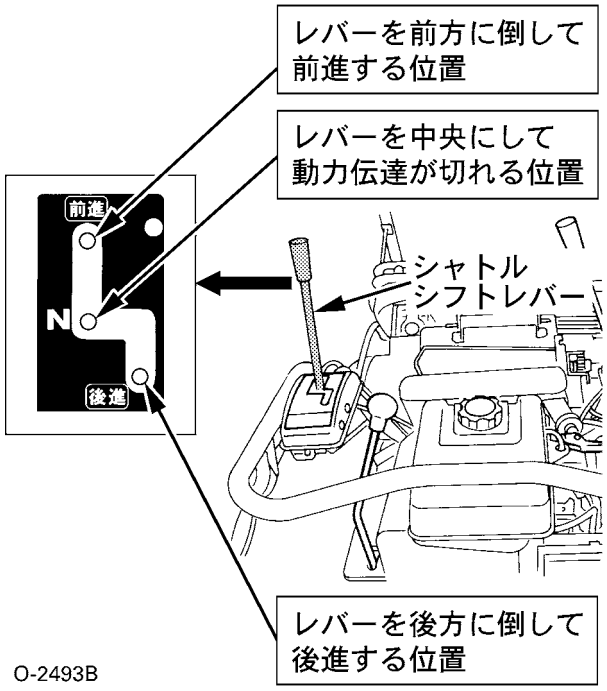
■主変速レバー

車速を選択するレバーです。刈取り作物，ほ場条件により，“**低速刈取**”“**標準刈取**”の車速を選択してください。



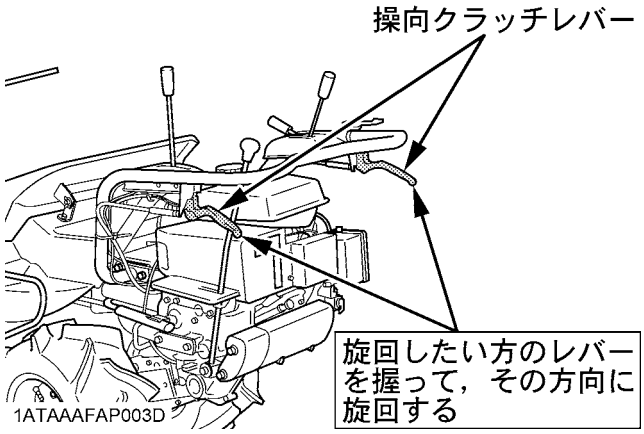
■シャトルシフトレバー

走行部，刈取部への動力伝達の“**入**”，“**切**”と，“**前進**”,“**後進**”の切換えをするレバーです。



■操向クラッチレバー

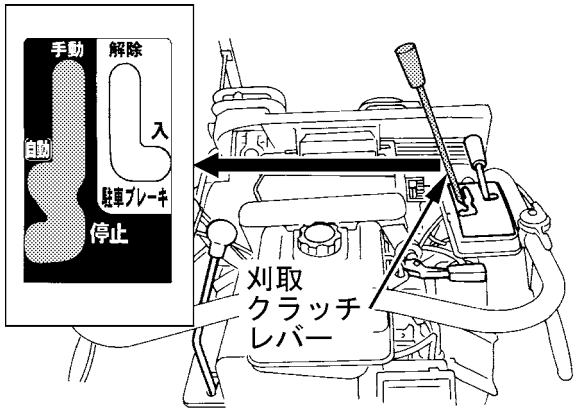
機械を左右方向に旋回するためのレバーです。旋回したい方のレバーを握ると，その方向に旋回します。



■刈取クラッチレバー

刈取部への動力の伝達を“**入**”，“**切**”，又は“**手動**”，“**自動**”を選択するレバーです。

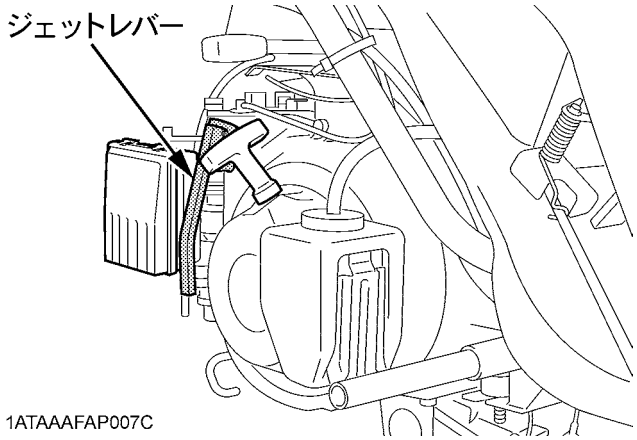
“入”【標準】 “手動”【D・HD・SD】	…	刈取部が作物の有無に関係なく作動する位置
“自動”【D・HD・SD】	…	センサが作物によって押されて，自動的に刈取部が作動する位置
“切”【標準】 “停止”【D・HD・SD】	…	刈取部が作動しない位置



装置の名称と各部のはたらき

■ジェットレバー【HD・SD】

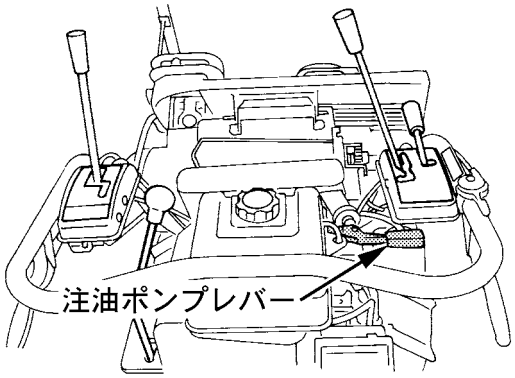
自動ひも通しのとき，ひもをひも通し口からニードルまで通すためのレバーです。



1ATAAAFAP007C

■注油ポンプレバー【D・HD・SD】

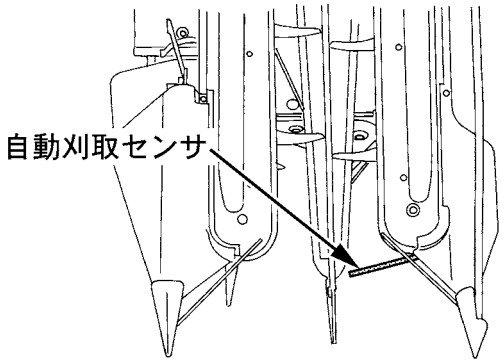
刈刃，引起しチェーン，搬送チェーンに適量のオイルを注油するレバーです。



O-2493D

■自動刈取センサ【D・HD・SD】

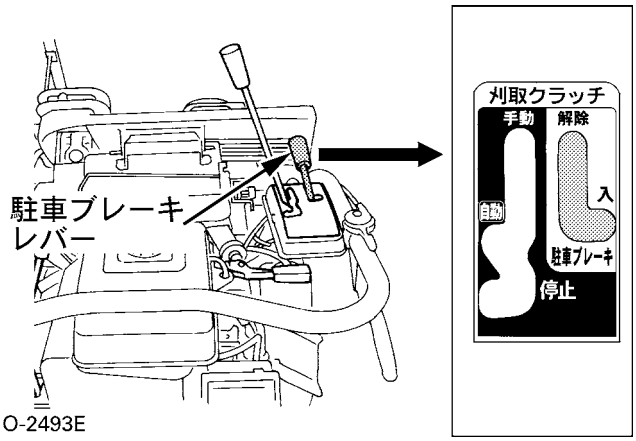
刈取クラッチレバー“**手動**”のとき，刈取部は常時作動します。
刈取クラッチレバー“**自動**”で作物がセンサを押すと，自動的に刈取部が作動します。



O-2284A

■駐車ブレーキレバー

機体を駐車するときに，動かないよう駐車ブレーキを作動させるレバーです。



O-2493E

運転前の点検

警　告

＊ 燃料補給のときは，火気厳禁してください。
＊ 点検調整のときは，機械を平たんで安全な場所に置き，駐車ブレーキレバーを“入”にし，必ずエンジンを止めて行なってください。
（注油ポンプレバー操作【D・HD・SD】，自動ひも通し【HD・SD】，ひもをホルダに保持させる時以外）
＊ タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守ってください。（23 ページ参照）
＊ 取外した回転部のカバー類は，衣服などが巻込み危険ですので，点検後は必ず取付けてから作業をしてください。

注　意

＊ 燃料補給後，燃料タンクのキャップはもれないようにしっかりと確実に締めてください。
＊ 燃料はタンク規定量を補給してください。（39 ページ参照）
＊ 燃料やオイルがこぼれた場合は，きれいにふき取ってください。
＊ マフラやエンジン周辺部にわらくず，ごみや燃料の付着などがあると，火災の原因となり危険です。始動前に必ず点検し，きれいに取除いてください。

重　要

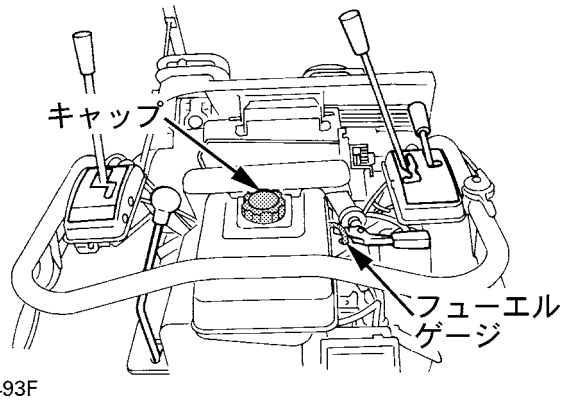
＊ この機械は，工場出荷のとき注油装置（オイルタンク）【D・HD・SD】にオイルは入っていません。使用前には必ずオイルを規定量入れて使用してください。（10 ページ参照）
なおエンジンオイル，ミッションケース，結束ケース，チェーンケース内部のオイルは入れておりますが，試運転の際は規定量入っているか確認をしてください。
＊ 湿田仕様【S】の大径湿田タイヤは，空気圧ゼロになっておりますので，そのまま使用してください。

故障を未然に防ぐためには，いつも機械の状態を知っておくことが大切です。
毎日の運転前に，必ず次の項目について点検してください。

日常点検項目

〈ここを〉		〈こうする〉	詳細参照ページ
燃料	＊作業に必要な燃料があるか。 ＊燃料がもれていないか。	＊自動車用レギュラガソリン（無鉛）を補給する。･･･2.4L ＊キャップをしっかりと締める。	8
エンジンオイル	＊オイルゲージの“L”（下限）と“F”（上限）の間に油量はあるか。	＊クボタ純オイルスーパー G 10W-30（ガソリン・灯油エンジン用）をオイルゲージの“L”（下限）と“F”（上限）の間まで補給する。･･･0.60L	9，45
ひもの通し方	＊ひもの通し方は正しいか，ひもブレーキ，ホルダのバネ圧の調節はひもに合わせてあるか。	＊正しいひもの通し方およびひもに合ったひもブレーキ圧，ホルダバネ圧にする。	9，23 ～ 26，69 ～ 72
集中注油【D・HD・SD】	＊オイルタンクの規定線の下限（LOW）と上限（FULL）の間に油量があるか。	＊クボタ純オイルスーパー G 10W-30（ガソリン・灯油エンジン用）を上限（FULL）まで補給する。 ＊注油ポンプレバーを 1 ～ 2 回操作する。	10 ～ 12，41
刈刃部（刈刃，受刃，ナイフクリップ,すらし板）	＊刈刃部の注油はじゅうぶんか。	＊注油ポンプレバーを 1 ～ 2 回操作する。【D・HD・SD】 ＊クボタ純オイルスーパー G 10W-30 を刈刃部に注油する。【標準】	9，11
引起しチェーンの張り調整	＊チェーンがゆるんでいないか。	＊内側に押して 20 ～ 40mm にたわむようにする。	9，54
ベベルブラケット	＊ベベルブラケットのグリースはじゅうぶんか。	＊モリブデングリースを，グリースポット一杯に補給する。	10
ビル押え支点 ベベルピニオン（2 箇所） ホルダシャフト ビルローラ	＊結節部の注油はじゅうぶんか。	＊クボタ純オイルスーパー G 10W-30 を左記箇所に注油する。	10
タイヤ	＊空気圧が過不足していないか。	＊標準空気圧に調整する。	23

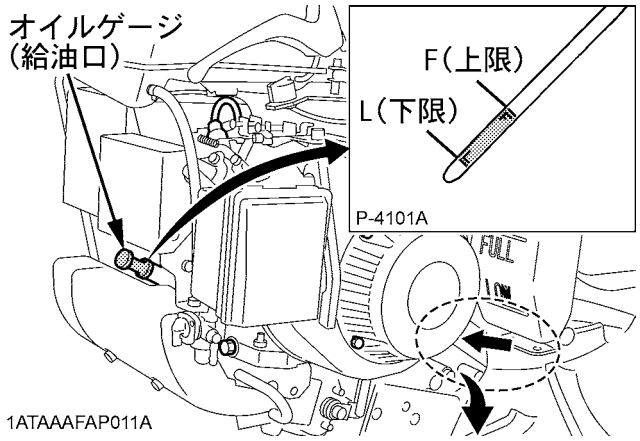
◆燃料の点検



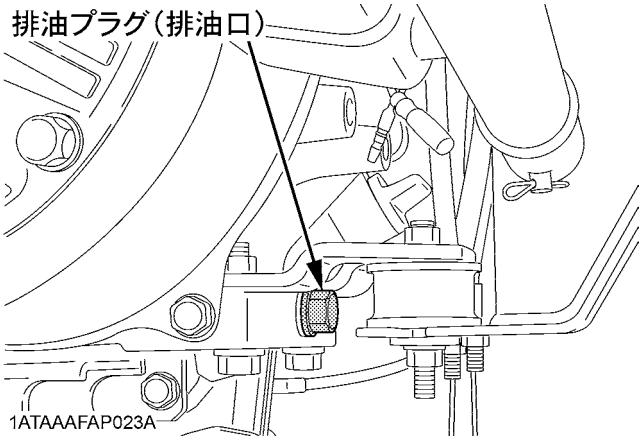
O-2493F

日常点検項目

◆ エンジンオイルの点検

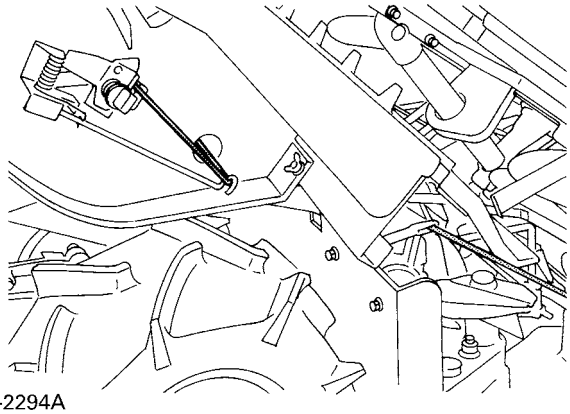


1ATAAAFAP011A



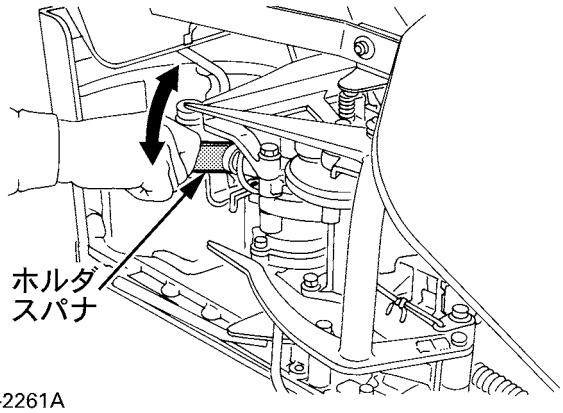
1ATAAAFAP023A

◆ ひもの通し方



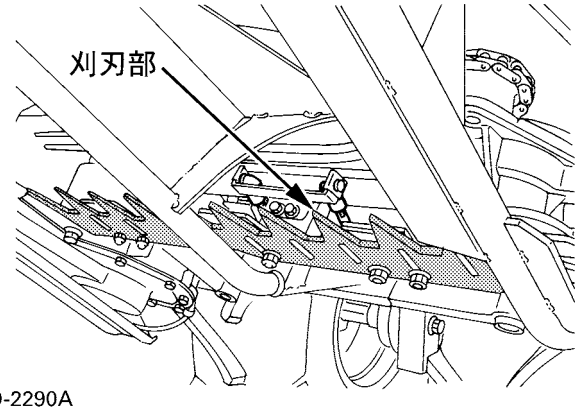
O-2294A

◆ ホルダバネ圧の切替え



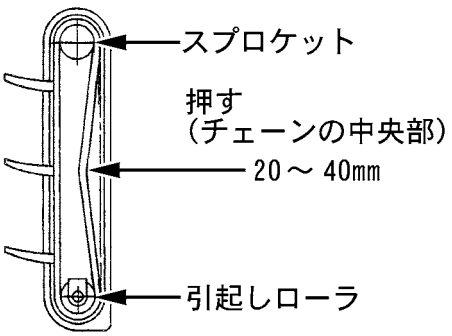
O-2261A

◆ 刈刃部



O-2290A

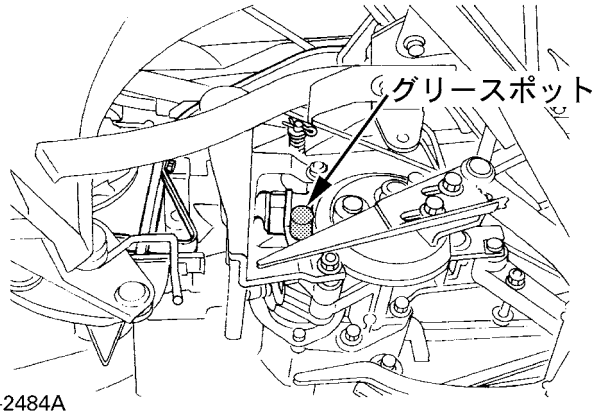
◆ 引起しチェーンの張り調整



O-0137A 改

日常点検項目

◆ ベベルブラケット



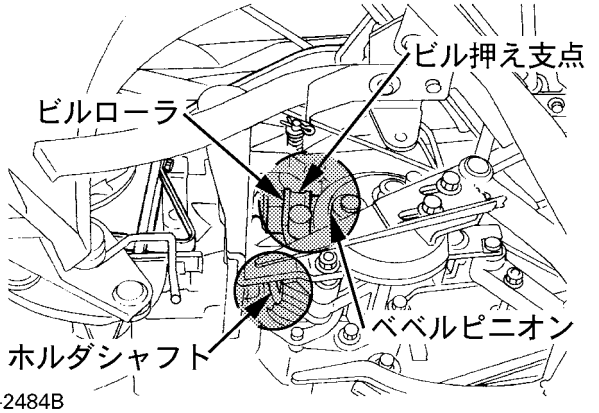
O-2484A

補　足

＊ グリースポットにグリースを補給するときは，別売のグリース差しをご利用ください。

W-1406A

◆ ビル押え支点
◆ ベベルピニオン（２箇所）
◆ ホルダシャフト
◆ ビルローラ



O-2484B

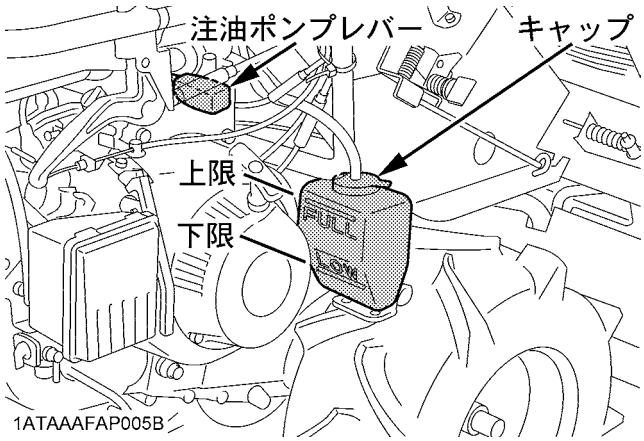
集中注油装置による注油【D・HD・SD】

注　意

＊ 注油するときは，主変速レバーを“N”（中立）にし，エンジン回転を“🐢”（低速）にして刈取部を回しながら行なってください。
＊ 刈取部を回すときは，周囲の人に合図して安全を確認してください。

■オイルタンクへの給油

1. オイルが“**下限**”線（LOW）以下になったら，キャップを外して，“**上限**”線（FULL）まで入れてください。



1ATAAAFAP005B

2. 給油したあと，キャップを確実に取付けてください。

重　要

＊ オイルはクボタ純オイルスーパー G 10W-30（ガソリン・灯油エンジン用）を使用してください。
M90(ミッション用)や廃油などを使用すると，確実な注油ができなかったり，注油ノズルが詰まったりすることがあります。

集中注油装置による注油【D・HD・SD】

■集中注油の操作

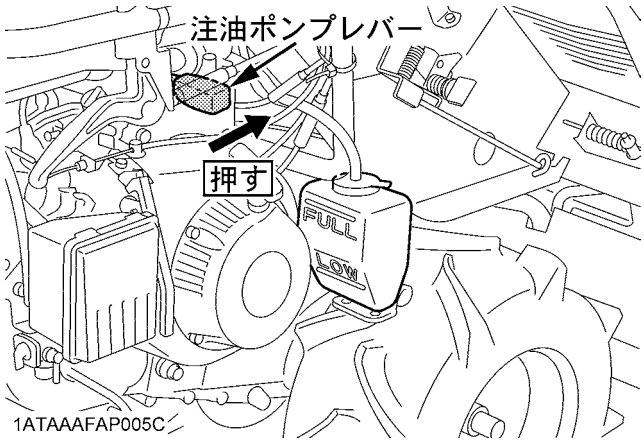
毎日の作業前に集中注油装置の注油レバーを押して各作動部（刈刃や引起しチェーン）に注油してください。

補　足

＊ 気温が10℃以下になると均等に注油されなくなります。寒い地域では，気温の上がる昼間に注油してください。
＊ 引起しチェーン部に巻付いたわらくずやごみは注油の前にきれいに取除いてください。
＊ 刈刃へ注油するときは，注油レバーを強く押して勢いよく注油してください。

● 注油のしかた

1. 平たんな場所に移動したあと，主変速レバーを“N”（中立）にし，エンジン回転を“🐢”（低速）にして刈取部を回しながら行ないます。
2. 注油レバーを２～４回強く押して注油します。



重　要

＊ 必要以上に注油しないでください。機械が汚れるばかりでなく，故障の原因になります。

補　足

＊ 集中注油装置を最初に動かすときやオイルタンクに給油したあとは，オイルを吸い上げるまで注油レバーを 10 回程度押してください。注油レバーを操作するとき，押すときは勢いよく強く押したあと，注油レバーから手をすぐ離してください。ゆっくりと注油レバーを戻すとオイルを吸い上げないため，注油不良となります。

3. 刈刃や引起しチェーンに注油されていることを確認します。

補　足

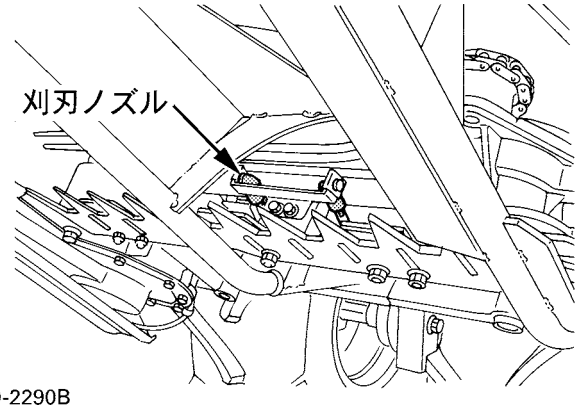
＊ 注油されていないときは，各注油ホースのノズルの掃除を行なってください。
＊ 刈取作業中に刈刃から大きな音がすることがありますが，異常ではありません。音が大きくなったときは，注油ポンプレバーを１～２回押してください。

集中注油装置による注油【D・HD・SD】

■集中注油による注油箇所

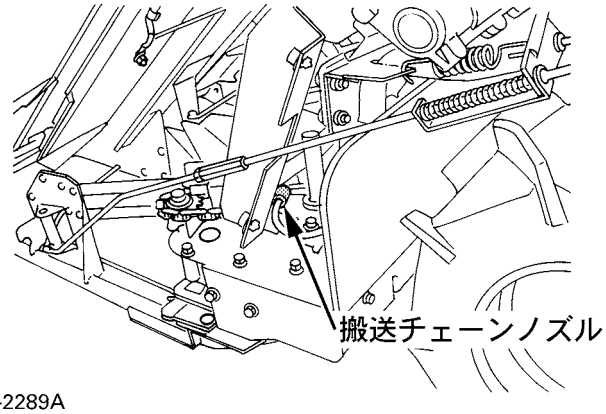
注油ポンプレバーを押すと次の箇所に適量のオイルが注油されます。

◆刈刃



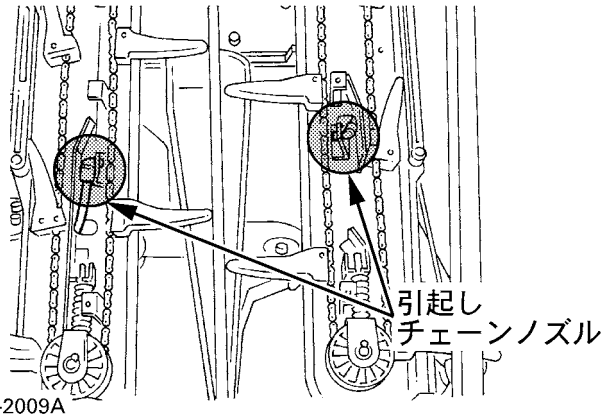
O-2290B

◆搬送チェーン



O-2289A

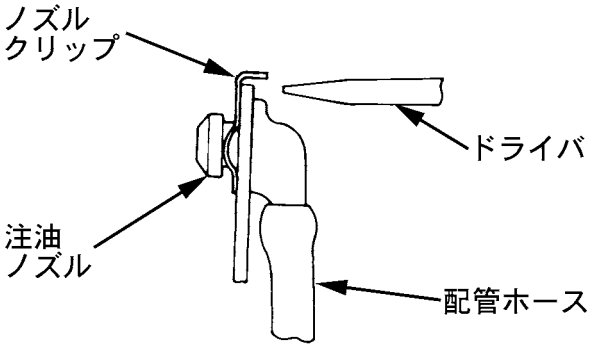
◆引起しチェーン



O-2009A

■注油ノズルの外し方

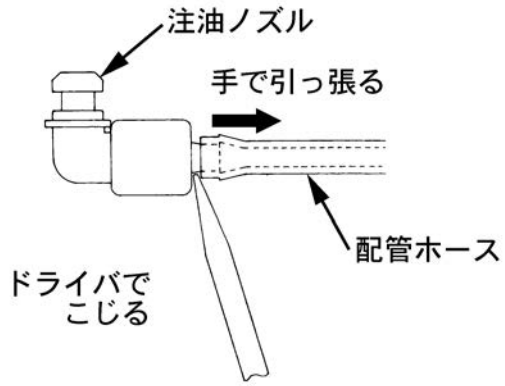
1. ノズルの詰まりなどで注油ノズルを外すときは，図のようにドライバなどでノズルクリップを外してください。
2. 取付けのときは，ノズルクリップの取付け方向に注意して，下図のように押込んでください。



O-0197A

■配管ホースの外し方

機械の分解調整や配管ホースの交換などで配管ホースを外すときは, 図のように手で配管ホースをまっすぐ引っ張りながらドライバなどで配管ホースの端をこじて外してください。



O-1983A 改

重　要

＊ ホースをひねったり横方向に引っ張るとノズルのホースの差込み部が折れることがあります。

＊ 配管ホースが古くなったり，傷がついたら，新しいホースと交換してください。ホースは純正部品を使用してください。新しいホースを取付けるときは，ノズルいっぱいに差込んでください。

エンジンの始動と停止

注　意

＊ この取扱説明書前編の黄色のページの“安全に作業するために”の内容を必ずお読みください。
＊ バインダーに貼ってある警告ラベルの内容を必ずお読みください。
＊ エンジン排気ガスによるガス中毒をさけるため，換気の不じゅうぶんな納屋・倉庫でエンジンを回さないでください。
＊ 周囲の人に始動の合図をして，始動操作は，運転位置で行なってください。
＊ リコイルスタータを引っ張る前に，手が人や物にあたらないか周囲をよく確かめてください。

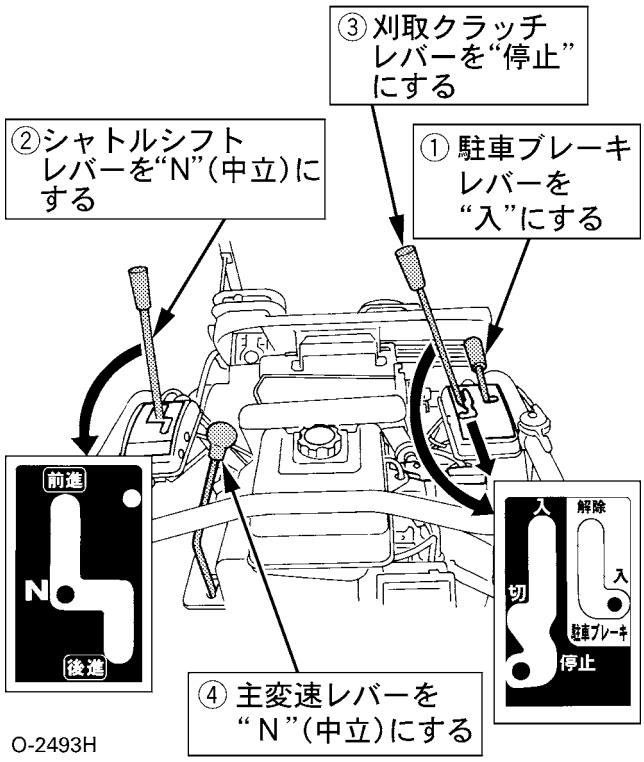
エンジンの始動と停止のしかた

■エンジンの始動のしかた

注　意

＊ エンジンの始動は，機械を平たんで安全な場所に置き，必ず駐車ブレーキを“入”にし，始動前にシャトルシフトレバー“N”(中立)，刈取クラッチレバー“停止”，主変速レバー“N”（中立）にしていることを確かめてください。

1．各レバー位置の確認をします。

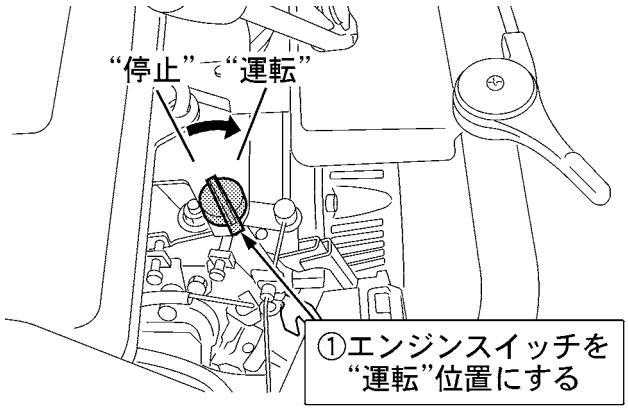


O-2493H

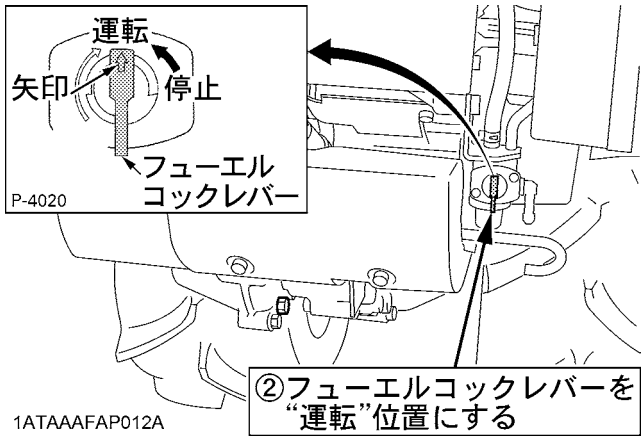
補　足

＊ エンジン始動時の安全のため，シャトルシフトレバーが“N”（中立）位置でないと，エンジンは作動しません。（セーフティスタート）

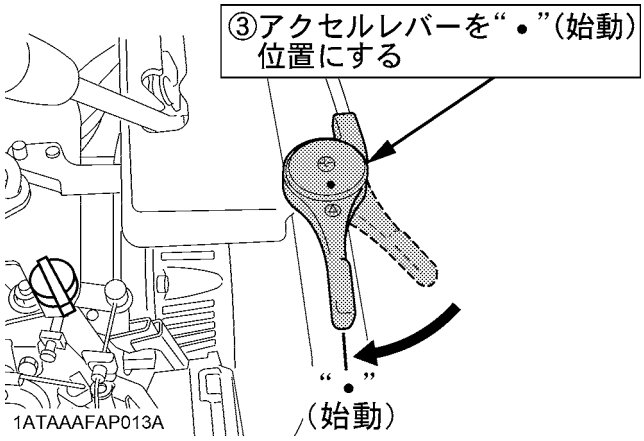
2．エンジンを始動します。



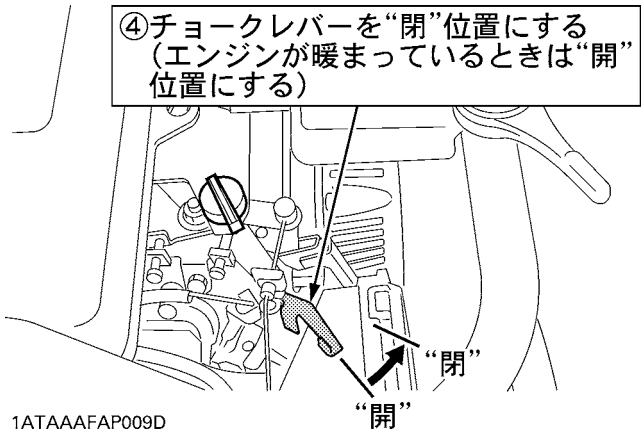
1ATAAAFAP009C



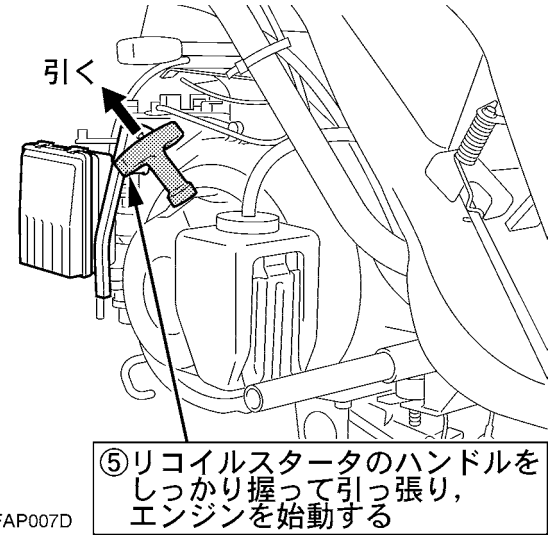
1ATAAAFAP012A



1ATAAAFAP013A



1ATAAAFAP009D



1ATAAAFAP007D

⑥エンジンの回転調子をみながら，チョークを徐々に“**開**”位置にします。

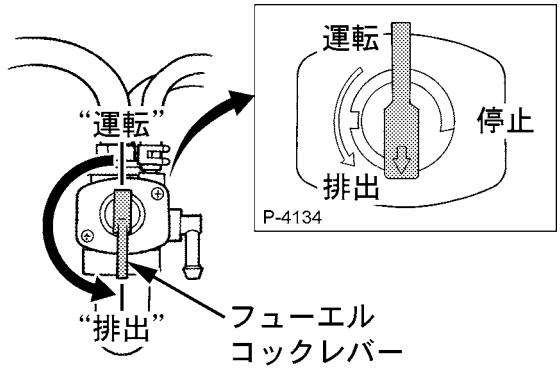
⑦アクセルレバーを“**始**”位置のままで３～５分間空運転してから，作業を始めてください。

エンジンの始動と停止のしかた

重　要

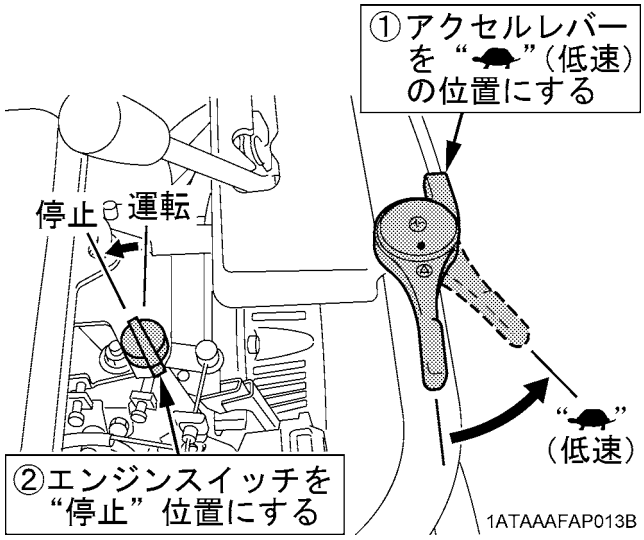
＊ 寒いときの始動は，すぐにチョークを“**開**”にするとエンジンが止まりますから，ゆっくりと戻してください。

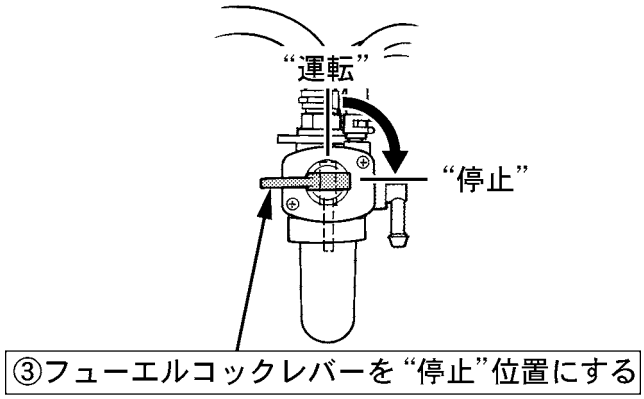
＊ 長期間使用しないで置くと，ガソリンが気化してエンジン始動が困難になることがあります。このような場合は，フューエルコックレバーを“**排出**”位置にして，燃料タンク内，気化器内の古いガソリンを排出したのち，フューエルコックレバーを“**停止**”位置にし，新しいガソリンを燃料タンクに補給してください。
補給後，フューエルコックレバーを“**運転**”位置にして気化器内に新しいガソリンを入れてください。



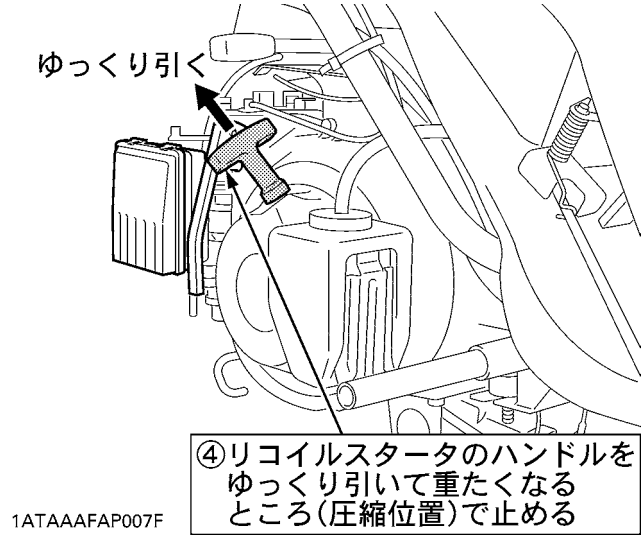
1AKACAXAP068B

■エンジンの停止のしかた





1AKACAIAP128B



1ATAAAFAP007F

重　要

＊ エンジンを停止したあとは，必ずフューエルコックレバーが“**停止**”，リコイルスタータのハンドルを引っ張って圧縮位置で停止しているか確かめてください。

バインダーの運転

新車のときの扱い方

警　告

＊ 坂道や傾斜地などを降りるときは，エンジン回転を“🐢”（低速）にし，足元，後方を確め，主変速レバーを“低速刈取”，シャトルシフトレバーを“後進”にしてください。操向クラッチレバーは，絶対に握らないでください。機械が通常操作のときと，逆の方向に旋回し危険です。

注　意

＊ ほ場間を移動するときは，必ずデバイダカバーを取付け，分草かんを上方【標準・D・HD】，又は下方【SD】に収納し，周囲の人の妨げにならないように移動してください。
＊ 刈取りをしないで移動するときは，必ず刈取クラッチレバーを“停止”にしてください。

■新車のときの扱い方

新車のときの上手な運転操作やメンテナンスがバインダーの寿命に影響を及ぼします。新車のバインダーは厳重な検査のもとに出荷されていますがバインダーの各部の部品はならし運転されていません。ならし運転期間中はバインダー各部の部品がなじむまでは移動速度は“**低速刈取**”で，過負荷となる刈取り作業は避けましょう。
バインダーの性能を最大に発揮し，長期にわたる耐久力を維持させるためには，適正なならし運転が重要です。
新車のときの取扱いは次の項目を遵守してください。

◆初期 20 アールのならし運転

＊ 急発進や急停車操作はしないでください。
＊ 寒い日や冬期，エンジンはじゅうぶん暖気運転をしてください。
＊ エンジンは規定刈取り作業回転数以上にセットしないでください。
＊ 高速での刈取り作業は避けてください。
＊ 整地されていないところでは“**低速刈取**”で移動してください。

以上はならし運転以降も必要な事項ですが，新車のときは特に注意してください。

◆油脂・フィルタ類の交換と
チェーン・ベルトの張り調整

＊ 新車のときはバインダーの回転・しゅう動部の各部品はなじみがついていませんのでならし運転期間中に細かい金属粉が生じ，部品の極度な摩耗につながるおそれがあります。よって，油脂類は初期 100 アールで交換してください。（44, 45 ページ参照）
＊ チェーン類はならし運転中に初期伸びが発生します。初期 20 アールで張り調整をしてください。（54 ページ参照）

発進のしかた

■発進

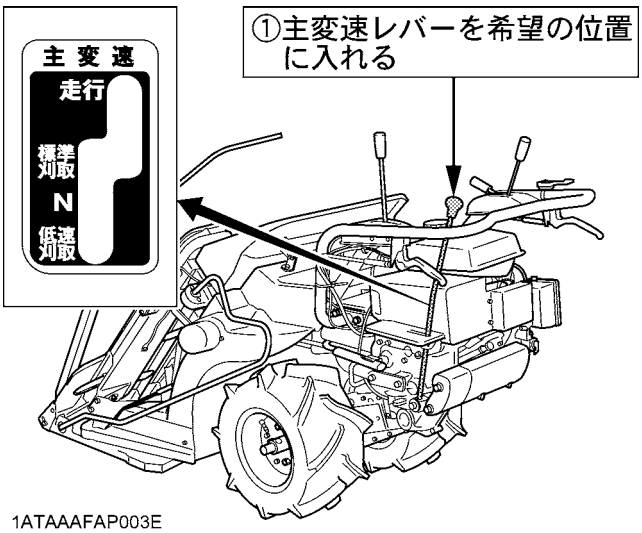
1．エンジンを始動します。

2．アクセルレバーの“•”（始動）の位置より少しエンジン回転を上げます。

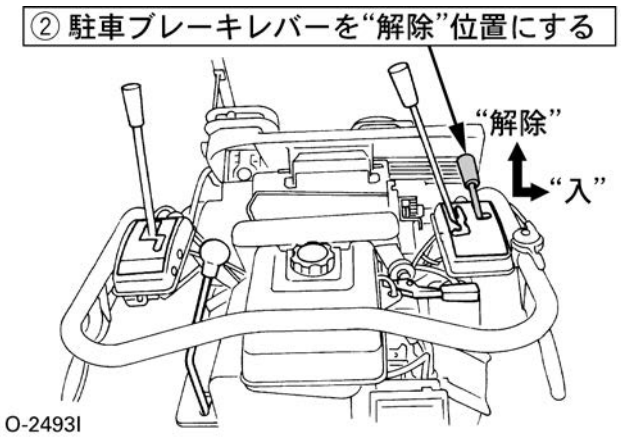
3．各レバーを操作し，発進します。

注　意

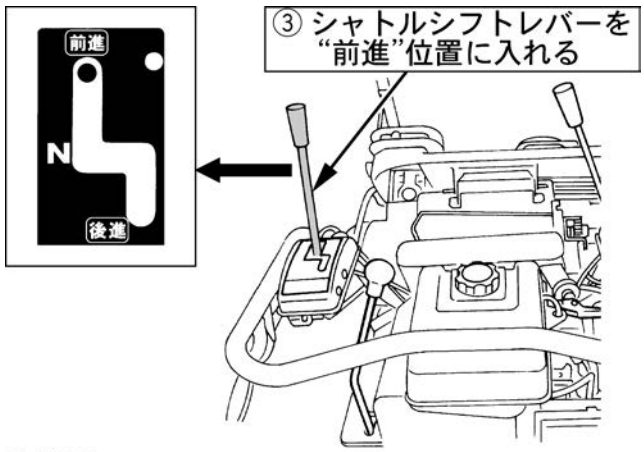
＊ 発進するときは，必ず駐車ブレーキレバーを“解除”の位置にしてください。



1ATAAAFAP003E



O-2493I



O-2493J

重　要

＊ 安全のため主変速レバーが“N”（中立）の場合は，シャトルシフトレバーを“後進”に入れても，バックしないようにけん制しています。

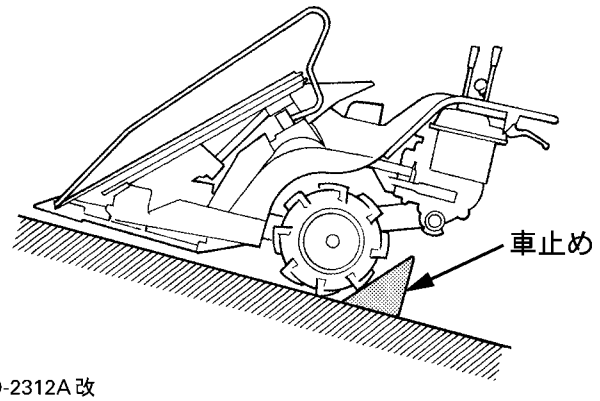
＊ 安全のため機体が後進している場合は，主変速レバーは“N”（中立）に操作しないでください。

停車のしかた

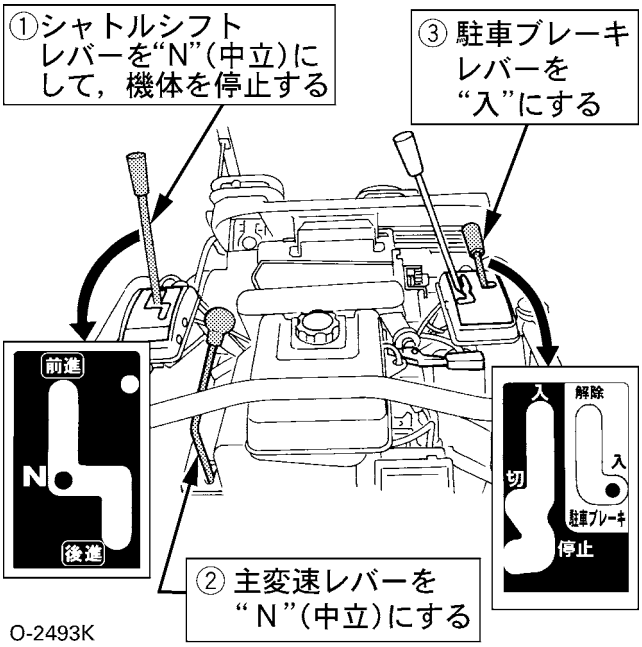
■停車

注 意

＊ 機械は，平たんで安全な場所に停車してください。
＊ やむをえず，坂道，傾斜地に停車する場合は，機械が動かないように，エンジン“停止”後，主変速レバーを“低速刈取”，駐車ブレーキレバーを“入”にして，必ず“車止め”をしてください。
＊ 坂道，傾斜地に停車した場合，操向クラッチレバーは絶対に操作しないでください。



O-2312A 改



O-2493K

ほ場間の移動のしかた

■ほ場間の移動

警 告

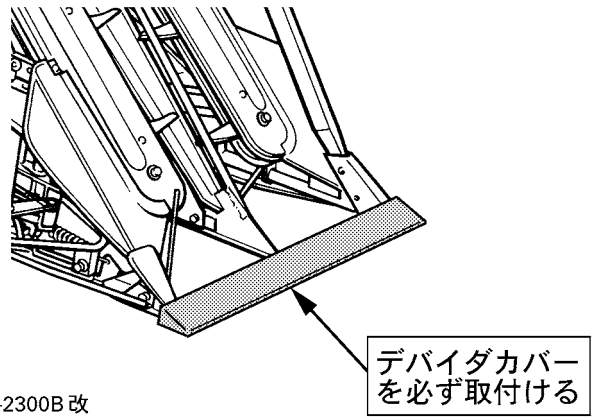
＊ 傾斜地，急な坂道，凹凸のある場所の移動は，転倒するおそれがありますので，エンジン回転を“低速”にし，主変速レバーは“低速刈取”で注意しながらゆっくり行なってください。
＊ 傾斜地，急な坂道をバックで降りる場合は，転倒するおそれがありますので，後方足元を確認し，エンジン回転を“低速”にしてください。シャトルシフトレバーの“N”(中立)操作，操向クラッチレバーの操作は絶対にしないでください。

注 意

＊ ほ場間を移動するときは，必ずデバイダカバーを取付け，分草かんを上方に【標準・D・HD】又は下方に【SD】収納し，周囲の人の妨げにならないように移動してください。
＊ 刈取りをしない移動だけのときは，必ず刈取クラッチレバーを“停止”にしてください。

1．刈取クラッチレバーを“停止”にします。

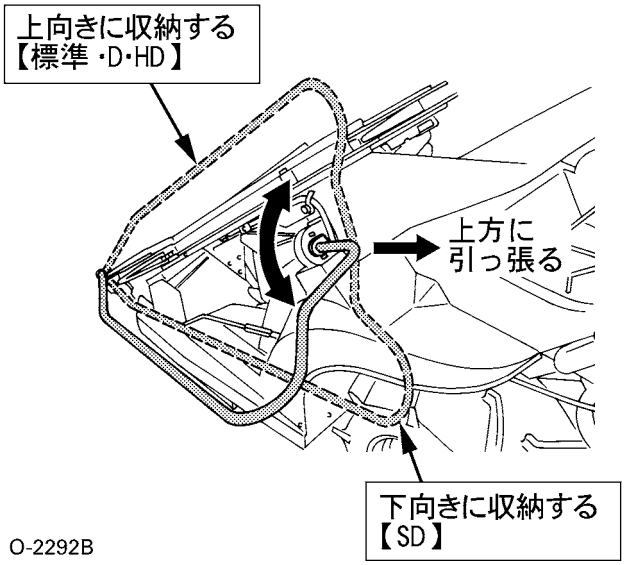
2．デバイダカバーを取付けます。



O-2300B 改

ほ場間の移動のしかた

3．分草かんを上方へ引っ張り，上向き【標準・D・HD】又は下向き【SD】に収納します。



O-2292B

トラックへの積込み・積降しのしかた

■トラックへの積込み・積降ろし

警　告

＊ あゆみ板”の途中でシャトルシフトレバーを“N”（中立）にすると，機械が急降下するので，絶対に操作しないでください。
＊“あゆみ板”の途中で，操向クラッチレバーを握ると，握った方向と逆の方向に機械が旋回して，落下の危険があるので，絶対に操作しないでください。

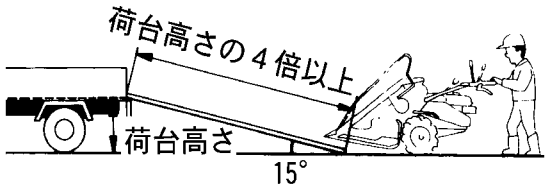
注　意

＊ 積込み・積降しは平たんで安定した場所で，ゆっくりと慎重に行なってください。
＊“あゆみ板”はすべり止めのついたバインダーの機体質量に耐えるものを２個使用してください。

あゆみ板の条件

長　　さ	トラックの荷台の高さの４倍以上
幅	30cm以上
強　　度	１枚が150kgf以上の機体質量に耐えるもの

＊ あゆみ板のフックは車の荷台に段差がなく，ずれないように確実に掛けてください。



M-3426A O-0726A

＊ ロープは必ず，ロープフックにかけ，機械をトラックに確実に固定してください。

トラックへの積込み・積降しのしかた

1. 積込みは主変速レバー“**低速刈取**”，シャトルシフトレバー“**前進**”で，エンジン回転を出来るだけ“ ”（低速）にして行なってください。
   積降しは，シャトルシフトレバー“**後進**”で行なってください。
2. 積込んだら，エンジン“**停止**”後，フューエルコックレバーを“**停止**”にし，主変速レバーを“**低速刈取**”，駐車ブレーキレバーを“**入**”にしてください。

重　要

＊ 分草かんやフレームのパイプなどには絶対にロープをかけないでください。
＊ あゆみ板とトラックの継目を越えるときは，急に機械の重心位置が変わりますので，じゅうぶん注意してください。

上手な刈取り作業のしかた

バインダー作業ができる作物とほ場条件

注 意

- ＊ 刈取り作業をするときは，周囲にじゅうぶん注意をはらい，特に子供を近づけないでください。
- ＊ 後進するときは，後方の安全を確認し，“🐢”（低速）で行なってください。
- ＊ 点検や雑草を取除くときは，必ずエンジンを止めてから行なってください。

■作物の条件

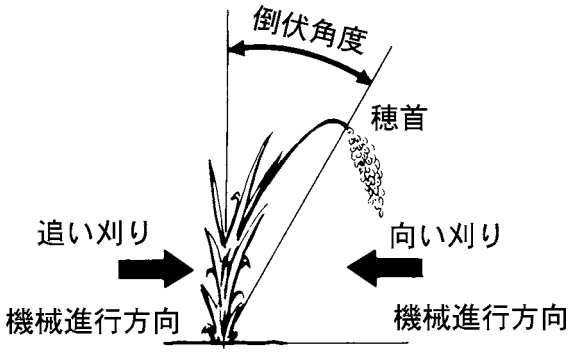
このバインダーは，稲・麦専用です。稲・麦以外の刈取りには使用しないでください。

1. 作物の長さ……全長 55 ～ 120 cm

M-0138A

2. 作物の倒れ（倒伏角度）

左倒伏，追い刈り……85 度以下
右倒伏，向い刈り……60 度以下



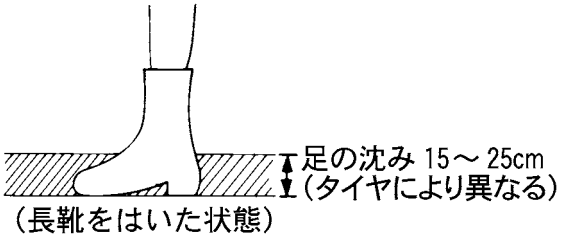
M-0138B

3. ぬれた作物
   葉や茎が回転部やカバーに付着しやすいので注意してすぐ取除くようにしてください。

4. 刈取りの適期が極度に過ぎている作物は，ぬれると折れやすいので，早朝や雨上がりには刈取らないようにしましょう。

■ほ場の条件

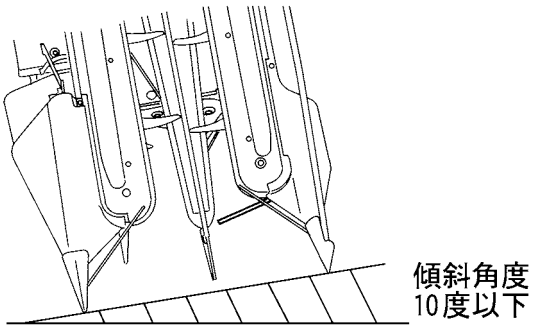
1. ほ場のぬかるみ度合



M-0218A

型　　式	標準 D, HD, SD	S, DS HDS, SDS	M, DM, HDM, SDM
タイヤの種類	広幅低 ラグタイヤ	大径湿田 タイヤ	大径特殊低 ラグタイヤ
走行限界値 （足の沈下量 cm）	15	25	〔超粘土質 ほ場用〕

2. 機体の傾斜角度は 10 度以下



O-2284B 改

重 要

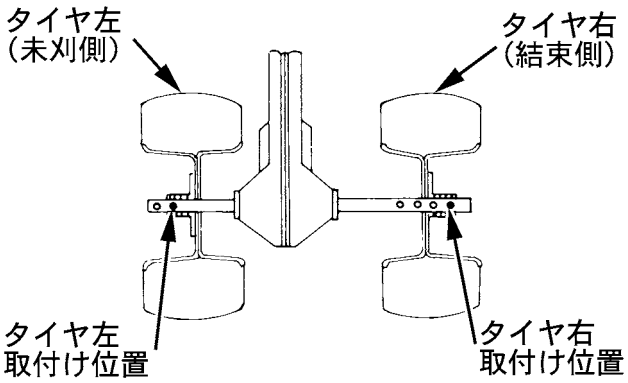
- ＊ ほ場内に雑草が多いと刈取り作業ができない場合があります。事前にほ場内の除草を行なってください。

刈取り作業前の準備

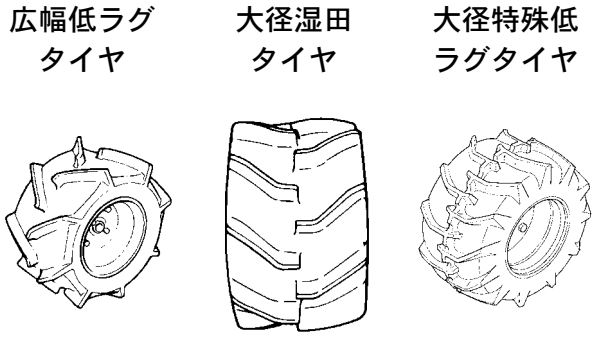
■タイヤの取付け位置

タイヤの取付けは，表の位置にしてください。

タイヤの種類	タイヤ左(未刈側)		タイヤ右(結束側)	
	車軸穴	タイヤのハブ穴	車軸穴	タイヤのハブ穴
広幅低ラグタイヤ	外から2番目	外側	外から1番目	外側
大径湿田タイヤ	外から1番目		外から2番目	
大径特殊低ラグタイヤ				



O-0627A改



O-0620A　O-0247A　O-2333A

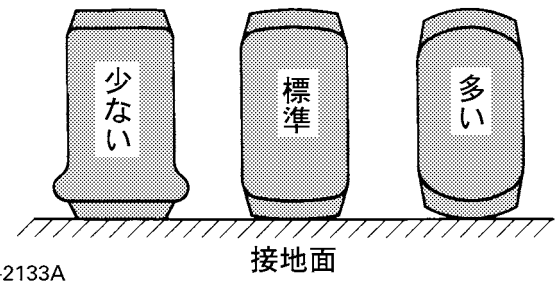
■タイヤの空気圧

警　告

- ＊ タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守ってください。
- ＊ 空気の入れ過ぎは，タイヤ破裂のおそれがあり死傷事故を引き起こす原因になります。
- ＊ タイヤに傷があり，その傷がコード（糸）に達している場合は，使用しないでください。タイヤ破裂のおそれがあります。
- ＊ タイヤ，リムなどの交換，修理は，必ず購入先にご相談ください。
  （特別教育を受けた人が行なうように，法で決められています。）

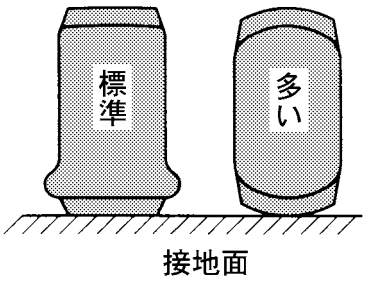
タイヤの空気圧が適切であるかを調べます。
外観から判断する目安はつぎのとおりです。

◆広幅低ラグ・大径特殊低ラグ各タイヤ（空気入り）



O-2133A

◆大径湿田タイヤ（空気圧ゼロ）



O-2134A

刈取り作業前の準備

◆タイヤの空気圧

タイヤの種類	標準空気圧kPa(kgf/cm²)	ラグ高さ(mm)	適用型式
広幅低ラグタイヤ	29.4(0.3)	30	標準,D,HD,SD
大径湿田タイヤ	0 (0)	40	S,DS,HDS,SDS
大径特殊低ラグタイヤ	19.6(0.2)	20	M,DM,HDM,SDM

重 要

＊ 左右の空気圧は同じになるように調節してください。
＊ ほ場での直進性をよくしておりますので，ほ場間の移動の場合は左方向に進む場合があります。
＊ 大径湿田タイヤ【S】は，工場出荷時タイヤ空気圧ゼロになっておりますので，そのまま使用してください。

■自動ひも通しの使い方【HD・SD】

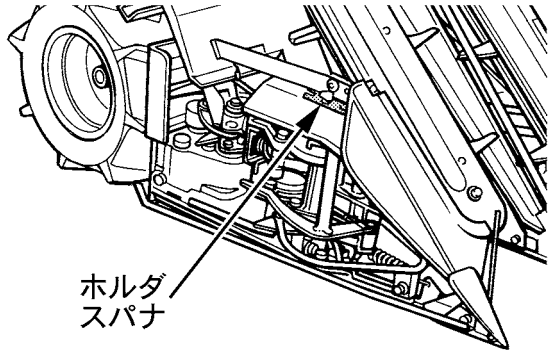
注 意

＊ エンジンを始動して，圧縮ガスを利用するので自分も含めて周囲の人に注意して行なってください。
＊ ニードルに通ったひもを上方に引っ張るとき，“わら押え棒”に目があたらないよう注意してください。
＊ 結束クラッチを入れるときは，必ずエンジンを止めてください。
＊ ホルダに結束ひもを通すときは，搬送ベルト，パッカアーム，ニードル，放出アームなど回転部分に触れないようにじゅうぶん注意してください。

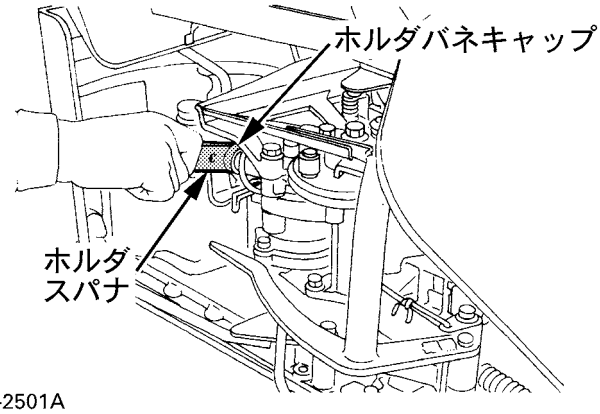
重 要

＊ ひもの通しかたを間違うと結束ミスがでたり，束の締まりがゆるくなります。

1. 結束ひもの種類によってホルダバネ圧を調節してください。
   調節はホルダスパナでホルダバネキャップを回して行ないます。



O-2300C

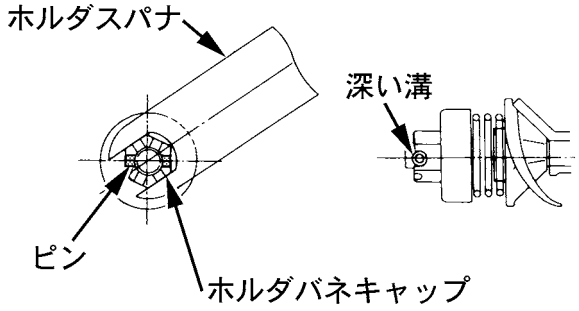


O-2501A

重 要

＊ 出荷のときは，ジュートひも位置に合わせてあります。

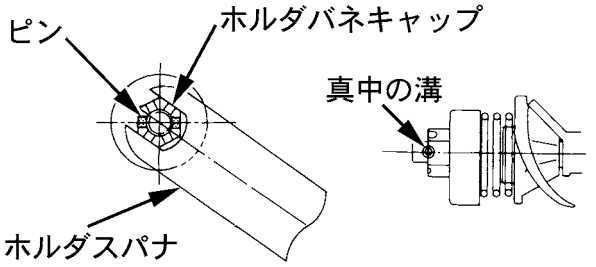
(1)ジュートひもを使用するとき，
ピンと標準(深い溝)を合わす。



O-1929A

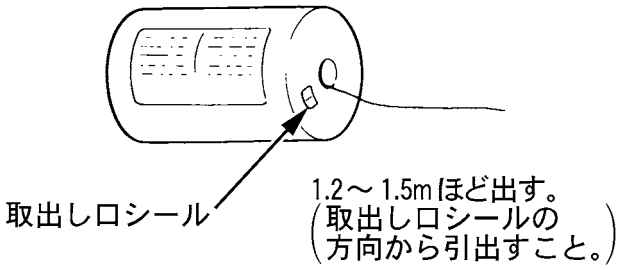
刈取り作業前の準備

(2) 合成ひも(PPひも)／サイザルひも を使用するとき，ピンと標準(真中の溝)を合わす。



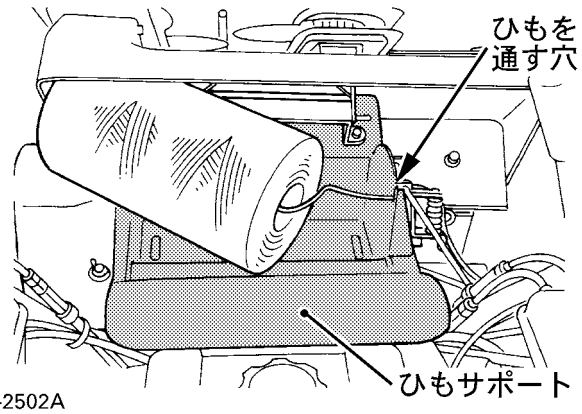
O-1930A

2. 結束ひもを取出し口シールの方向に 1.2 ～ 1.5m ほど引出します。



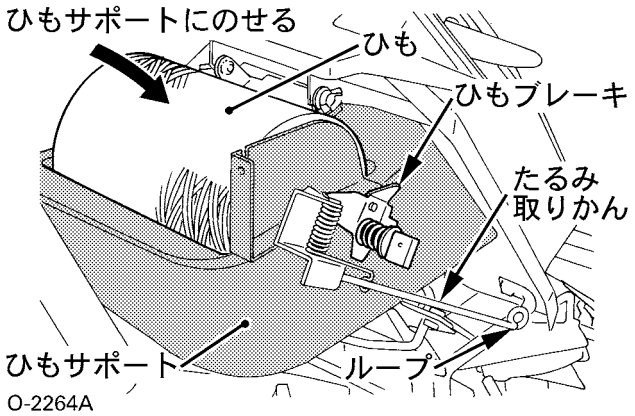
W-0006A

3. 結束ひもの先端を，ひもサポートの穴に通します。



O-2502A

4. ひもを，ひもサポートにのせます。
ひもの取出し側にすき間ができないようにのせてください。



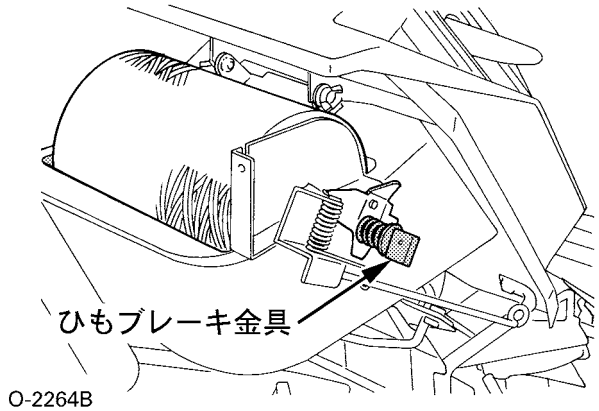
O-2264A

5. 結束ひもをひもブレーキの下側を通したあと，たるみ取りかんのループに通します。

ひもの種類	ひもブレーキ金具の位置
ジュートひも 合成ひも（PP ひも） サイザルひも	“標準”位置

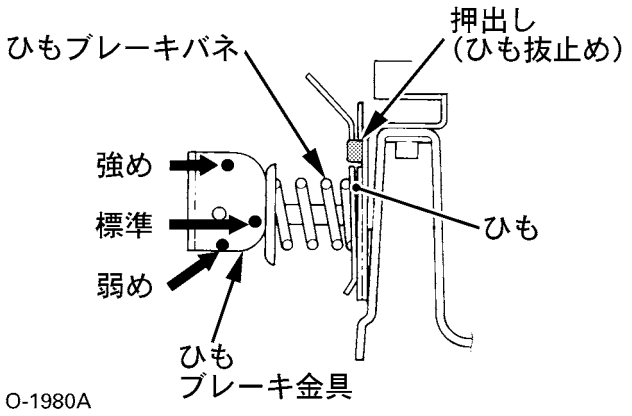
重　要

＊ ジュートひも・合成ひも（PP ひも）・サイザルひもとも通常はひもブレーキ金具を“標準”位置で使用してください。
＊ 束がしまりすぎるとひも切れの結束ミスが起きることがあります。そのときは，ひもブレーキ金具を“弱め”にセットしてください。



O-2264B

刈取り作業前の準備

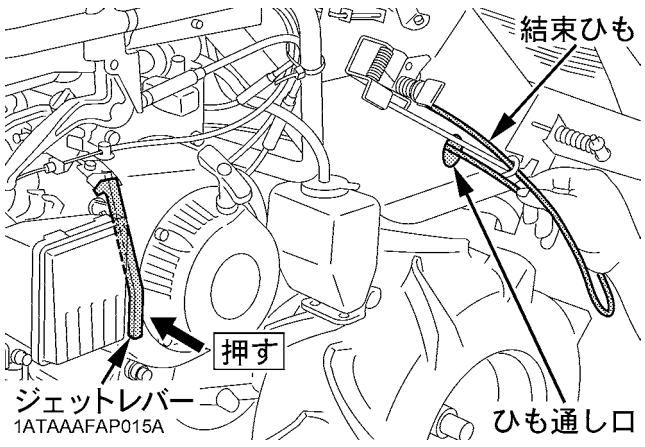


O-1980A

補　足

＊ ひもブレーキの“**押出し**”の下の位置にひもを通してください。

6. 主変速レバーを“**N**”（中立），シャトルシフトレバーを“**N**”（中立），刈取クラッチレバーを“**停止**”にします。
7. エンジンを始動させて約１分後エンジンの回転を最高回転にします。
8. 結束ひもの先端を３～５cmひも通し口の中に差込みジェットレバーを左手で軽く押します。

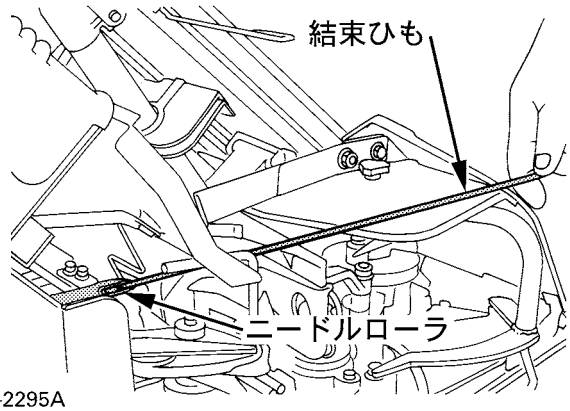


1ATAAAFAP015A

重　要

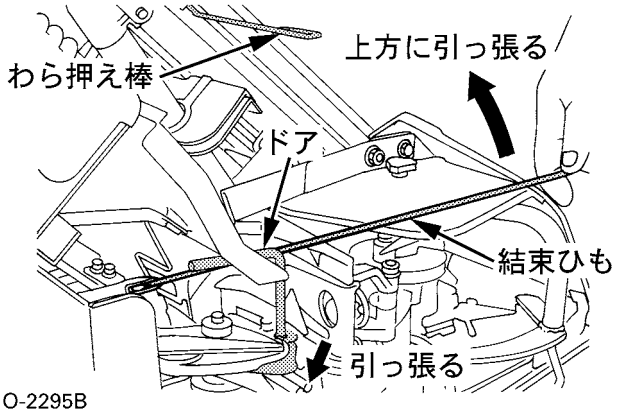
＊ エンジン始動直後，及びエンジンが低回転のままでジェットレバーを押すとエンジンが止まるときがあります。
＊ 10秒以上ジェットレバーを押し続けないでください。熱で結束ひもが焼ける場合があります。

9. １～２秒でひも通しパイプからニードルローラの前の穴を通って結束ひもが外に出てきます。
   このとき，結束ひもが，ニードルローラの前の穴を通っているか必ず確認してください。もしニードルの穴を通っていないときは，結束ひもをひも通し口から引っ張り，ニードルの穴に通るまでやり直してください。



O-2295A

10. エンジンを一旦“**停止**”します。
11. ドアを矢印の方向に“**カチッ**”と音がするまで引っ張ります。
12. エンジンを再度始動します。
13. 主変速レバーを“**N**”（中立），刈取クラッチレバーを“**手動**”にします。
14. ニードルまで通った結束ひもを片手でゆるまないように上方に引っ張りながらシャトルシフトレバーを“**前進**”に入れて結束部を作動すると，結束部にひもがつながります。
    結束ひもを引っ張るときは，“**わら押え棒**”に目があたらないよう注意してください。



O-2295B

15. シャトルシフトレバーを“**N**”（中立），刈取クラッチレバーを“**停止**”にします。

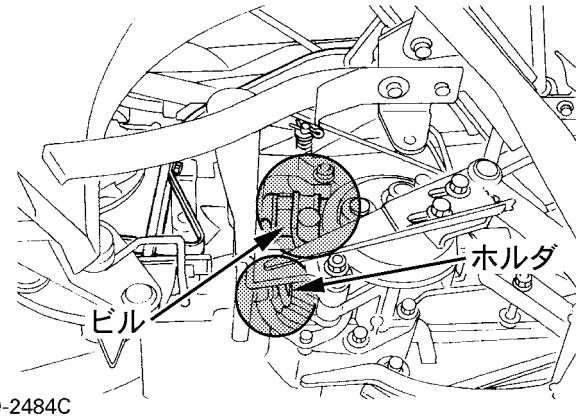
16. 片手に持っていた結束ひもを引っ張り，ビルから抜取ります。(結束ひもを横方向に引っ張ると，容易に抜取れます。)

重　要

＊ 結束するとき，結束ひもを横方向，下方向に引っ張ると，ホルダバネ部に結束ひもが巻付いて結束しません。

＊ 空結束するときはエンジン回転は“🐢”（低速）で行なってください。

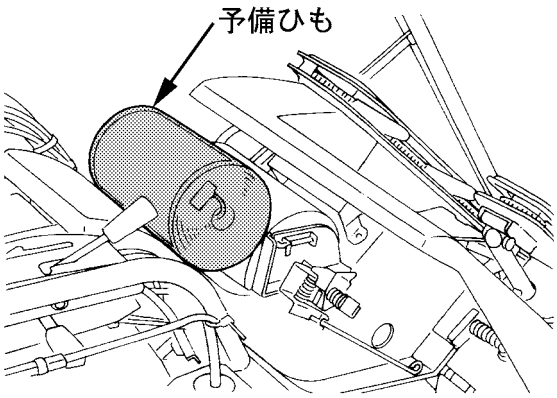
17. 結束ひもが，ホルダにしっかりつながっているか，確かめてください。



O-2484C

■予備ひもの積載【D・HD・SD】

ひもサポートに予備ひもが積載できるので，能率よく刈取作業ができます。



O-2503A

◆結束ひもは，クボタ指定ひもをお使いください。クボタ指定ひも以外は，絶対に使わないでください。

◆クボタ指定結束ひも

ひもの種類	品番	品名	ひも1巻きでの刈取り面積（中束で）
ジュートひも	50080-9441-1	ヒモ（ジュート・テザック）	約12アール
	50080-9442-1	ヒモ（ジュート・コイズミ）	
合成ひも(PPひも)	50080-9412-1	ヒモ（フィルム・コイズミ）	約15アール
	50080-9421-1	ヒモ（ハッポウ・テザック）	
	50080-9422-1	ヒモ（ハッポウ・コイズミ）	
	50080-9423-1	ヒモ（ハッポウ・ツカサ）	
	50080-9424-1	ヒモ（ハッポウ・ダイニチ）	
サイザルひも	50080-9431-1	ヒモ（サイザル・テザック）	約12アール

■結束ひもの取扱い

1. 結束ひもの取出し方向を間違うと，ひものほぐれが悪くなり，結束作業できなくなります。残った結束ひもは，取出し方向を間違わないように印をつけ，全体の形がくずれないようにして，湿気の少ない風通しのよい場所に保管してください。
2. 結束ひもは，投げたり，転がしたり，また結束ひもの上に物を乗せたり，腰かけたりすると形がくずれて，結束ひものほぐれが悪くなり，結束ミスの原因になります。
3. ジュートひもは，ぬらさないようにしてください。ひもの強度が下がり，**ひも切れの結束ミス**の原因になります。

重　要

＊ 合成ひも（PPひも）で結束した稲ワラを家畜の飼料，敷ワラに使用するときは，必ず合成ひも（PPひも）を取除き，ひもを家畜に食べさせないようにしてください。

刈取り作業前の準備

■束の大きさの調節

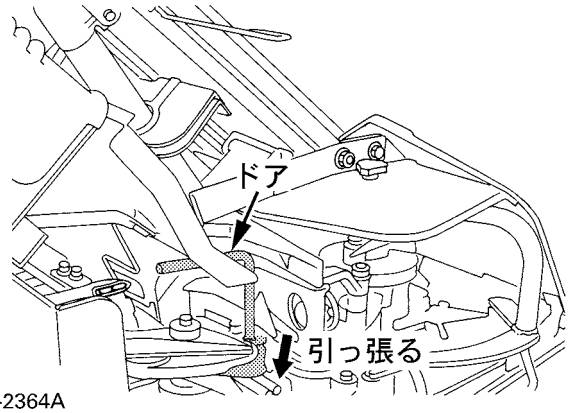
注 意

＊ 調節は，必ずエンジンを止めてから行なってください。

束の大きさは“**大束**”，“**中束**”，“**小中束**”，“**小束**”の４段階に調節できます。

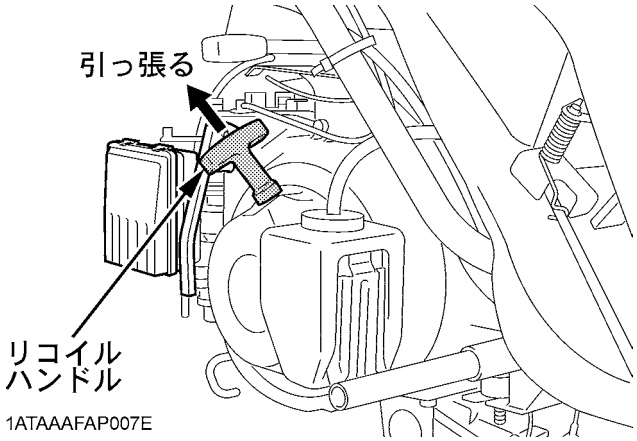
◆ 調節方法

1. ドアを矢印の方向に“**カチッ**”と音がするまで引っ張ります。



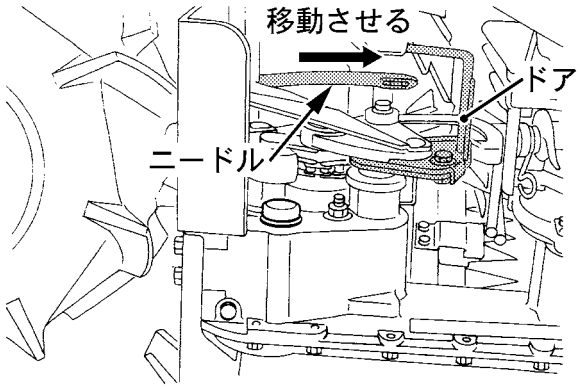
O-2364A

2. エンジンスイッチを停止位置の状態で，主変速レバーを“**N**”(中立)，シャトルシフトレバーを“**前進**”，刈取クラッチレバーを“**手動**”に入れて，リコイルスタータをゆっくり引っ張ってください。



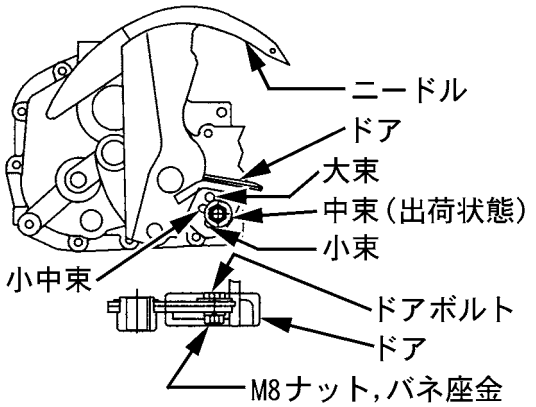
1ATAAAFAP007E

3. ドアボルトが上方に抜ける位置まで，ニードルを移動させてください。



O-2504A

4. M8ナットをゆるめてドアボルトを上方に外してください。
5. 束の大きさに合わせてドアの穴位置を変更してください。
6. ドアボルトを組付け，M8 ナットでしっかり締付けてください。
7. 束の大きさの調節が終わったら，ニードルが停止状態になるまで，リコイルスタータを引っ張ってください。



O-2358A

重 要

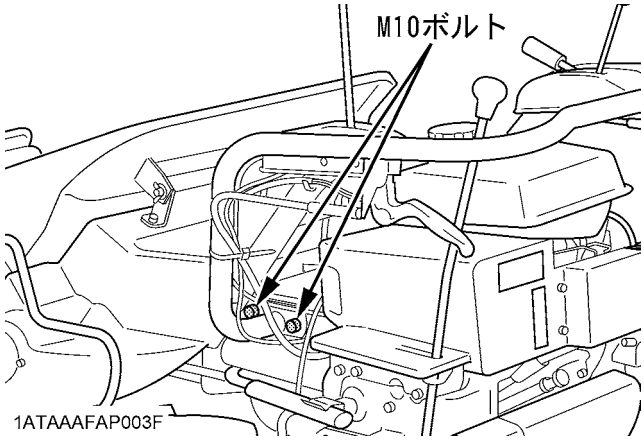
＊ 出荷のときは，中束の位置にセットしてあります。

■ハンドル高さの調節

注 意

＊ 調節は，必ずエンジンを止めてから行なってください。

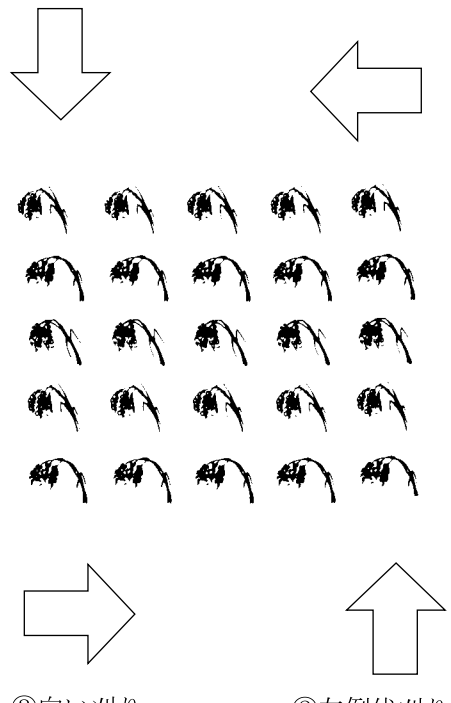
1. 使いやすい高さに調節してください。
2. 調節は，ボックススパナで，４箇所の M10 ボルトをゆるめて行なってください。
3. 調節後は，M10 ボルトをハンドルがぐらつかないようしっかり締めてください。



作物条件に応じた各部の調整

■倒伏状態と刈り方

刈取り方法＼倒伏角度	45度以内	45～60度	60～85度	85度以上
①追い刈り	○	○	△	×
②左倒伏刈り	○	○	△	×
③向い刈り	○	△	×	×
④右倒伏刈り	○	△	×	×



○：普通刈り（主変速：**標準刈取**）　△：注意しながらゆっくりと（主変速：**低速刈取**）　×：刈取りできません

重　要

＊ 作物，ほ場条件によって多少異なります。

＊ 長かんで倒伏のひどい作物の刈取り時は，トウフクブンソウカン，スイングデバイダ（アタッチメント）を使用してください。(78, 79 ページ参照)

【SD】は，スイングデバイダは標準装備です。

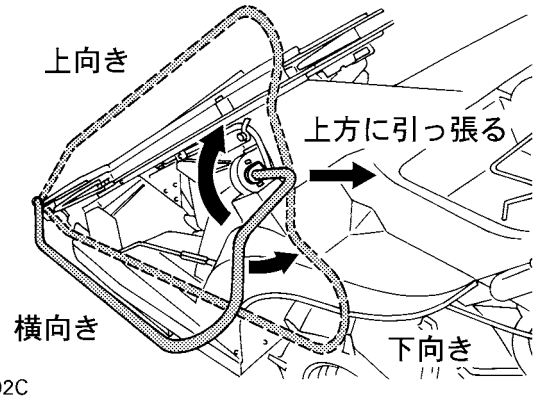
作物条件に応じた各部の調整

■倒伏状態と分草かんの使い方

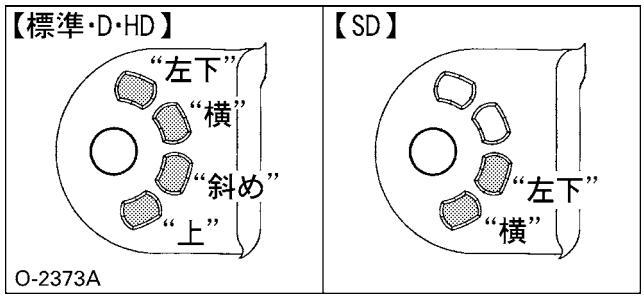
分草かんは作物の倒伏方向によって使いわけてください。
運転操作が楽になり，また脱粒・切れわら防止などの効果があります。

◆ 調節方法

分草かんを上方に引っ張って，固定する爪の位置を変えて調節します。



O-2292C



O-2373A

◆ 調節位置

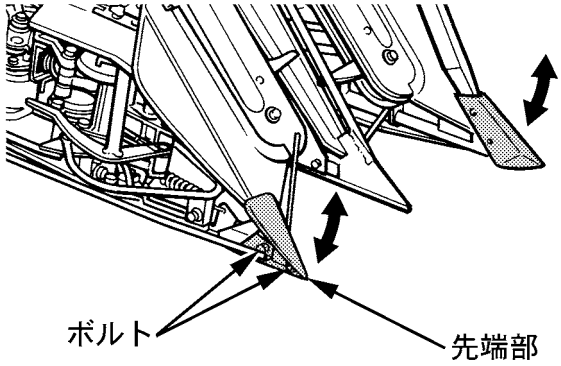
刈取り方法	分草かん調節位置	
	【標準・D・HD】	【SD】
1．追い刈り	“上” “斜め”	“横”又は“左下”
2．左倒伏刈り		
3．向い刈り	“横”又は“左下”	
4．右倒伏刈り		

■デバイダの使い方

注 意

＊ デバイダ先端の上下調節は必ずエンジンを止めてから行なってください。

湿田や倒伏作物の刈取りなどでデバイダの先端部が地面より浮き上がり刈残しが発生する場合は，下方向に，または，先端部が地面に突込んだ場合は，デバイダを上方向に調節してください。（左右共）

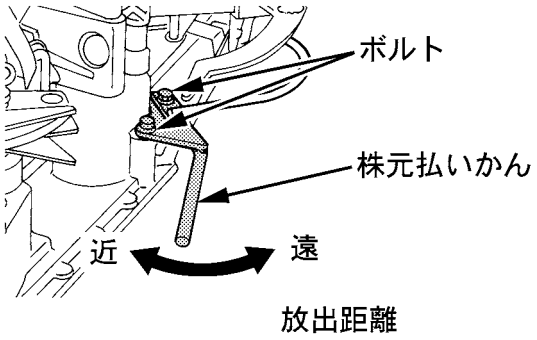


O-2300D

作物条件に応じた各部の調整

■株元払いかんの使い方

・放出束の株元をタイヤなどで踏む場合は，株元払いかんを外方向に出してください。
・穂先の放出が悪い場合は，株元払いかんを内側に入れてください。
・あぜぎわ刈取りのときは，株元払いかんが変形しないよう注意してください。



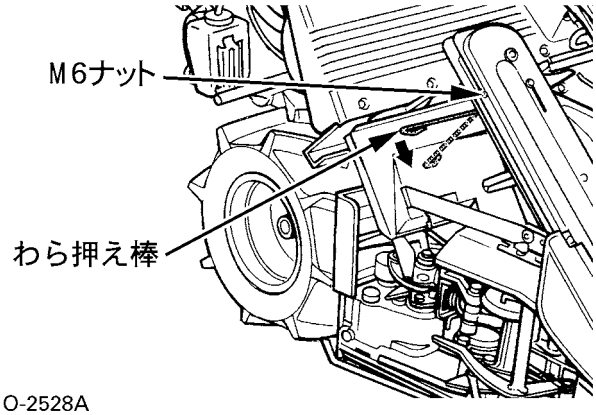
O-2298A

補　足

＊ 外方向いっぱいに出してもタイヤの土の付着やタイヤで株元を踏む場合は，アタッチメントの株元払かんを使用してください。(77ページ参照)

■わら押え棒の取扱い

長かんで倒伏した作物の刈取り中，穂先の放出が悪い場合，M6 ナットをゆるめわら押え棒の先端を止まるまで下方向に押して，わら押え棒を斜めにして，作業してください。



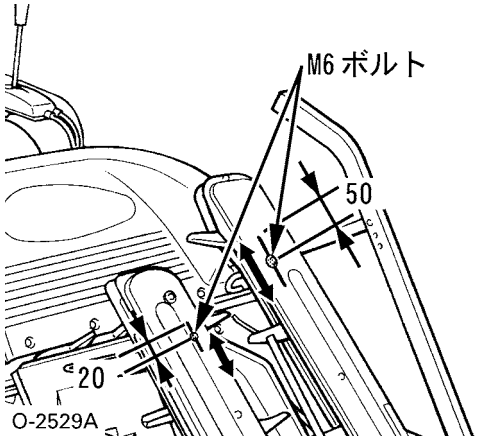
O-2528A

■引起し爪作用高さの調整

注　意

＊ 引起し爪作用高さの調節は，必ずエンジンを止めてから行なってください。

作物の全長に合わせて，引起し爪の作用高さを調節してください。
M6 ボルトをゆるめて，上下にスライドさせることで，引起し爪の作用高さが変わります。
工場出荷時は下図の位置にセットされています。
この位置で作業を始めて，長かんで倒伏した作物の刈取で穂先まで引起しきれない場合は，上に上げて，また短かんで脱粒しやすい作物を刈取る場合は，下に下げて作業してください。



O-2529A

重　要

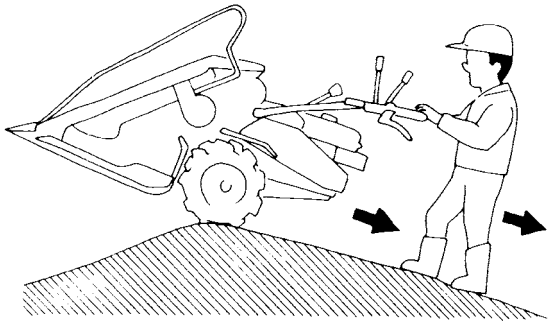
＊ 左・右の引起し爪作用高さ（爪が倒れる位置）が，同じ高さになる位置で M6 ボルトを締めてください。

刈取り作業について

■刈取り作業の注意点

1. 刈取り作業は，適期に行なってください。
   時期が遅れると，わらが乱れたり脱粒するなど作業が困難になり，また作物がひどくいたみます。
   特に乾燥剤を使用した稲は，刈取りが困難ですから，注意しながら作業をすすめてください。
2. あぜぎわまで補植されたほ場を刈取る場合は，作物放出時に放出アームがあぜに当たって故障の原因となる為，あぜから１～２条分残し，最後に逆方向でデバイダの先があぜに当たらないようにエンジン回転を“🐢”（低速）にして注意しながら作業を行なってください。
3. あぜや斜面を降りる場合は，バインダーの方向を変え，シャトルシフトレバー“**後進**”で，エンジン回転を“🐢”（低速）にして，後方足元をよく確かめて降りてください。
   操向クラッチレバーは，絶対に操作しないでください。機械が通常操作時と，逆の方向に旋回し，危険です。

うしろ向きに降りる



O-0726B

4. 倒伏稲（倒伏角度60度以上）･湿田･不定形ほ場などでは，“**低速刈取**”で刈取り作業してください。
   刈取クラッチレバーは，“**手動**”【D・HD・SD】又は，“**入**”【**標準**】で使用してください。

■雑草の多い田畑の刈取り

注　意

＊ 機械についた雑草を取除くときは，必ずエンジンを止めてください。

1. 雑草の多い田畑では，
   ・回転部に雑草が巻付きやすくなります。
   ・短い雑草は，搬送下部・刈刃部に詰まりやすくなります。
   ・枯草は，特に刈刃の切れを悪くします。
2. 作業中はたえず注意して，回転部に巻付いたり，詰まりかけた雑草を，そのたびに取るようにしてください。
3. 雑草が多いと作業能率が著しく低下します。雑草の多い田畑では，雑草の発生をできるだけ少なくするように栽培してください。

重　要

＊ 雑草を取除くときは，集中注油装置の配管ホースを傷つけないように注意してください。【D・HD・SD】

■露や雨にぬれた作物の刈取り

朝露のまだ乾かない早朝や，雨上がりには，作物全体がぬれていますから，たえず注意しながら作業を進めてください。

1. ぬれた葉や茎は，各回転部に巻付いたり，搬送カバーや引起し枠などに付着しやすいので，注意して取除くようにしてください。
2. 刈取りの適期が極度に過ぎている作物は，ぬれると折れやすいので，早朝や雨上がりには刈取らないようにしてください。
3. ぬれた作物の刈取り作業で，**ジュートひも**を使用する場合は，ひもがぬれてすべりが悪くなり，**ひも切れの結束ミス**が発生するときがあります。
   結束状態にじゅうぶん気をつけながら作業してください。

刈取り作業について

■湿田の刈取り

注 意

＊ 刈刃部・搬送部などを掃除するときは必ずエンジンを止めて行なってください。

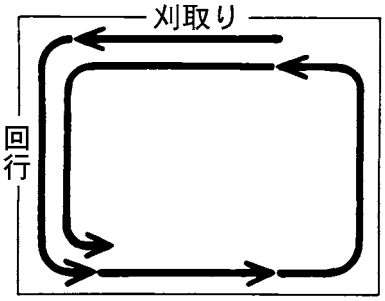
湿田での刈取り走行限界値は次の通りですが，ほ場の条件，土質，表面の状態により異なりますので注意してください。

湿田走行限界値

型　　式	標準 D, HD, SD	S, DS HDS, SDS	M, DM, HDM, SDM
タ イ ヤ の 種 類	広幅低 ラグタイヤ	大径湿田 タイヤ	大径特殊低 ラグタイヤ
走行限界値 (足の沈下量 cm)	15	25	〔超粘土質 ほ場用〕

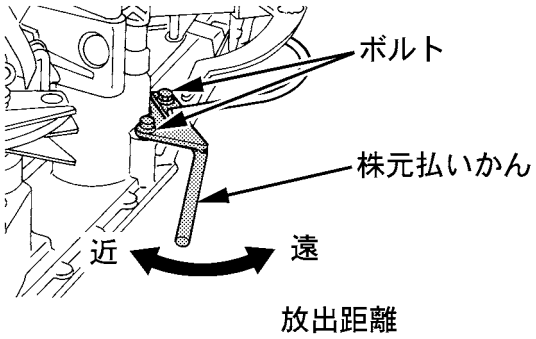
◆刈取り方法

1. 枕地はできるだけ広く刈取り，外方向から内方向へ順次回行してください。



O-0203A

2. 放出束の株元にタイヤによる土が付着する場合は，株元払いかんを外方向に出してください。(62 ページ参照)

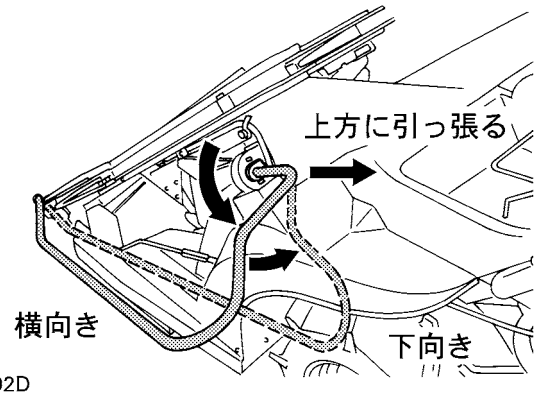


O-2298A

補　足

＊ 外方向いっぱいに出してもタイヤの土の付着やタイヤで株元を踏む場合は，アタッチメントの株元払かんを使用してください。(77 ページ参照)

3. 未刈り稲をタイヤで汚す場合は，分草かんを下向きにしてください。(30 ページ参照)

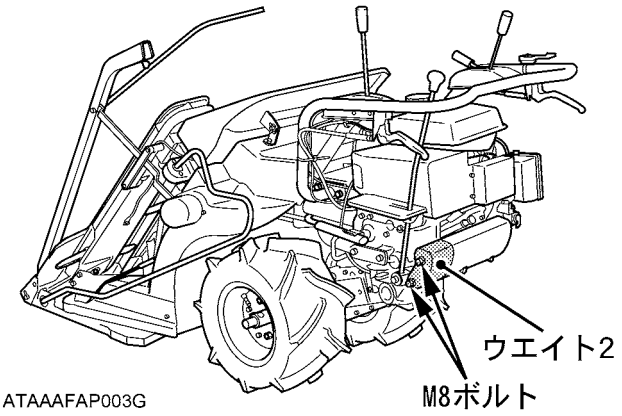


O-2292D

4. 刈刃部・搬送部に土や雑草などが詰まり搬送が悪くなったり，株元が汚れる場合は土や雑草を取除いてください。

刈取り作業について

5. 湿田刈取りで刈取部が浮き上がるときはM8ボルト２本を外し，ウエイト２を外して作業を行なってください。

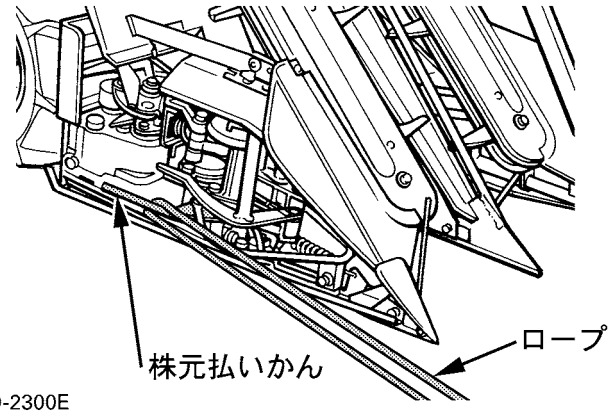


1ATAAAFAP003G

6. タイヤ及びミッション部に土が多量に付着した場合，又はタイヤの内側への土詰まりがある場合は，それらを取除いてください。
7. 機体が沈下し走行不能になったときは，補助者が機械の前で，必ずロープを使って，機械から離れて引っ張り上げてください。

注　意

＊ このとき刈取部は止めて，互いに合図をして安全に行なってください。



O-2300E

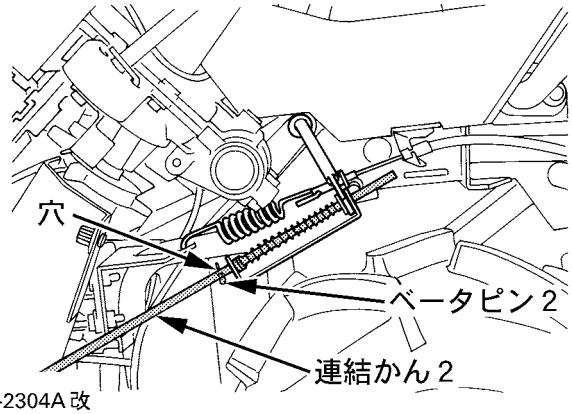
■短かんで稲株が小さい作物の刈取り【D・HD・SD】

注　意

＊ 調節するときは必ずエンジンを止めて行なってください。

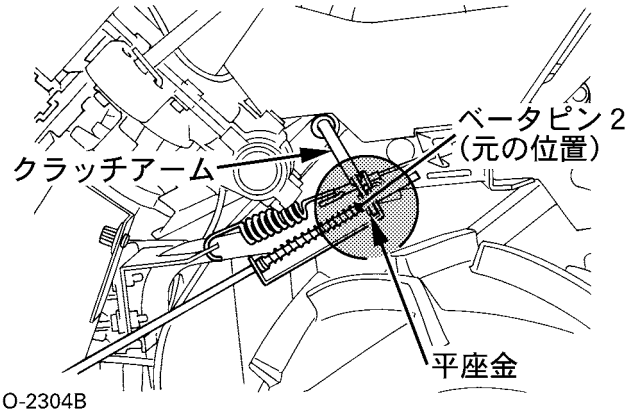
１株 10 本未満の分けつ数で，しかも短かんの作物を刈取る場合で刈取クラッチレバーを“**手動**”の位置にしても，作物を押し倒すようなことがあった場合はセンサをフリーの状態にし，“**手動**”の位置で作業を行なってください。

1. 連結かん２に組付けられているベータピン２を外してください。
2. 外したベータピン２は連結かん２の穴に差込んで紛失しないようにしてください。



O-2304A 改

3. 刈取クラッチレバーを“**手動**”の位置で作業してください。
4. 普通の稲の刈取り作業はベータピン２を元の位置に組付けてください。



O-2304B

刈取り作業について

■作業中の故障対策

警　告

＊ エンジン運転中は，各回転部，刈刃部，結束部，自動刈取りクラッチ部【D・HD・SD】に手を持っていくと危険です。
＊ 必ずエンジンを止めてから，調べるようにしてください。

作業中に異常が起こって，エンジンが急に停止したり，刈取部が動かなくなったときには，まずその原因を調べ，正常な状態に戻してから作業を続けるようにしてください。
異常な状態のまま作業を続けたり，エンジンの回転を上げて，急にクラッチを入れたりすると，思わぬ大きな故障を引起こすことがあります。異常が起こったときはエンジンを“**停止**”して下記事項を確認してください。

1. 刈刃に，石や木片がかみ込んでいないか，わらや土が詰まっていないか。
2. 結束部と搬送通路に，土，泥，わらなどが詰まっていないか。
3. 引起し枠の中にわら，ごみなどが詰まっていないか。
4. 引起しチェーンや爪が，どこかにあたっていないか。

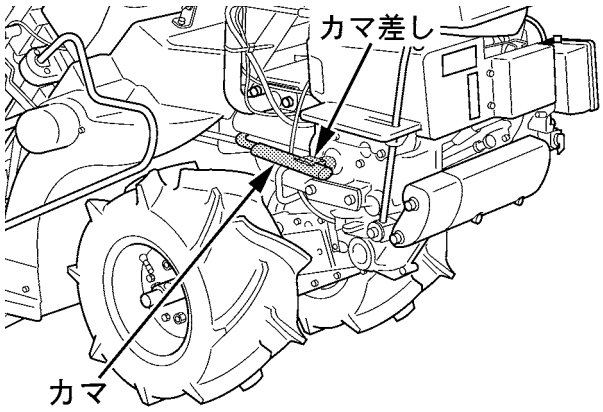
また，いろいろと調べても原因がわからないときは，購入先に連絡して，正しい処置をとるようにしてください。

■ほ場の手刈り

注　意

＊ カマの脱着時や，カマをカマ差しに装着したまま周辺の清掃を行なう場合は，カマの刃部に触れないよう，じゅうぶん注意してください。

1. バインダーが，ほ場の隅で，旋回できる程度の部分を，手刈りしてください。
2. カマはカマ差しに装着してください。



1ATAAAFAP003H

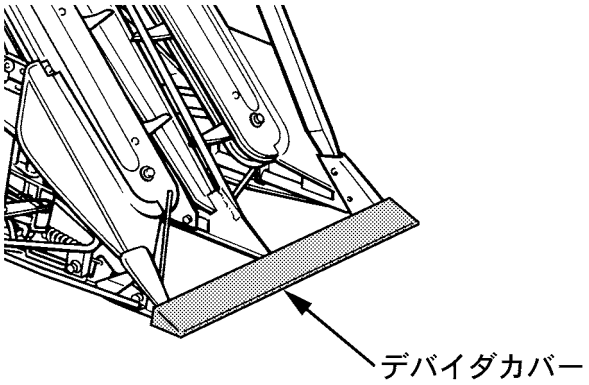
刈取り作業について

■刈取り作業の操作

注 意

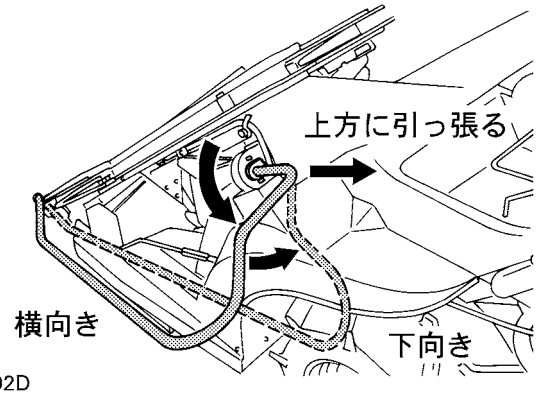
＊ 発進するときは，必ず駐車ブレーキレバーを“解除”の位置にしてください。
＊ 自動刈取クラッチは，ほ場でのみ使用してください。

1. デバイダカバーを外します。



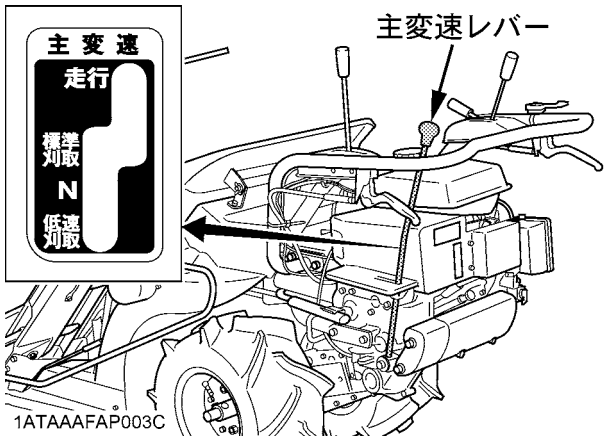
O-2300F

2. 分草かんの位置を作物条件に合わせて調節します。(30 ページ参照)



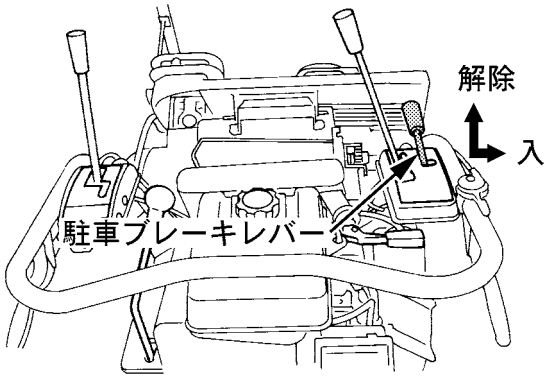
O-2292D

3. エンジンを始動し，主変速レバーを希望の位置に入れます。



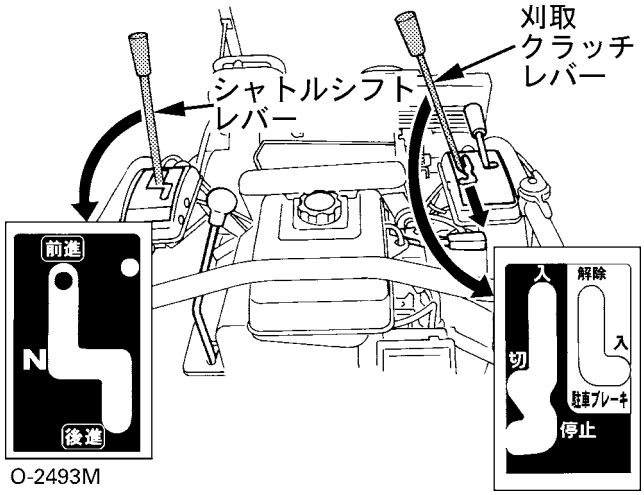
1ATAAAFAP003C

4. 駐車ブレーキレバーを“**解除**”の位置にします。



O-2493L

5. 刈取クラッチレバーを“**入**”**【標準】**又は“**自動**”か“**手動**”**【D・HD・SD】**，シャトルシフトレバーを“**前進**”にして，前進します。



O-2493M

6. 刈取り作物が，各デバイダの間にくるように入れて刈ります。

刈取り作業について

重　要

＊ シャトルシフトレバーが“**後進**”のときは，主変速レバーは“N”（中立）に変速できません。
＊ 主変速レバーが“N”（中立）のときは，シャトルシフトレバーを“**後進**”に入れないでください。
＊ 機体が後進している場合は，主変速レバーは“N”（中立）に操作しないでください。

◆刈取クラッチレバーの使い方【D・HD・SD】

刈取クラッチレバーの“**手動**”・“**自動**”・“**停止**”は，下表のようにご使用ください。

レバーの位置	使　用　条　件
“**手動**”	(1)倒伏のひどい作物又は湿田などで作業するとき。 (2)不定形ほ場で作業するとき。 (3)欠株の多いほ場で作業するとき。 (4)エンジン低速で作業するとき。 (5)ひもを通す場合や集中注油操作など，機体を止めて刈取部を動かすとき。
“**自動**”	普通の刈取り作業。
“**停止**”	(1)ほ場間の移動・あぜ越え・車への積込み・積降しのとき。 (2)点検・調整・掃除のとき。 (3)エンジン始動のとき。 (4)作業終了後，機械格納のとき。

■旋回のしかた

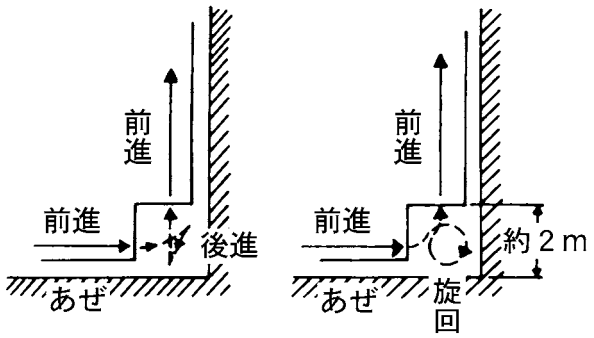
注　意

＊ 旋回するときは，周囲の人にじゅうぶん注意し，エンジン回転を“🐢”（低速）にし，ゆっくり行なってください。

(1) “**後進**”を使う方法
シャトルシフトレバーを“**前進**”・“**後進**”・“**前進**”にして方向を変える方法が簡単で確実です。

(2) 旋回による方法
旋回したい方向の操向クラッチレバーを握って旋回します。
変速する必要はありませんが，広い場所がいるので，刈取った束を横に移さなくてはなりません。

(3) 旋回のとき及び刈取りの条へ入るときは，アクセルレバーを“🐢”（低速）にして，ゆっくり刈取りの条へ入った後，アクセルレバーを“🐇”（高速）にしてください。運転操作が確実で楽にできます。

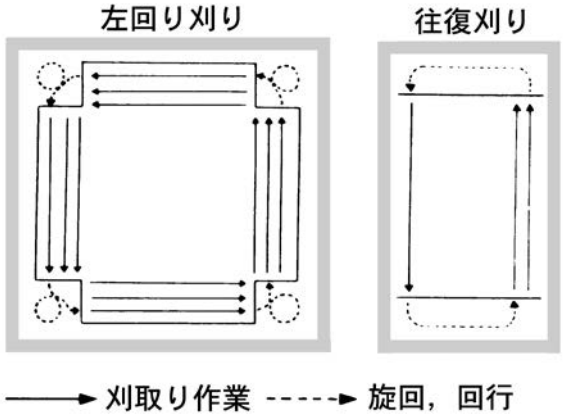


O-0090A

■ほ場の形状による刈り方

刈り方には，“**左回り刈り**”，“**往復刈り**”，“**一方刈り**”があります。

(1) 四角形のほ場では，“**左回り刈り**”をします。
(2) 長方形のほ場では“**往復刈り**”が適しています。
(3) 不規則な形のほ場では，短い辺や斜めの辺を先に刈って，四角形になるようにしてから，“**左回り刈り**”または“**往復刈り**”をします。
(4) 倒伏の激しい場合や田畑の特殊な状態によっては，“**一方刈り**”をします。



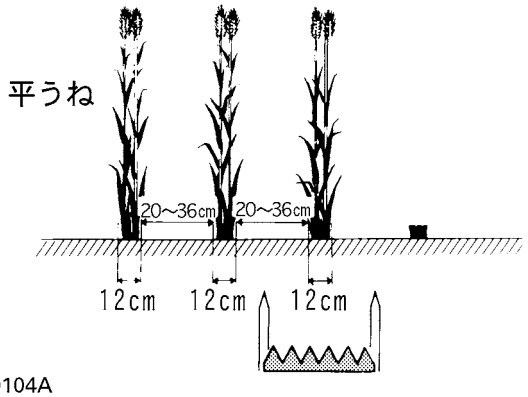
O-0089A

麦の刈取り

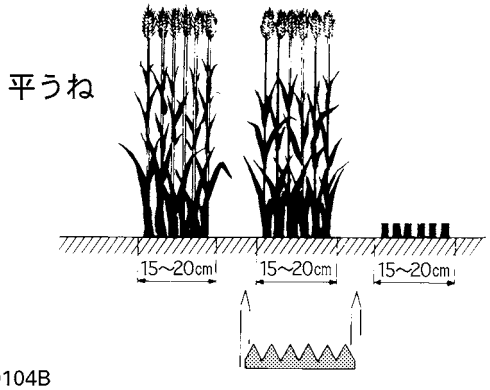
麦は稲と違って，品種や作付け方法が多種多様です。

(1) バインダーで麦を刈るには，バインダーに合った作付けをしてください。
無理な刈取りは，バインダーを破損する原因になります。

(2) 平まきが，バインダーに適した作付けです。
平まきの麦は楽に刈れます。



O-0104A



O-0104B

(3) うね立て栽培の麦を刈るには，うねをバインダーの条件に合わせてつくってください。

■麦の刈取り方法

(1) 小麦，ビール麦は刈れますが，作付けによっては刈れない場合があります。

(2) かんの弱い大麦は，バインダーで刈ると作物がひどくいたみますから，注意してください。

(3) 麦は，適期をすぎると急に脱粒や穂切れが多くなります。少し早目に刈るようにしてください。

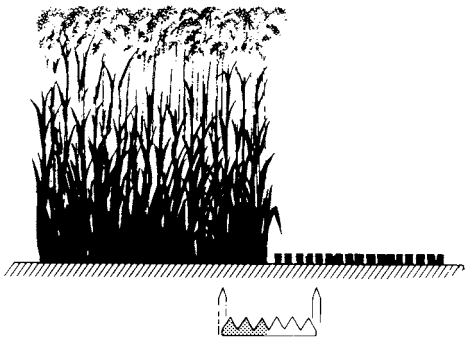
(4) 120cm をこえるビール麦や，特に短い麦は，刈れません。

(5) 倒れた麦は，45 度以内なら刈れます。
45度以上倒れている作物を無理に刈取ると，わらが折れる場合があります。

(6) 降雨中や，ぬれている麦は，作物がカバーに付着したり，巻付いたりします。ぬれている麦は，刈らないでください。

■密植した作物の刈取り

麦の広幅まきのように，密植した作物は，
刈り幅の半分ほどを刈取るようにしてください。



O-0103A

メンテナンス

給油・点検調整一覧表

警 告

＊ 各部の給油，注油，点検，交換は，機械を平たんで安全な場所におき，駐車ブレーキレバーを“入”にし，必ずエンジンを止めてください。
＊ オイル給油及び交換中は火気厳禁。
＊ タイヤの空気圧は，取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守ってください。
＊ 取外した回転部のカバー類は，衣服などが巻込み危険ですので，点検後は必ず取付けてから作業をしてください。

注 意

＊ 燃料タンクキャップ，オイルゲージ，排油プラグは確実に締付け又は，取付けてください。

■注油・給油一覧表

※印は毎日作業前に点検してください。

項　　目		参照ページ	補給・交換時期		オイルの種類	給油量
※ 燃料タンク		8	毎日作業前に補給		自動車用レギュラガソリン（無鉛）	満たん量　2.4L
※ エンジンクランクケース		45	第1回100アールで交換	その後200アールごとに交換	クボタ純オイルスーパーG 10W-30（ガソリン・灯油エンジン用）	オイルゲージの“L”(下限)と“F”(上限)の間まで 約0.6L
ミッションケース		45			クボタ純オイルM90（ミッション用）	約1.0L
チェーンケース		46				約0.45L
結束ケース		47				約1.3L
・集中注油【D・HD・SD】 ・手動注油【標準】	※刈刃部（刈刃・受刃・すらし板・ナイフクリップ）	9,12	毎日作業前に点検，注油		クボタ純オイルスーパーG 10W-30（ガソリン・灯油エンジン用）	注油ポンプレバーを1～2回押して注油する。【D・HD・SD】適量。【標準】
	引き起こしチェーン	41	20～30アール使用ごとに注油			
	搬送チェーン					
手動注油部	刈取クラッチレバー支点部 刈取クラッチワイヤ 操向クラッチワイヤ（2本） シャトルシフトレバー支点部 走行クラッチアームローラ部 走行クラッチカム面 走行クラッチワイヤ・ワイヤ支点部 シャトルワイヤ・ワイヤ支点部 センサ支点部【D・HD・SD】 連結かん支点部【D・HD・SD】 刈刃クランクローラ部 ニードルピットマン パッカアーム	42～44	50～60アール使用ごとに注油		クボタ純オイルスーパーG 10W-30（ガソリン・灯油エンジン用）	適　量
	※ビル押え支点 ベベルピニオン（2箇所） ※ホルダシャフト ※ビルローラ	10	毎日作業前に点検，注油			
センサ支点部【D・HD・SD】		59	格納時に注油			

給油・点検調整一覧表

項　　目	参照ページ	補給・交換時期	オイルの種類	給油量
ベベルギヤケース（ヒキオコシ下） ベベルギヤケース（ヒキオコシ上） ケース（入力） ケース（搬送駆動） ケース（刈刃）	47	各シーズン使用前又は，200アール使用ごとに補給	クボタスペアグリース	適量
※ベベルブラケット	10	毎日作業前に点検，補給	モリブデングリース	グリースポット一杯

重　要

［各部への補給と交換］

＊ 点検するときは機体を水平な場所において行なってください。傾いていると正確な量を示しません。
＊ 使用するオイル・グリースは，指定の**クボタ純オイル・スペアグリース**を使用してください。
＊ 補給や交換の際は，ゴミや水が混入しないようにしてください。

■点検調整一覧表　　※印は毎日作業前に点検してください。

項　　目	参照ページ	点検・調整時期
※引き起こしチェーンの張り調整	54	毎日作業前
※タイヤの空気圧の調整	23	
走行クラッチワイヤ，シャトルワイヤの調整	47,48	第1回：20アール使用後 200アール使用ごと
駐車ブレーキワイヤの調整	48	
操向クラッチワイヤの調整	49	
刈取クラッチワイヤの調整	51	
搬送ベルトの張り調整	49	
エアクリーナの掃除	44	100アール使用ごと
刈刃部の整備	50	各シーズン使用前又は，200アール使用ごと
フューエルフィルタの掃除	52	
電気配線の損傷及び接続部のゆるみの点検	53	

毎日作業前

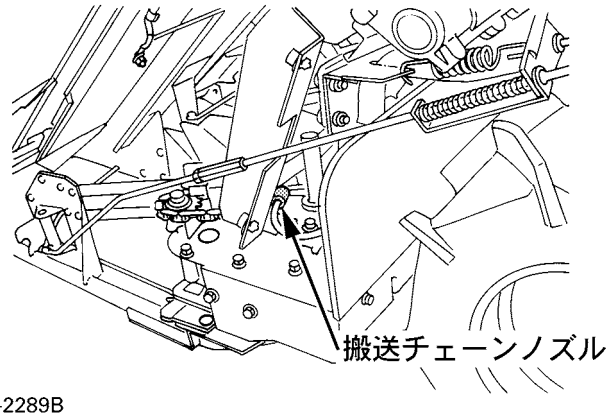
次の項目は“**運転前の点検**”を参照してください。
＊燃料
＊エンジンオイル
＊ひもの通し方
＊集中注油【D・HD・SD】
＊引起しチェーンの張り調整
＊タイヤの空気圧の調整
＊ベベルブラケット
＊ビル押え支点，ベベルピニオン，ホルダシャフト，ビルローラ
＊刈刃部(刈刃,受刃,すらし板,ナイフクリップ)

20 ～ 30 アールごと

■集中注油装置による注油箇所

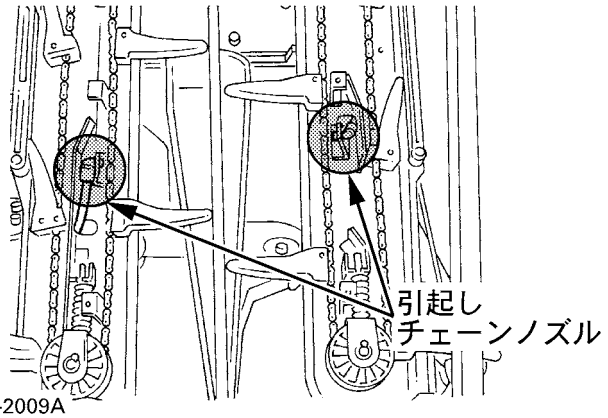
【D・HD・SD】

◆搬送チェーン



O-2289B

◆引起しチェーン

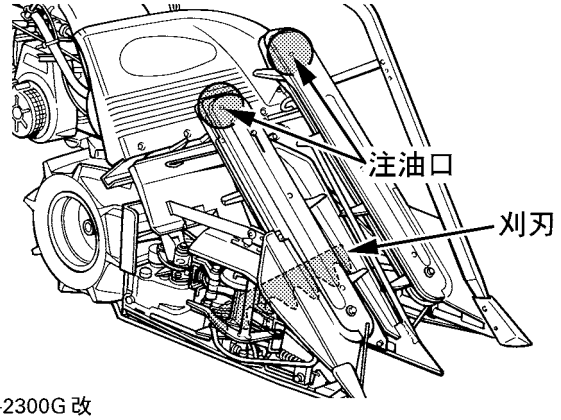


O-2009A

■油差し（手動）による注油箇所【標準】

◆引起しチェーン（右・左）

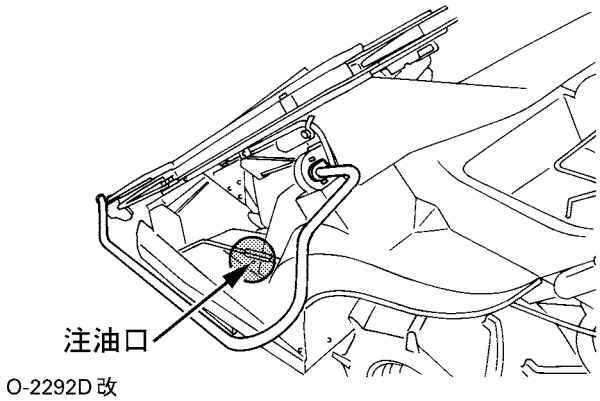
◆刈刃部



O-2300G 改

20 ～ 30 アールごと

◆ 搬送チェーン



O-2292D 改

■走行クラッチワイヤ・シャトルワイヤの調整

第 1 回目は20アール使用後に調整してください。
47,48 ページの 200 アールごとの項を参照してください。

■駐車ブレーキワイヤの調整

第 1 回目は20アール使用後に調整してください。
48 ページの 200 アールごとの項を参照してください。

■操向クラッチワイヤの調整

第 1 回目は20アール使用後に調整してください。
49 ページの 200 アールごとの項を参照してください。

■刈取クラッチワイヤの調整

第 1 回目は20アール使用後に調整してください。
51 ページの 200 アールごとの項を参照してください。

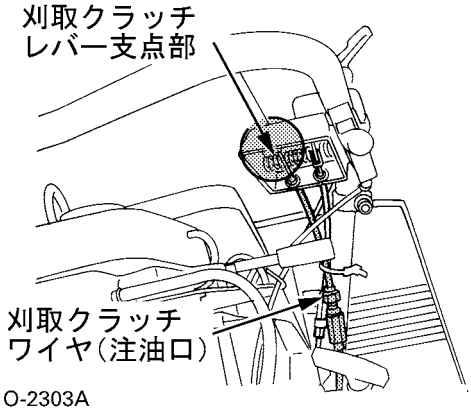
■搬送ベルトの張り調整

第 1 回目は20アール使用後に調整してください。
49 ページの 200 アールごとの項を参照してください。

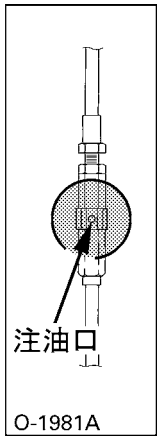
50 ～ 60 アールごと

■注油箇所

◆ 刈取クラッチレバー支点部
◆ 刈取クラッチワイヤ

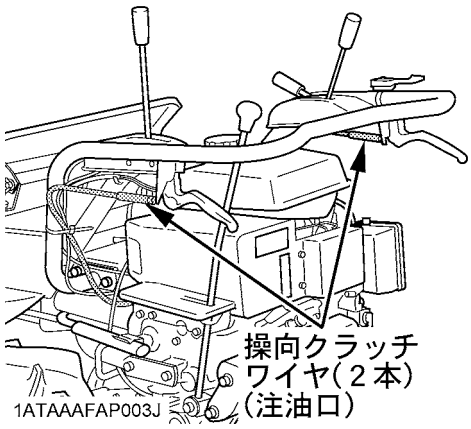


O-2303A

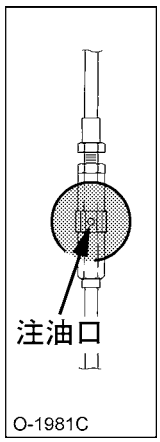


O-1981A

◆ 操向クラッチワイヤ（２本）

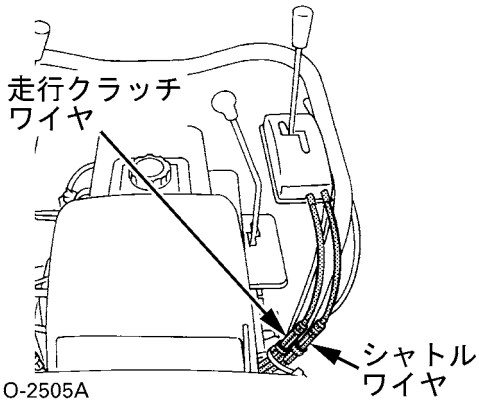


1ATAAAFAP003J

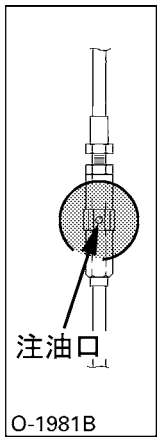


O-1981C

◆ 走行クラッチワイヤ
◆ シャトルワイヤ



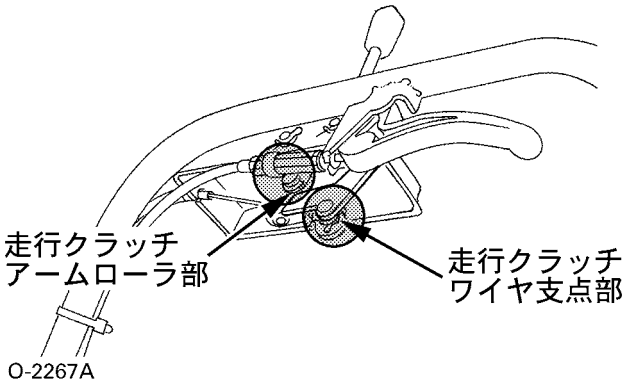
O-2505A



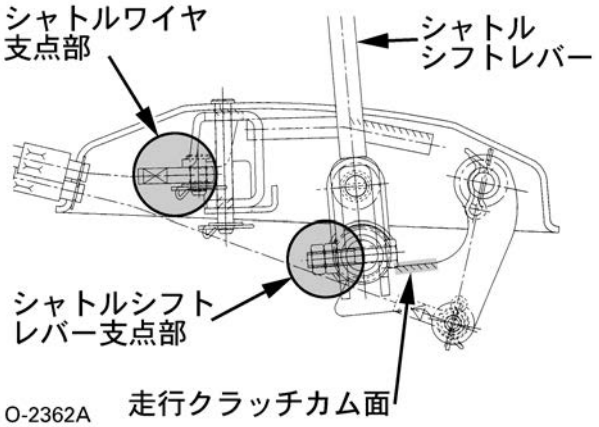
O-1981B

50 ～ 60 アールごと

◆シャトルシフトレバー支点部
◆走行クラッチアームローラ部
◆走行クラッチカム面
◆走行クラッチワイヤ支点部
◆シャトルワイヤ支点部

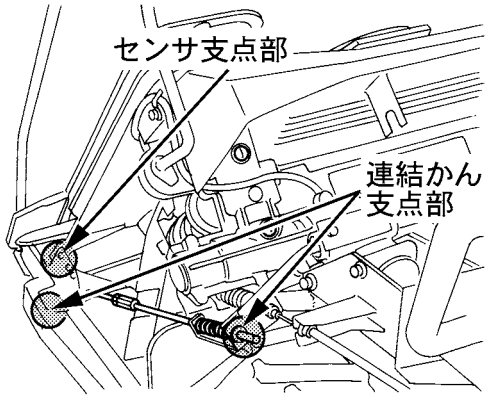


O-2267A

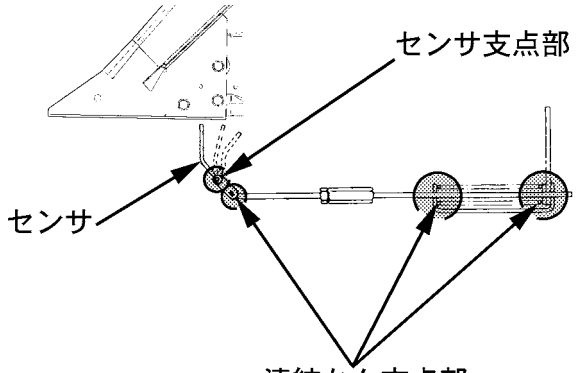


O-2362A

◆センサ支点部【D・HD・SD】
◆連結かん支点部【D・HD・SD】

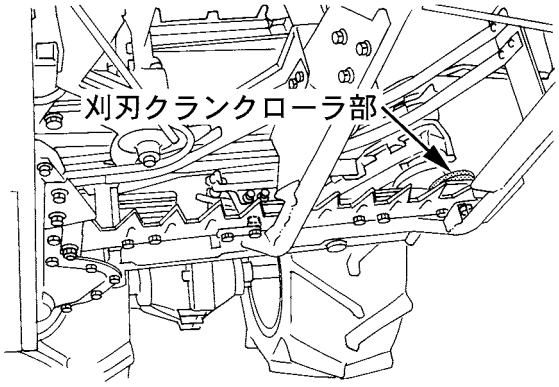


O-2334A



O-0618A 改

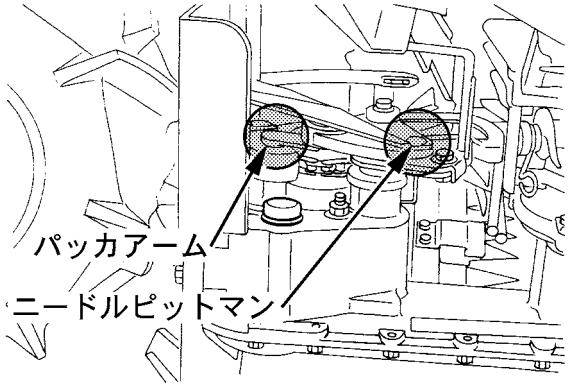
◆刈刃クランクローラ部



O-2307A

50 ～ 60 アールごと

◆ニードルピットマン
◆パッカアーム

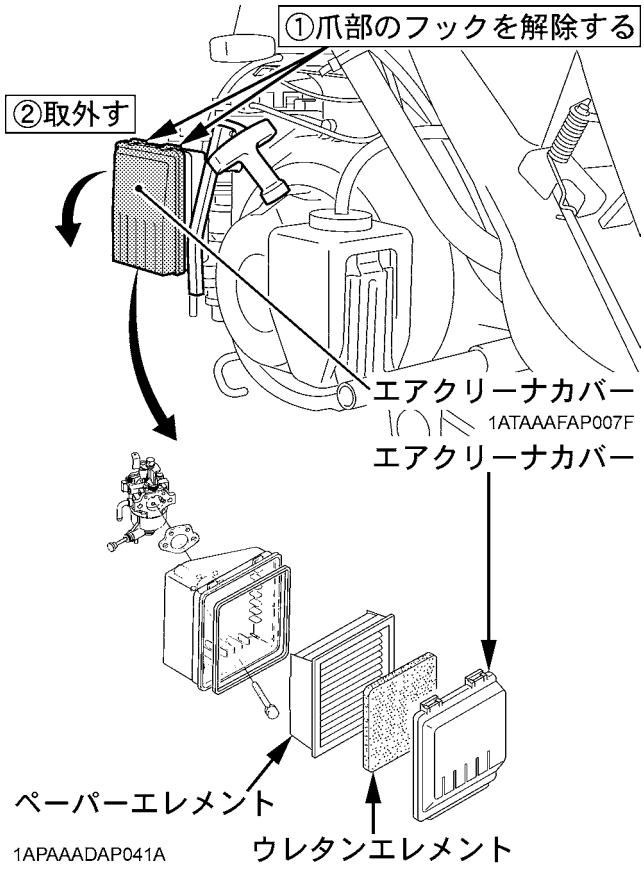


O-2504D

100 アールごと

■エアクリーナの掃除

(1) 100アール使用ごとにエレメントの掃除をしてください。
(2) エレメントは，エアクリーナカバーを外し，エレメントを外してください。



(3) 特にちりやほこりの多いところで作業する場合は，10 ～ 20 時間ごとに内部からエアで吹きつけて，ごみを落としてください。

■エンジンオイルの交換

第 1 回目は 100 アール使用後に交換してください。
45 ページの 200 アールごとの項を参照してください。

■ミッションケースのオイル交換

第 1 回目は 100 アール使用後に交換してください。
45 ページの 200 アールごとの項を参照してください。

100 アールごと

■結束ケースのオイル交換

第 1 回目は 100 アール使用後に交換してください。47 ページの 200 アールごとの項を参照してください。

■チェーンケースのオイル交換

第 1 回目は 100 アール使用後に交換してください。46 ページの 200 アールごとの項を参照してください。

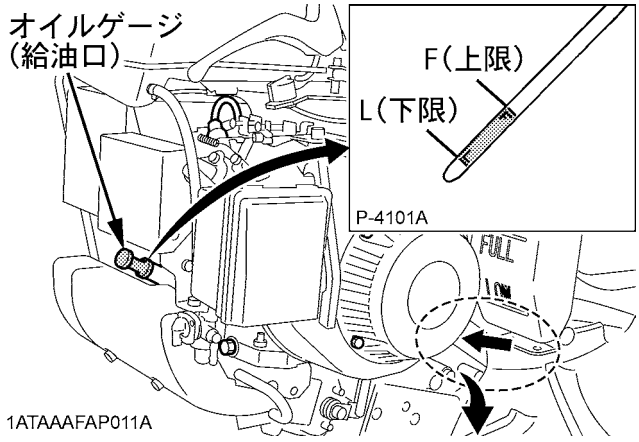
200 アールごと

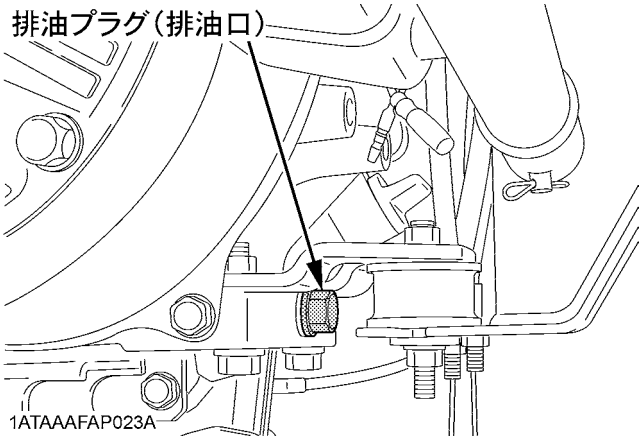
■エンジンオイルの給油・交換

(1) 毎日作業前に，エンジンが水平になるような状態にして，オイルゲージを外して，オイル量を点検し，不足の場合は，オイルゲージの“L”（下限）と“F”（上限）の間まで補給してください。

(2) 給油後は，オイルゲージを取付けて，リコイルスタータを軽く数回引っ張って，オイルを各部にゆきわたらせてください。

(3) 交換するときは，排油プラグを外して廃油を排出した後，補給してください。（約 0.6L）





重 要

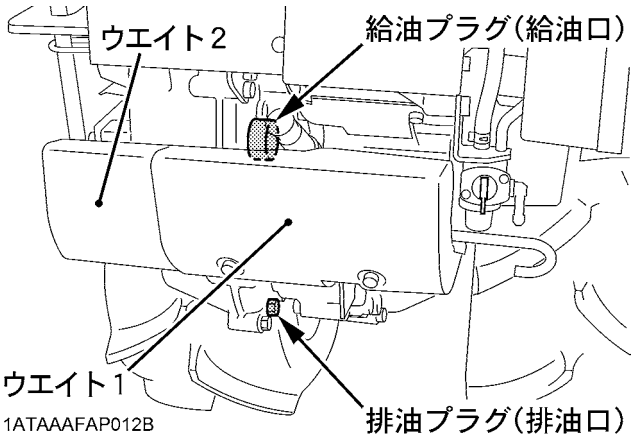
＊ 排油プラグを締め忘れると油もれが発生し，エンジントラブルの原因となります。

■ミッションケースの給油・交換

注 意

＊ ウエイトを取外すときは，両手でしっかりと持ってください。足元にウエイトが落下しケガをするおそれがあります。

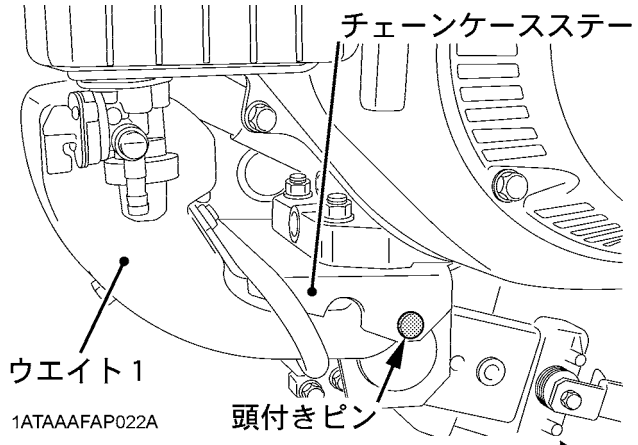
ミッションケース内のオイルを入れるときは，ウエイト１，２を取外したあと，給油プラグを外して給油口からオイルを給油してください。（約 1.0L）

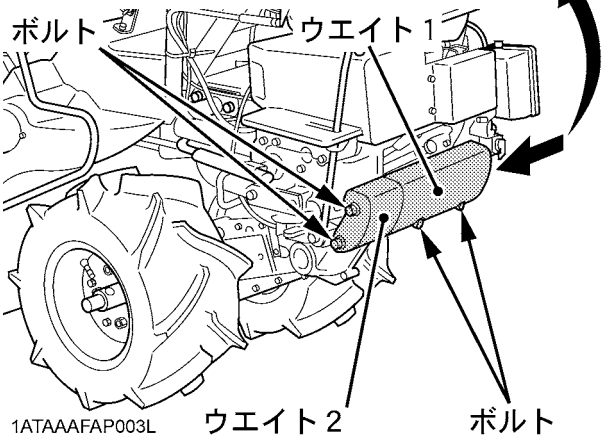


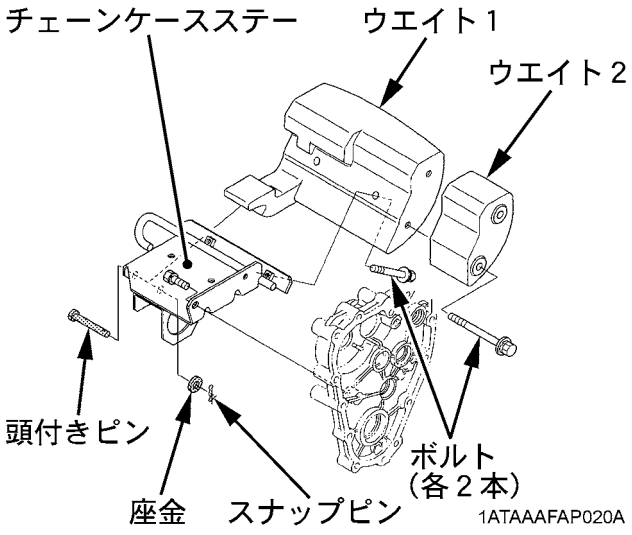
(1) ボルトを取外してウエイト２を外してください。

(2) チェーンケースステーにウエイト１を固定している頭付きピンをスナップピン，座金を外してください。

(3) ボルトを取外してウエイト１を取外してください。





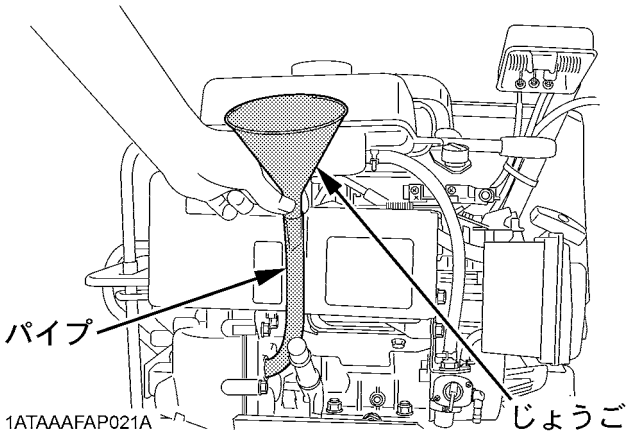


(4) オイル交換するときは，排油プラグを外して，廃油を排出した後，排油プラグをしめてから，給油プラグを外して給油口からチューブとじょうごを使用してオイルを給油してください。

(5) 給油プラグを取付けたあと，ウエイト１及び２を取付けます。

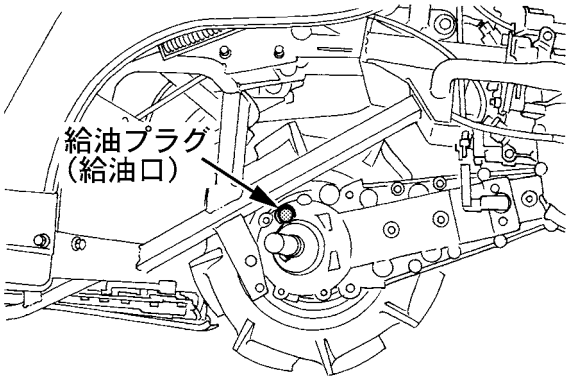
補　足

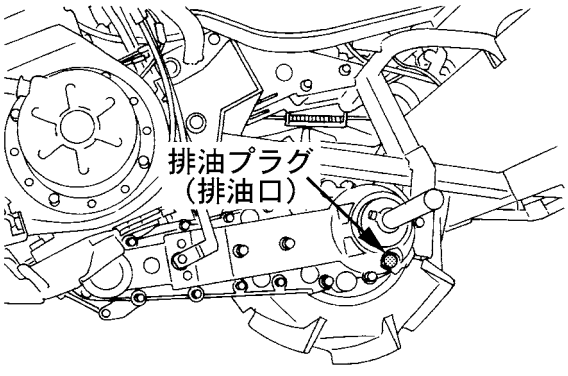
＊ 補給・給油を行なうときは，付属部品のじょうごとパイプを使用してください。



■チェーンケースの給油・交換

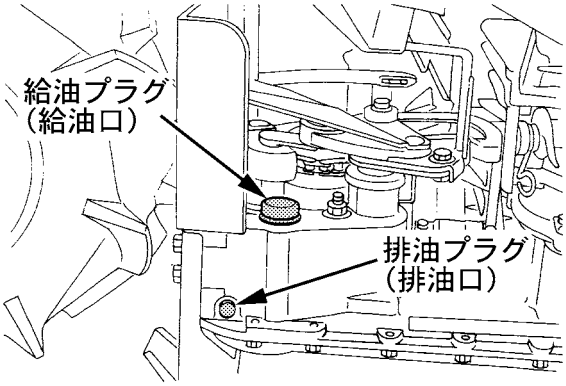
チェーンケース内のオイルを交換するときは，排油プラグを外して，排油口から廃油を排出した後，排油プラグをしめてから，給油プラグを外し給油口から給油してください。(約 0. 45L)





■結束ケースの給油・交換

結束ケース内のオイルを交換するときは，排油プラグを外し排油口から廃油を排出した後，排油プラグをしめてから給油プラグを外して給油口から給油してください。（約 1.3L）



O-2504B

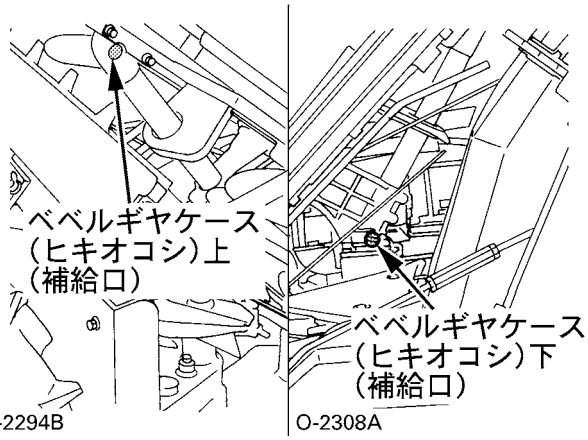
重　要

＊ オイルを交換するときは，ハンドルを下げ，刈取部を上げて行なってください。
＊ 結束機を本機から降ろすときは，必ずオイルを抜いてください。

■グリース補給箇所

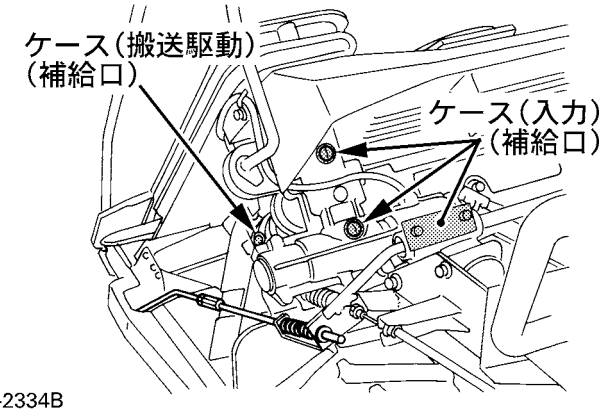
グリースカップ又は，取付板を外して補給してください。

◆ベベルギヤケース（ヒキオコシ）下・上



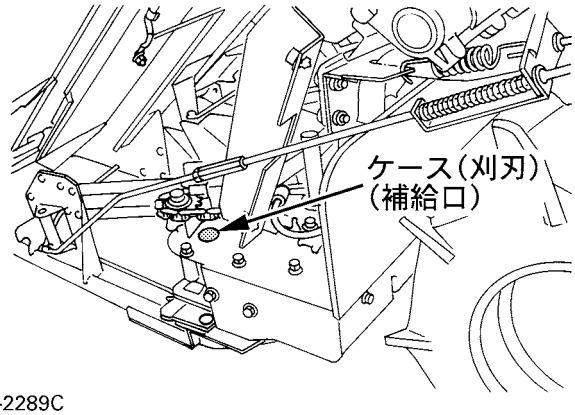
O-2294B　O-2308A

◆ケース（入力）
◆ケース（搬送駆動）



O-2334B

◆ケース（刈刃）



O-2289C

■走行クラッチワイヤの調整

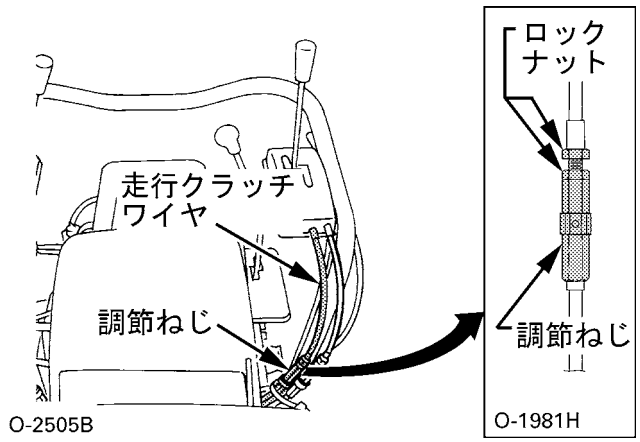
注　意

＊ 調整の確認は，エンジン回転を“🐢”（低速）で行なってください。

シャトルシフトレバーを，“**前進**”に入れても動力を伝達しない，または“N”（中立）に戻しても動力が伝達される場合は，次のように調整してください。

1. 走行クラッチワイヤの調節ねじで，爪クラッチのかみ合い深さを調整してください。
2. シャトルシフトレバーを“**前進**”に入れても動力を伝達しない場合は，調節ねじを短くします。

3. シャトルシフトレバーを“N”（中立）に戻しても動力が伝達される場合，調節はミッション内部で“**カチカチ**”と音が発生した状態より，調節ねじを長くする方向に更に３～ 3.5 回まわしてください。



重　要

＊ 調整後，調節ねじのロックナットは確実に締付けてください。

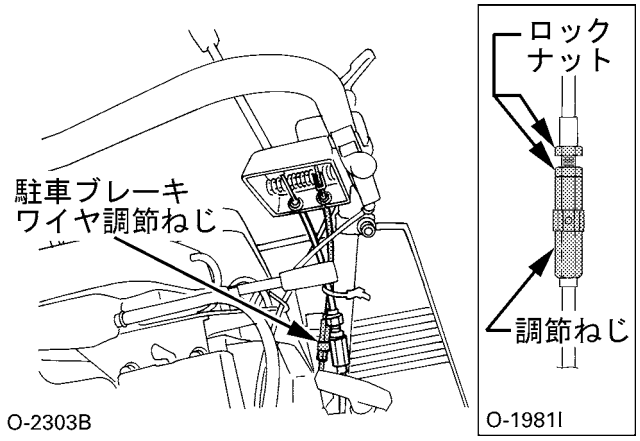
■駐車ブレーキワイヤの調整

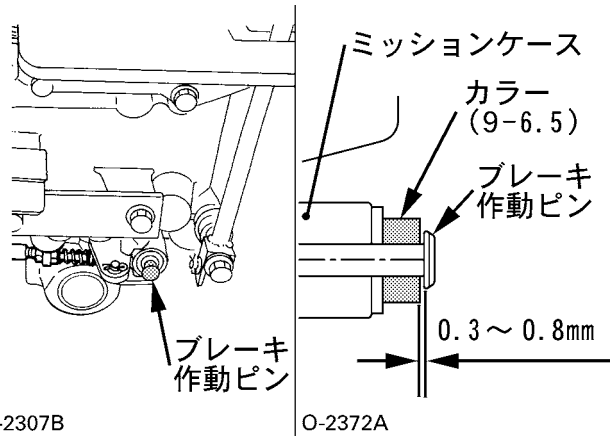
注　意

＊ 確認のときは，エンジン回転を“🐢”（低速）で行なってください。

駐車ブレーキレバーを，“**入**”の位置に入れてもブレーキの効きが悪い場合は，次のように調整してください。

1. 駐車ブレーキレバーを，“**入**”にして，ブレーキ作動ピンとカラー（9-6.5）のすきまが 0.3 ～ 0.8mm になるように調節ねじを長くしてください。





2. 調整が終ったら駐車ブレーキレバーを“**入**”にして機体を後方へ引張り，車輪が動かないことを確認してください。
3. 駐車ブレーキレバーを，“**解除**”にして，機体に異音の発生がなく車輪が回転することを確認してください。

重　要

＊ 調整後，調節ねじのロックナットは確実に締付けてください。

■シャトルワイヤの調整

注　意

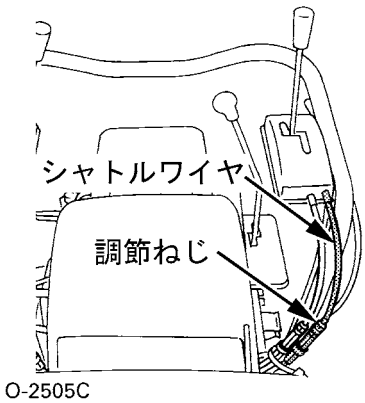
＊ 調整の確認は，エンジン回転を“🐢”（低速）で行なってください。

シャトルシフトレバーを，“**後進**”に入れても“**前進**”する場合，また，“**前進**”に入れても“**後進**”する場合は，変速レバーを“**低速刈取**”に入れ次のように調整してください。

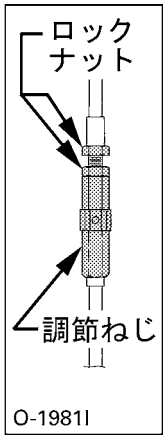
(1)“後進”に入れても前進する場合

1. シャトルシフトレバーを“**後進**”側に倒したとき，ミッション内部で“**カチカチ**”と音が出るまで，調節ねじを長くしてください。

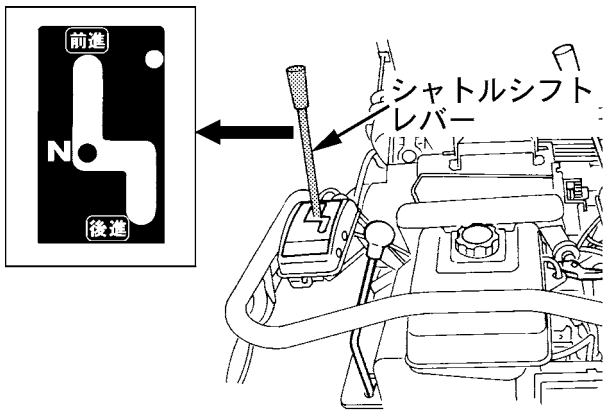
2. シャトルシフトレバーを“N”（中立）に戻してから，調節ねじを長くする方向に，更に 4 ～ 4.5 回まわしてください。



O-2505C



O-1981I



O-2493N

(2)“前進”に入れても後進する場合

(1) の逆でワイヤの調節ねじを短くする方向で，(1) と同じ要領で調整してください。

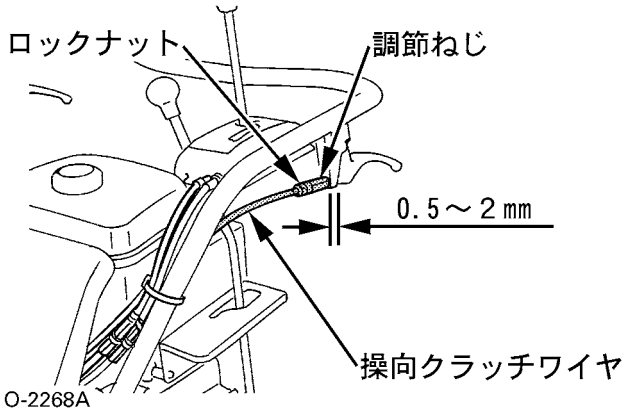
重 要

＊ 調整ねじを長くしすぎると，“**前進**”に入れても後進し，短くしすぎると，“**後進**”に入れても前進します。
＊ 調整後は，調整ねじのロックナットを確実に締付けてください。

■操向クラッチワイヤの調整

操向クラッチレバーを握っても，操向クラッチが切れにくいときは調整してください。

1. 操向クラッチの入った状態で，レバーに 0.5 ～ 2mm の遊びがあるようにしてください。



O-2268A

2. 切れにくいときは調節ねじを長くし，入りにくいときは短くします。

重 要

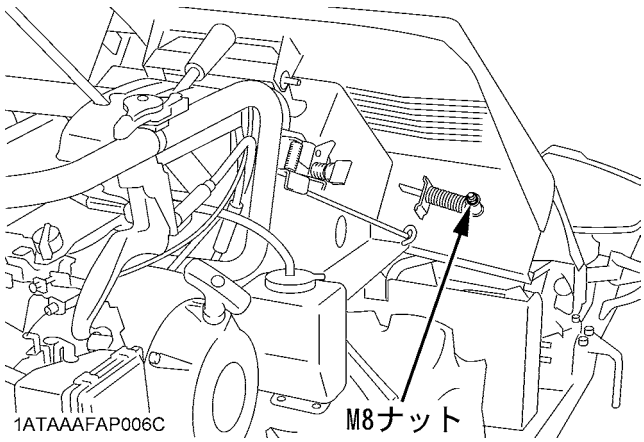
＊ 調整後，調節ねじのロックナットは確実に締付けてください。

■搬送ベルトの張り調整

搬送ベルトの張りがゆるいとベルトがスリップし，搬送不良となり刈取り作業ができなくなります。

◆搬送ベルトの張り方

M8 ナットをゆるめると，スプリングにより，自動的に張ります。
張った後は，必ず M8 ナットを締めてください。



1ATAAAFAP006C

■刈刃部の整備

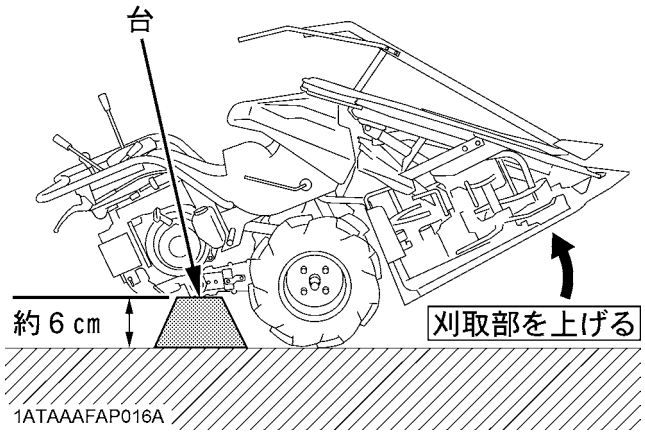
注 意

* 手を切らないように，取扱いはじゅうぶん注意してください。
* 刈取部を上げる場合は，台をかませて，機械が転倒しないように注意してください。

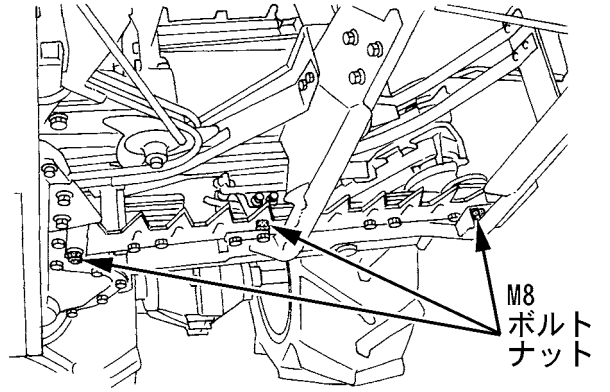
刈刃はいつもよく切れるように整備しておいてください。

◆刈刃部の取外し方

1. ミッションケースの下に約６cmの高さの台を置き，刈取部を上げた状態にします。



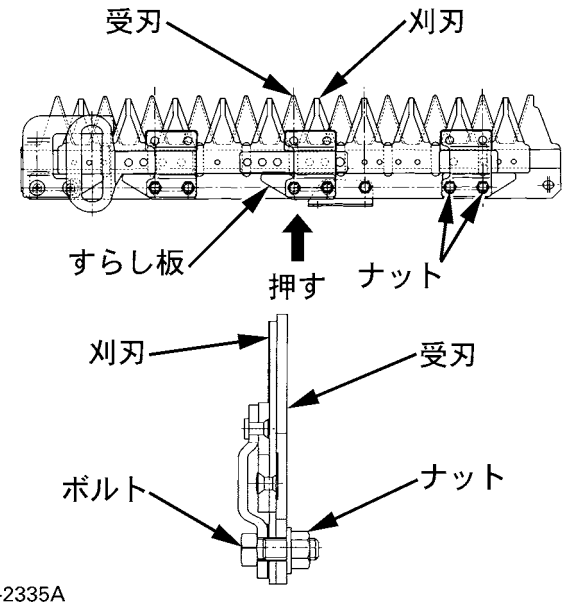
2. 受刃取付け M8 ボルト，ナット（3 箇所）を外してください。



3. 刈刃と受刃をセットで取外して分離してください。
4. 取付けは，上記の逆の順序で行なってください。

◆すらし板の調整

(1) 刈刃の背面を支えているのがすらし板です。刈刃と受刃の前後方向のガタが発生した場合は，M8 ボルト，ナットをゆるめて前方向に押して刈刃と接するようにして組付けてください。（４箇所）



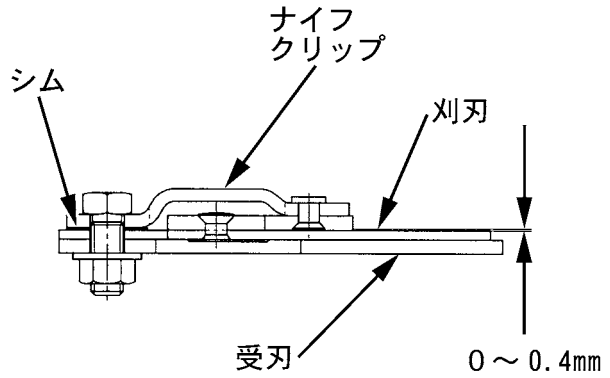
(2) １シーズン使用ごとに点検してください。

◆刈刃とナイフクリップのすき間調整

刈刃と受刃のすき間がうまく調整できていないと，作物をきれいに刈取ることができません。

(1) すき間が大きいと，刃の切れが悪くなって，刈刃と受刃の間にわらくずや草が詰まります。
(2) 逆に押えすぎると，摩耗が大きくなって，刈刃やナイフクリップのすき間が大きくなります。

(3) ナイフクリップ取付け部のシムの枚数を増減して，刈刃とナイフクリップのすき間が 0 ～ 0.4㎜ になるように調節してください。



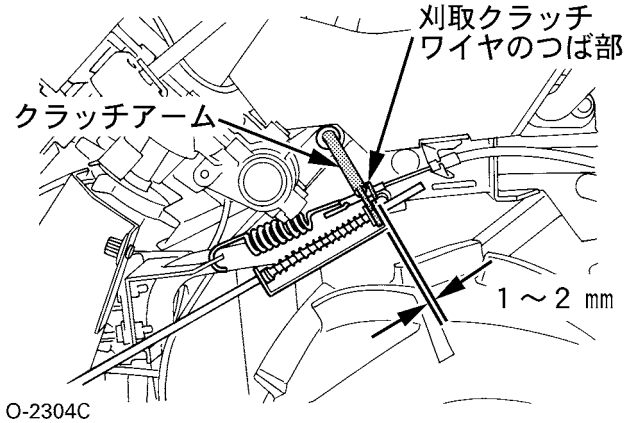
O-2335B 改

■ 自動刈取クラッチの調整【D・HD・SD】

◆ 刈取クラッチワイヤの調整

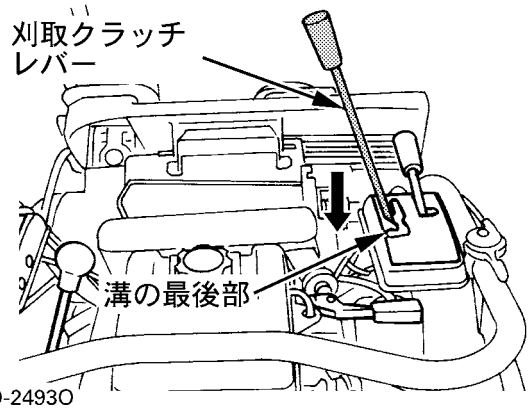
刈取部への動力の伝達，断続が確実にできるように刈取クラッチワイヤを調整してください。

1. 刈取クラッチレバーを“**自動**”にします。
2. クラッチアームと刈取クラッチワイヤのつば部のすき間を１～２ ㎜ にします。

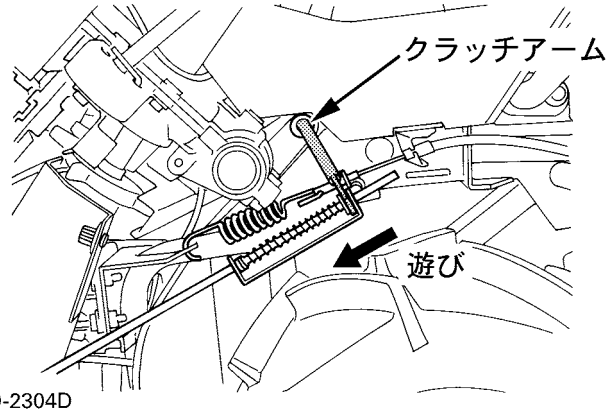


O-2304C

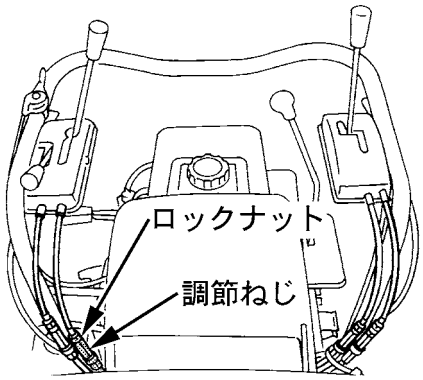
3. 刈取クラッチレバーを溝の最後部にしたときクラッチアームが前方向に**遊び**があるか確認します。
   遊びがない場合は，クラッチアームと刈取クラッチワイヤのつば部のすき間を，もう少し多くして遊びが出るようにしてください。



O-2493O



O-2304D



O-2505D

重　要

＊ 調整後，調節ねじのロックナットは確実に締付けてください。

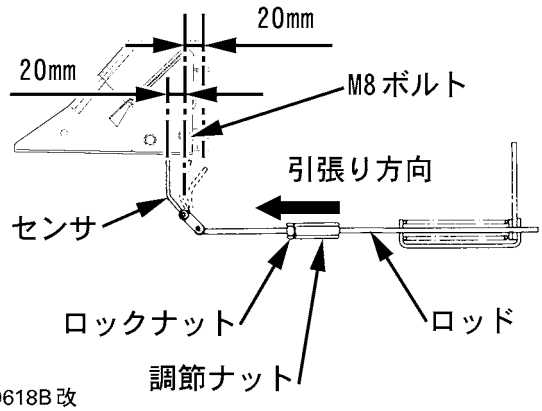
◆ 自動刈取センサの調節

注 意

＊ 自動刈取センサにエンジン回転中は絶対にさわらないでください。
＊ 刈取部が回りますので，刈刃，引起し爪，搬送ベルト，パッカアームなどには，絶対さわらないでください。

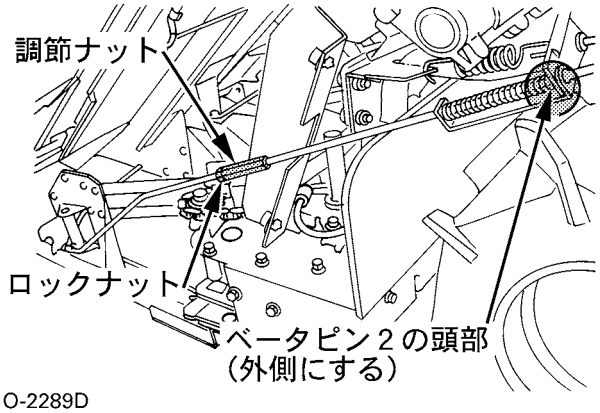
自動クラッチの自動刈取センサの調整は，次の順序で行なってください。

1. シャトルシフトレバーは“**N**”（中立），刈取クラッチレバーは“**停止**”，主変速レバーは“**N**”（中立）位置になっていることを確かめる。
2. エンジンを始動し，アクセルレバーを“🐢”（低速）の位置にする。
3. 刈取クラッチレバーを“**自動**”の位置にする。
4. シャトルシフトレバーを“**前進**”にする。
5. 調節ねじ部を矢印の方向に引っ張り，刈取部が回り始めるときのセンサの先端位置を確かめる。
6. センサの先端が M8 ボルトの前後 20mm 以内で刈取部が回り始めるように調整します。
   (1) センサの先端が M8 ボルトより 20mm 以上前で刈取部が回り始める場合は，調節ナットを“**ロッドを長くする**”方向に調節する。
   (2) センサの先端が M8 ボルトより 20mm 以上後で回り始める場合は，調節ナットを“**ロッドを短かくする**”方向に調節する。



O-0618B 改

7. 調節が終ったらベータピン２の頭部側が外になる位置で調節ナットをロックする。



O-2289D

8. シャトルシフトレバーを“**N**”（中立），刈取クラッチレバーを“**停止**”にしてエンジンを止める。

重 要

＊ センサの調節は，入力ケースなどを取外し組付けるとき以外は不要です。
＊ 調整後，調節ナットをロックナットで確実にロックしてください。

■フューエルフィルタの掃除

掃除は燃料を給油する前に行なってください。

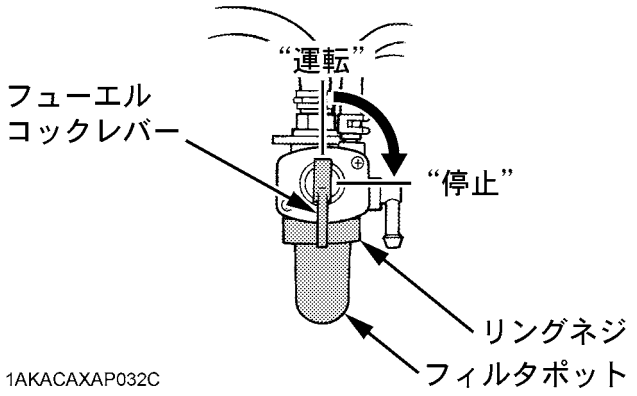
警 告

＊ 点検・掃除中は火気厳禁です。

重 要

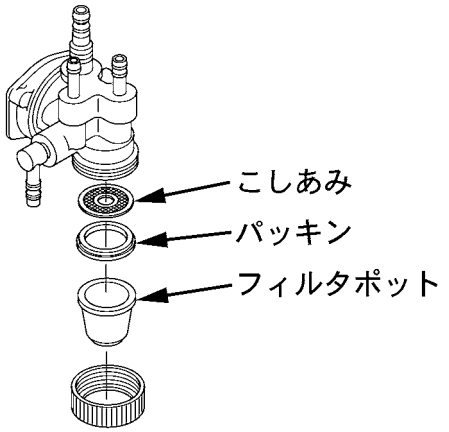
＊ 燃料内にゴミなどの異物や水が混入すると，フィルタのこしあみの目詰まりが早くなったり，フィルタ内に水が溜まりやすくなります。
＊ フィルタポット下部に水が溜まっているときは，早目に掃除又は交換してください。

1. フューエルコックレバーを“**運転**”位置から“**停止**”位置にします。



1AKACAXAP032C

2. リングネジをゆるめてポットを外します。
3. こしあみを取出してガソリンで洗浄（すすぎ洗い）をします。このとき，汚れのひどい場合は交換してください。



1AKACAYAP145C

重　要

＊ こしあみやパッキンは傷つけないようにしてください。また，失くさないでください。
＊ 汚れ（目詰まり）がひどい場合は，充分洗浄を行なわれないと短時間で目詰まりします。

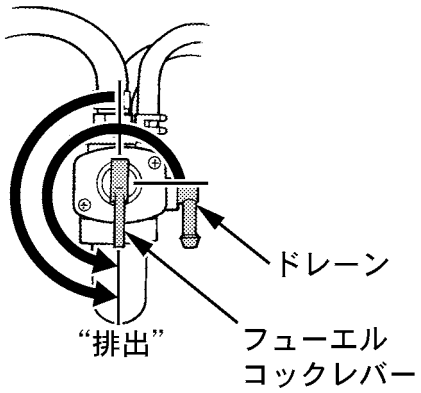
4. パッキンやこしあみにゴミが付着しないように元通りに組付けます。

重　要

＊ ゴミが燃料内に混入すると，故障の原因となります。

補　足

＊ 長期格納時，フューエルコックレバーを“**排出**”位置にすると，ドレーンからキャブレタ内と燃料タンク内の燃料を排出します。



1AKACAXAP032D

■電気配線の損傷及び接続部のゆるみの点検

配線の端子部のゆるみは接続不良になり，また配線が損傷していると電気部品の性能をそこなうだけでなくショート又は焼損など思わぬ事故になることがあります。傷んだ配線は早めに購入先に交換，修理を依頼してください。

◆点検箇所

エンジン高圧コード・プラグコード・ワイヤハーネス，及び接続部

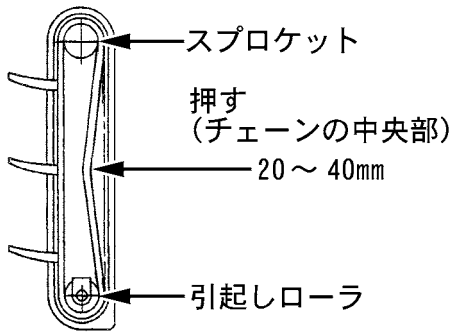
その他の整備

■引起しチェーンの張り調整

チェーンの張りは，毎日作業前に点検してください。
チェーンの張りがゆるいと，引起しの効果が低下し，また引起し爪の摩耗や損傷の原因になります。
ゆるい場合は下記の張りかたに従って，張り調整をしてください。

◆張り強さ

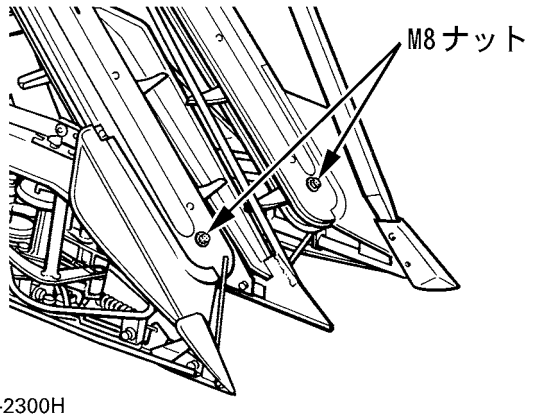
図の位置で内側に押して，20 ～ 40㎜ たわむ程度に調整してください。



O-0137A 改

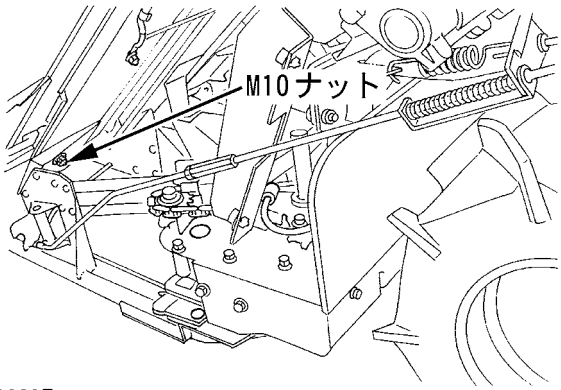
◆張りかた

1. 引起し枠カバーの M8 ナットをゆるめます。



O-2300H

2. 引起し枠下部の，スプロケット軸締付けのM10ナットをゆるめます。
3. スプリングの力でチェーンを張ります。



O-2289E

重　要

＊ 調整後，ゆるめたナットを確実に締付けてください。

■安全ピンの交換

注　意

＊ 安全ピンの交換をする場合は，必ずエンジンを止めて行なってください。
＊ ボスを後方にずらす際，ピン取付穴が見える位置までずらすようにし，軸と分離してしまわないでください。

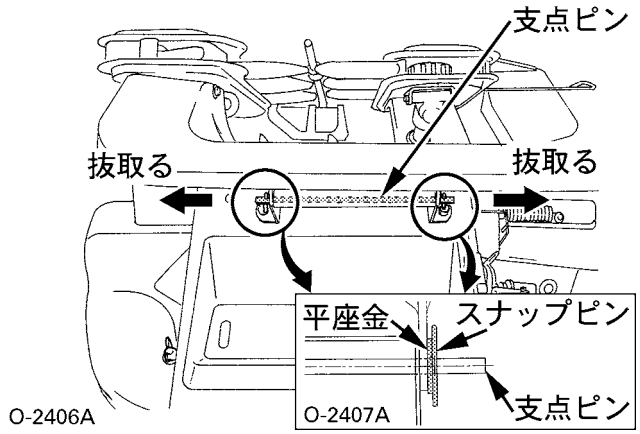
異常な力がかかった場合，部品の破損を防ぐ為に安全ピンを使用しております。
安全ピンは，本機に取付けてある予備品と交換してください。

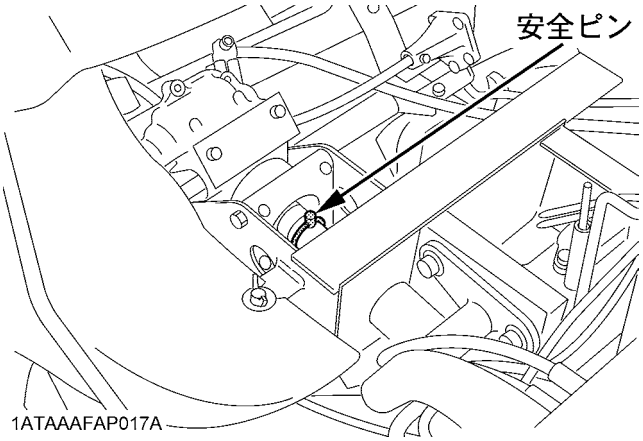
◆交換要領

1. エンジンを“**停止**”し，安全ピンが切れた原因を取除いてください。

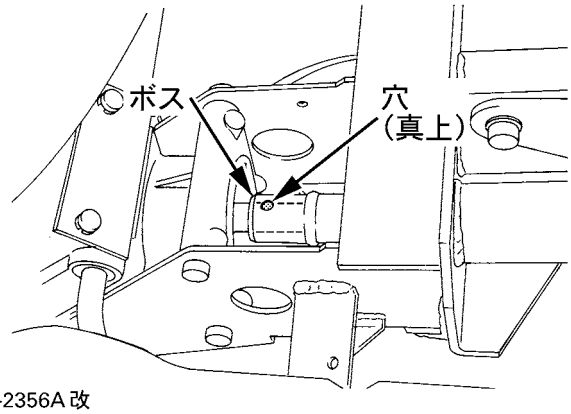
その他の整備

2. ひもサポートの支点ピンの右又は，左側のスナップピンと平座金を抜取り，その反対側から支点ピンを抜取ったあと，ひもサポートのエンジン側を引上げて外してください。

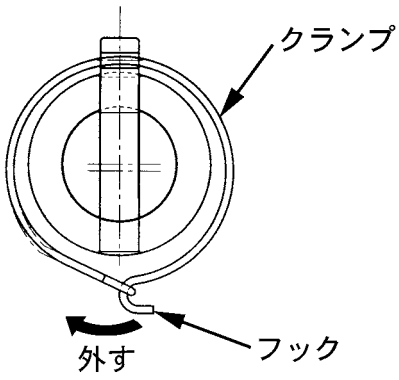




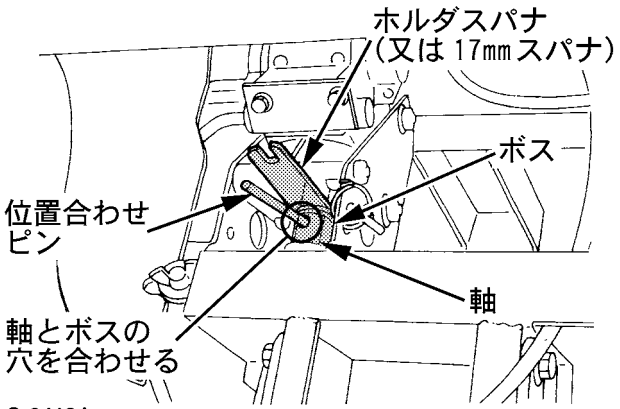
3. 主変速レバーを“N”（中立），刈取クラッチレバーを“**停止**”にし，シャトルシフトレバーを“**前進**”にしたあと，リコイルスタータを引っ張りボスの穴を真上の位置にしてください。

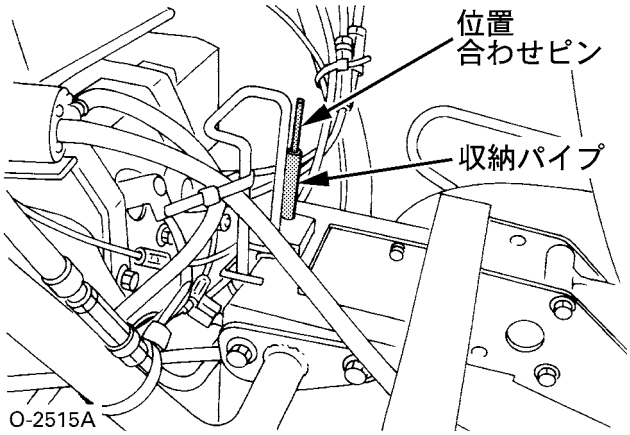


4. 切れた安全ピンのクランプのフックを外し，安全ピンを抜いてください。

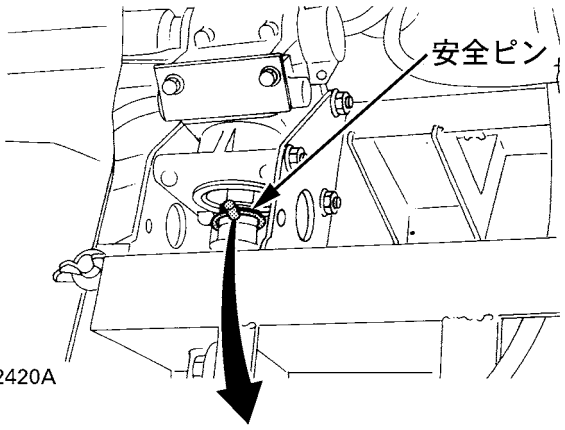


5. ホルダスパナ（23 ページ参照）又は，17㎜ のスパナと下図の位置にセットされている位置合わせピンで軸とボスの穴をそれぞれ合わせてください。また，位置合わせピンは使用後必ず収納パイプ（元の位置）に戻してください。

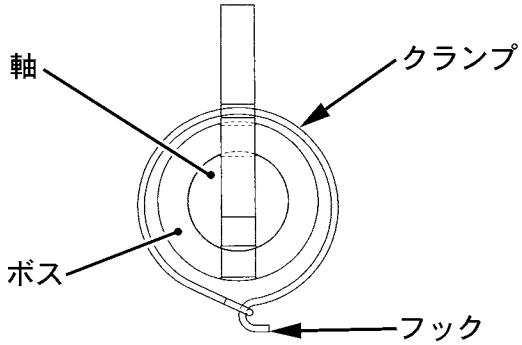




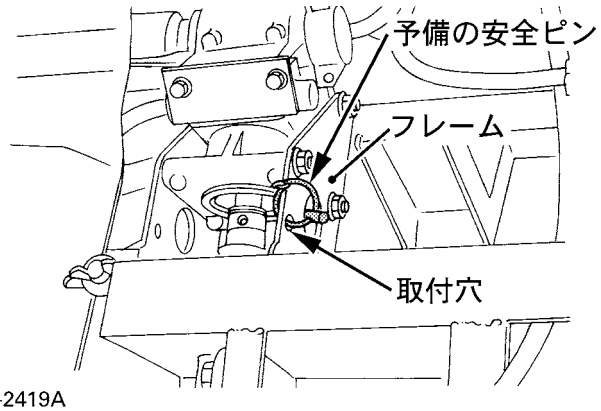
6. 軸側の穴に折れたピンが残っていないかを確認し，残っている場合は位置合わせピンで押出してください。
7. 安全ピンは１本で２回使用できるため，切れた反対側を軸とボスの穴に差込んでクランプ両端のフックを引っ掛けてください。また，予備の安全ピンは右側フレーム取付穴に取付けています。



O-2420A



O-2423A



O-2419A

重　要

＊ 安全ピンはヒューズと同じ役目をします。代用品は使わないでください。
＊ ボスと軸を分解したときは，ボスの内面及び軸かん合面に，グリースを塗布してください。
＊ 新しい安全ピンと交換する前に，安全ピンが切れた原因を取除いてください。短時間で再度安全ピンが破損するおそれがあります。

8. ひもサポートを取付けてください。

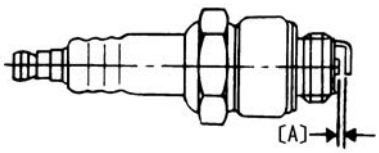
■点火プラグの調整

注　意

＊ エンジンの点検，調整，交換，掃除はエンジン“停止”後，冷えた状態で行なってください。

電極すき間が，〔A〕寸法になるように，調整してください。

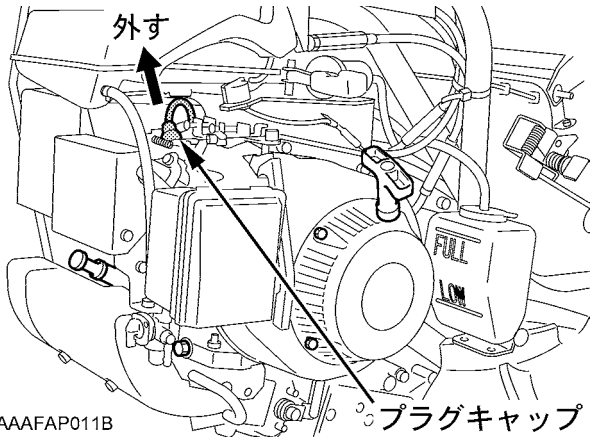
品番	〔A〕
13901-6771-2 (BP6HS)	0.9 ～ 1.0mm



P-0179A

その他の整備

1. プラグキャップを外し，付属のプラグレンチで，点火プラグを外してください。エンジンの点検，調整，交換，掃除はエンジン“**停止**”後，冷えた状態で行なってください。



1ATAAAFAP011B

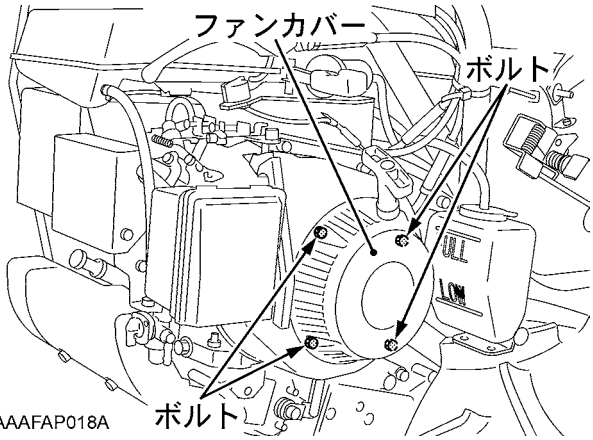
2. 点火プラグを締付けたあと，組付けてください。

重　要

＊ 点火プラグを取付けるとき，最初は手で軽く締込んでから，プラグレンチを使用してください。最初からプラグレンチで締付けると，シリンダヘッドのねじ山を壊すことがあります。

■冷却ファンの掃除

ボルト４本を取外してファンカバーを外し，わらくずや泥などを取除いてください。



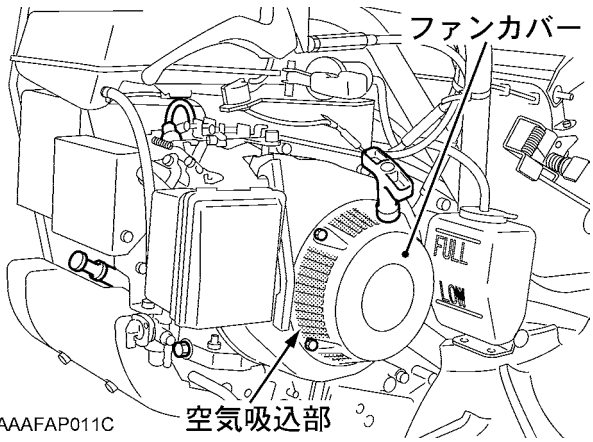
1ATAAAFAP018A

重　要

＊ ファンカバーを取付けるとき，コード類をファンカバーで，はさみ込まないように注意してください。

■リコイルスタータの空気吸込み部の掃除

空気吸込み部のあみにわらくずや土が詰まると，エンジンがオーバヒートしますので取除いてください。



1ATAAAFAP011C

使用後の手入れと長期格納

使用後の手入れ

バインダーをいつまでも長持ちさせ，性能を低下させないために，使用後は手入れ，掃除をしてください。
特に回転部や刈刃部に付いた雑草，わらくずなどは完全に取除いてください。

長期格納のときの手入れ

注　意

＊ 本機カバーはエンジンが冷えてから掛けてください。エンジン“停止”直後に掛けると，火災を起すことがあります。
＊ 集中注油箇所以外に注油するときは，必ずエンジンを止めて，行なってください。

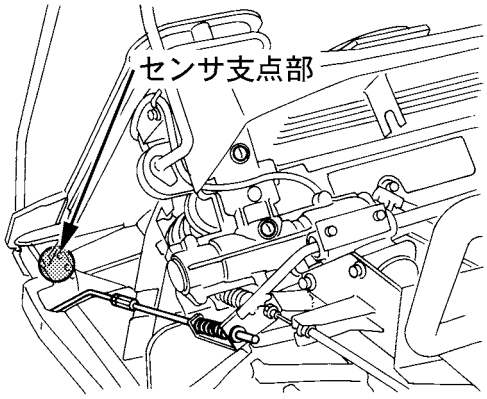
重　要

＊ スチーム洗車機で洗車する場合は，銘板に直接スチームがあたらないように洗車してください。水圧で銘板がはがれることがあります。

(1) 機体の土や泥などの汚れをきれいに水で洗い落とし，そのあと水分が残らないようにふき取ってください。
(2) 機体が乾いた後，エンジン回転を最低速にして刈取部を回しながら注油ポンプレバーを１～２回押して注油してください。【D・HD・SD】
【標準】は，引起しチェーン・搬送チェーン・刈刃部に注油してください。
特に各回転部，支点等あまり日頃注油していないところにも注油して錆びないようにしてください。
また“**クボタキレスガードスプレ**”を吹き付けておくとより効果的です。
(3) 刈取クラッチレバーを手前の“**停止**”の位置にしてください。
(4) 塗料のはがれた箇所には修正塗料などを塗るか，グリースを塗って錆びないようにしてください。

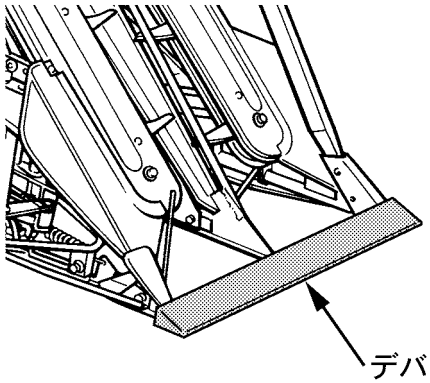
長期格納のときの手入れ

(5) センサ支点部【D・HD・SD】に注油してください。



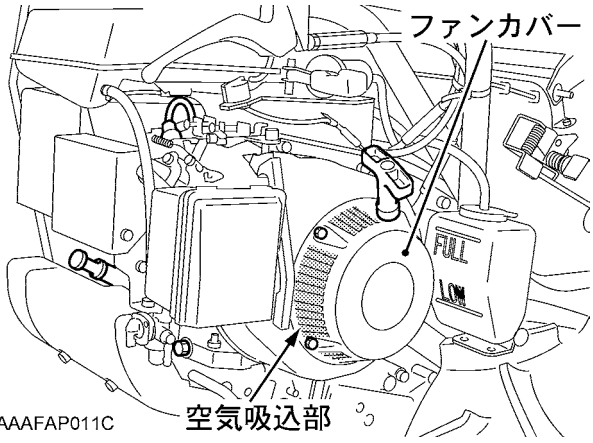
O-2304E

(6) デバイダの先端に，デバイダカバーを取付けてください。



O-2300I

(7) ファンカバーを外し，わらくずや，泥などを取除いてください。

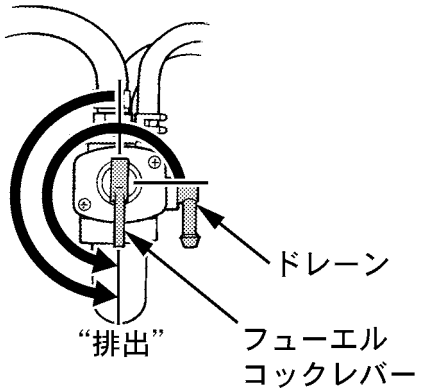


1ATAAAFAP011C

(8) エアクリーナカバーを外して，エレメントのごみを落としてください。
すすや油分が付着しているときは，中性洗剤で洗った後，清水ですすぎ洗いし，十分自然乾燥させて組付けてください。

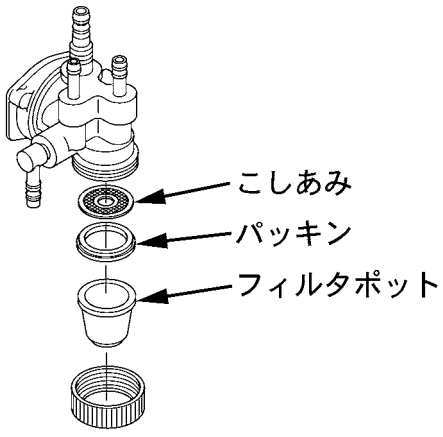
(9) 点火プラグを抜いて，プラグ穴からエンジンオイルを５～10cc 注入し，スタータハンドルを２～３回軽く引っ張った後，点火プラグを元のように取付け，リコイルスタータを引っ張って，重く手ごたえのある位置（圧縮位置）で止めておいてください。

(10) ガソリンを入れたままにしておくと，気化して，始動が困難になります。フューエルコックレバーを“**排出**”位置にして，燃料タンク内，気化器内のガソリンをドレーンから全部抜き取ってください。また，ガソリンを排出するときは，必ず油受けを使用してください。



1AKACAXAP032D

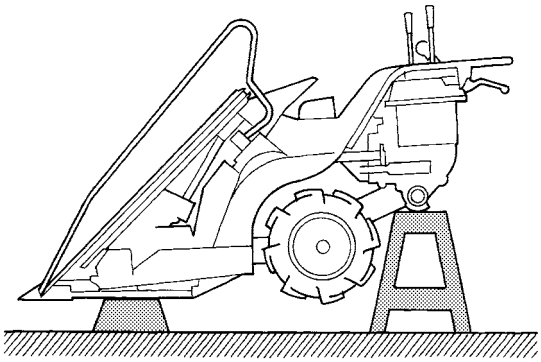
(11) フィルタポットを外し，こしあみをガソリンできれいに洗浄してください。



1AKACAYAP145C

長期格納のときの手入れ

(12) タイヤの空気圧を規定圧力通り入れ, 必ず機体の前後に台などをかませて地面から浮かせて保管してください。(23 ページ参照)



O-2311A 改

(13) 乾燥した場所に, ほこりのかからないように本機カバーをかけて保管してください。

重 要

＊ ごみやわらくずを取除くときは，集中注油装置の配管ホースをきずつけないように注意して行なってください。【D・HD・SD】

＊ ファンカバーを組付けるときは，コード類をファンカバーではさみ込まないように注意して組付けてください。

使用者が行ってはいけない修理

下記部分に異常があるときは, 購入先に依頼してください。

・エンジン・ミッションケース・動力伝達系統部分・結束部・電気系統

・結節部の部品交換・刈刃, 受刃の研削および交換

廃棄物の処理について

警 告

廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。

廃棄物を処理するときは

＊ 機械から廃油を抜く場合は，容器を受けてください。

＊ 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。

＊ 廃油，燃料，溶剤，フィルタ，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。

洗車時の注意

高圧洗車機の使用方法を誤ると人を怪我させたり，機械を破損・損傷・故障させることがありますので，高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って，正しく使用してください。

注　意

機械を損傷させないように洗浄ノズルを拡散にし，２ｍ以上離して洗車してください。もし，直射にしたり，不適切に近距離から洗車すると，

1. **電気配線部被覆の損傷・断線により，火災を引き起こすおそれがあります。**
2. **油圧ホースの破損により，高圧の油が噴出して傷害を負うおそれがあります。**

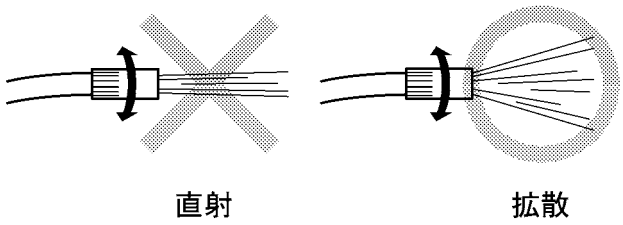
重　要

＊ 洗車のしかたが不適切な場合，以下のような機械の破損・損傷・故障の原因になります。

例）

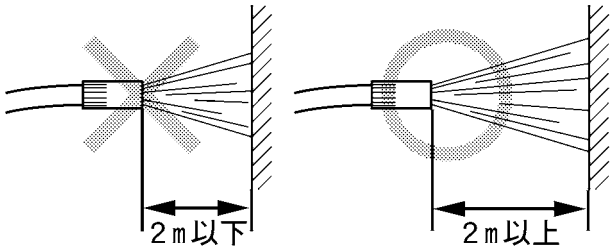
1. シール・ラベルの剥がれ
2. 電装部品，エンジン・ラジエータ室内等への浸入による故障
3. タイヤ，オイルシール等のゴム類，樹脂部品，ガラス等の破損
4. 塗装，メッキ面の皮膜剥がれ

直射洗車厳禁



1AGACBRAP067A

近距離洗車厳禁



1AGACBRAP068A

結束ミスが出たら･･･

結束ミスが出たときの点検

注　意

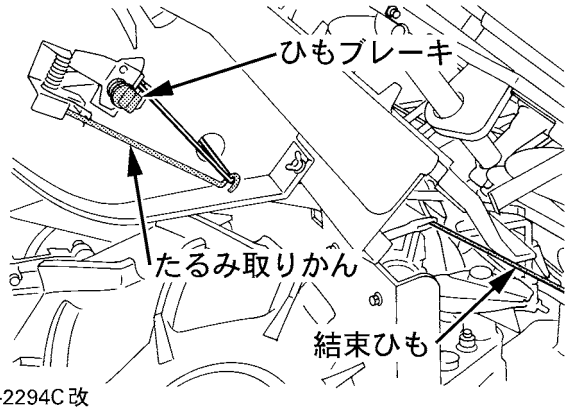
＊ 点検・調整・処置は，必ずエンジンを止めて行なってください。

結束しないで放出されたり，連続して３回結束しない状態が起った場合は，次のことを調べてください。

1. ひもの取出し方向が，間違っていないかを調べてください。
   反対に取出されていると，ひもがからんで，ひもブレーキのところにひっかかります。(24ページ参照)
2. ひもの通し方が間違っていないか，外れているところがないか調べてください。
   ひもブレーキや，たるみ取りかんから外れていることがあります。

重　要

＊ ひもブレーキはあまりさわらないでください。
＊ ひもブレーキが強すぎると，ひも切れ，ホルダ抜け，片結びなどの結束ミスの原因になります。



O-2294C改

3. ひもが切れたり，どこかに引っ掛かっていないか調べてください。
4. ビルに，わら・ひもなどが巻付いていないか調べてください。
5. ホルダに，わらくずやひもの切れはしがたまっていないか調べてください。
6. ホルダのひも挟持面にオイルがついていないか調べてください。

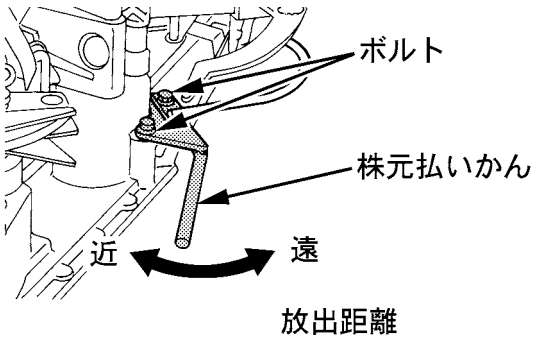
束の放出が悪いとき

注　意

＊ 点検・調整・処置は，必ずエンジンを止めて行なってください。

束が斜めになって放出しなくなったり，ドアに引っ掛かったりするときは，

1. 一度機体を止めてエンジンを“**停止**”し，放出されなかった束を完全に取除き，搬送部，結束部のわらのたまり場の土やごみを，きれいに掃除してください。
2. 株元払いかんの位置を調節してください。
   調節は，ボルト２箇所をゆるめて出し入れしてください。



O-2298A

3. バインダーを少しバックさせてから，再び刈取りを始めてください。
   放出の悪いままで作業を続けると，作物をいためたり，結束部に無理を与え，故障の原因になります。
   放出の状態に注意しながら，作業してください。

補　足

＊ 外方向いっぱいに出してもタイヤの土の付着やタイヤで株元を踏む場合は，アタッチメントの株元払いかんを使用してください。(77ページ参照)

結束ミスの原因と処置

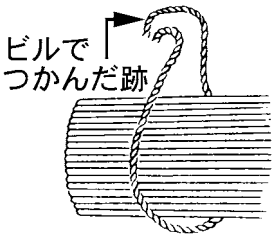
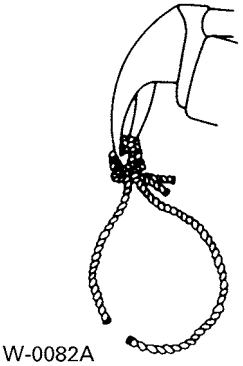
注 意

＊ 点検，調整，処置は必ずエンジンを止めて行なってください。

結束ミスが３回連続して出たときには，刈取りを中止し，下表を参考にして原因を調べ，正しい処置をとってください。

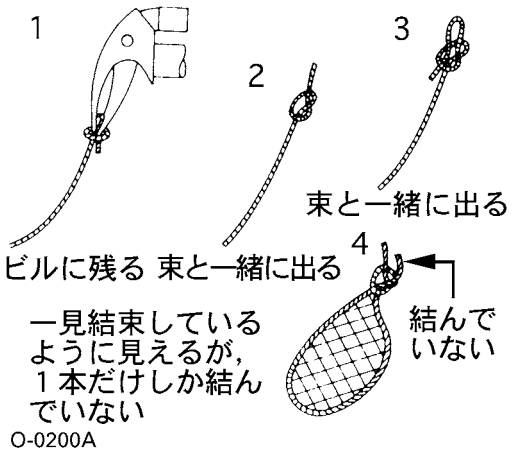
重 要

＊印は購入先に連絡して，修理してもらってください

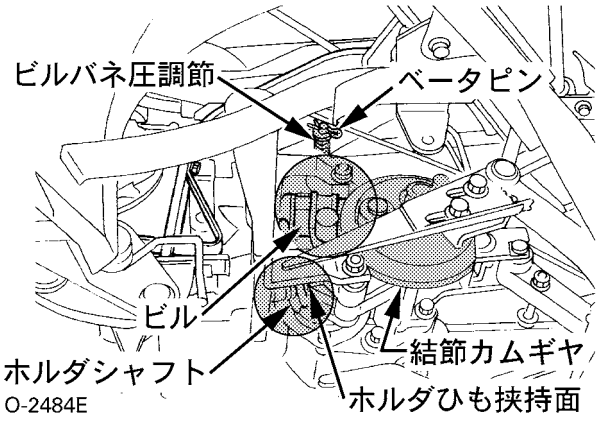
状　　態	原　　因	処　　置
(1) パチンコ ひもは，ビルの先端（鳥の口ばしのような部分）でつかんだ跡があり，作物の上にあります。これは，ビルの先端がひもをつかむとき，口ばしの一番先でつかむために，結び目のループができなくて，そのまま外れて起こるミスです。 **ごくまれに１・２回起こるだけですから，作業を続けてさしつかえありません。**  W-0081A	**ビルの先端を開閉するローラを押えているビルバネ圧が弱い。**	**ベータピンを抜き一段下側の穴にセットし，バネ圧を強くする。** (65 ページ参照)
	＊ビルの口ばしの先端が摩耗している。	ビルを新品と交換する
	搬送部の下の部分に，雑草や土泥がたまって，株元の横送りが悪く，ビルがニードルによってひもといっしょに持ち込まれた作物をつかむ。	搬送部にたまった雑草や土泥をきれいに取除く。
	ひもブレーキの作用が悪い。 1. ひもブレーキからはずれている。 2. ひもブレーキに異物がたまっている。	1. 正規の位置に通す。 2. 異物を取る。
	ベベルピニオンと結節カムギヤとのすき間が広く，ビルにがたがある。	結節カムギヤのシムを抜いてがたを少なくする。
	ビルの開閉の作動が悪い。	**ビル押え支点，ビルローラに注油する。** (10 ページ参照)
(2) ひも切れ 結び目は正しくできているのに，ひもが途中で切れて，作物は結束されないまま放出されます。これは，結束の途中でひもが切れて起こるミスで，結んだひもはビルに引掛かったまま残ります。そのまま作業を続けると，ひもがビルに巻付いて故障の原因になるので，すぐ作業を中止して取除いてください。**ひも切れは，連続して起こるので，作業を続けることはできません。**  W-0082A	**ひもが弱い。** **（特に水にぬれたジュートひも）**	**クボタ指定ひもかどうか，水ぬれしていないか調べる。** (26 ページ参照)
	＊ビル先端の引掛かり形状が悪くてひもが抜けない。	細かい紙やすり等で滑らかにする。
	ホルダバネキャップの切換えが不適。	**ホルダバネキャップを指定のひも位置にセットする。** (23,24 ページ参照)
	ホルダの動きが悪い。	ホルダシャフトのスプライン部に注油する。 (65 ページ参照)
	ひもブレーキバネの取付け荷重が高い。	**ひもブレーキ金具を，その時点のセット位置より弱めの位置にセットする。** (25 ページ参照)
	ビルバネ圧が強すぎて，ビルの先端からひもが抜けない。	**ベータピンを抜き一段上側の穴にセットし，バネ圧を弱くする。** (65 ページ参照)

結束ミスが出たら･･･

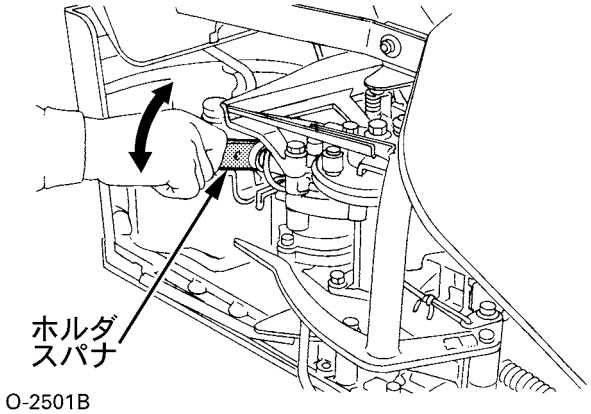
結束ミスの原因と処置

状　　態	原　　因	処　　置
（3）片結び 次のように４種類あります。 １～３はすぐわかりますが，４は作物が結束された状態で放出されるので，刈取作業中は発見できません。 一本のひもだけで結び目を作っているので束を持上げるときに，ひもを引っ張ると，一方がぬけて作物がばらばらになります。  O-0200A	ホルダ部にわらくずや，ひもくずがたまっている。	掃除をする。
	ひもブレーキバネの取付け位置が不適。	**ひもブレーキ金具を指定の位置にセットする。** (25,70 ページ参照)
	＊ひもガイドプレートのひもガイドから，ひもが外れる。	ひもガイドを交換する。
	＊パッカアームとニードルのタイミングが悪い。	購入先に連絡して修理してもらう。
	ベベルブラケットとホルダの狭持面にオイルが付着している。	オイルをふき取る。
	ホルダバネキャップの切換えが不適。	**ホルダバネキャップを指定のひも位置にセットする。** (23,24 ページ参照)
(4) ひも抜け 結束のあと，ホルダにひもが残らず，外れてしまっているために起こるミスです。 **ひも抜けになると，次の束から連続して結ばないので，作業を続けることができません。**	ひもがひも通し経路中でもつれ，またはどこかに引っ掛かった場合。	ひもの取出し方向が間違っていないか，通し方は間違っていないか確認する。 (23 ～ 26 ページ参照)
	ホルダ部分にわらくずや，ひもくずがたまっている。	掃除をする。
	ひもブレーキバネの取付け位置が不適。	**ひもブレーキ金具を指定の位置にセットする。** (25,70 ページ参照)
	ホルダバネキャップの切換えが不適。	**ホルダバネキャップを指定の位置にセットする。** (23,24 ページ参照)
	ホルダの動きが悪い。	ホルダシャフトのスプライン部に注油する。 (65 ページ参照)
	ベベルブラケットとホルダの狭持面にオイルが付着している。	オイルをふき取る。

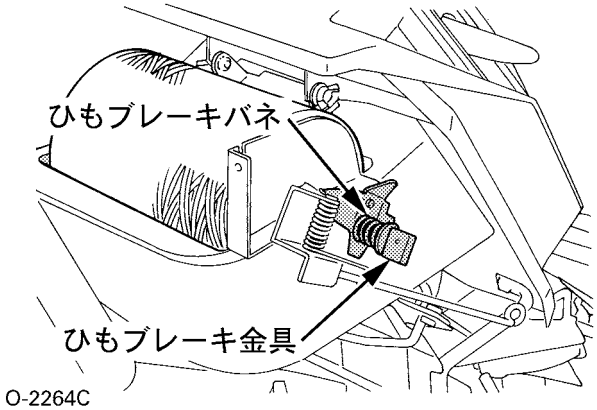
結束ミスの原因と処置



O-2484E



O-2501B



O-2264C

【SD】仕様（スイングデバイダ付き）のお客様へ

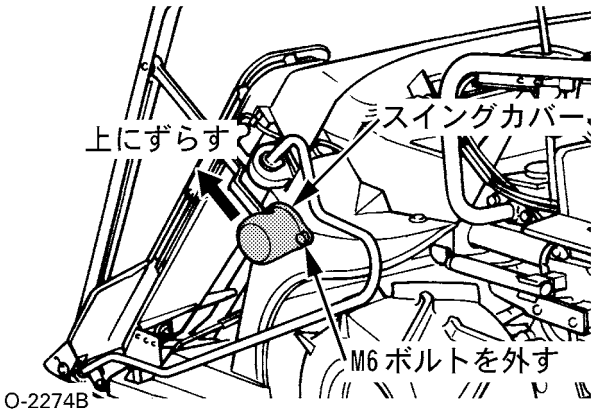
スイングデバイダの操作

注 意

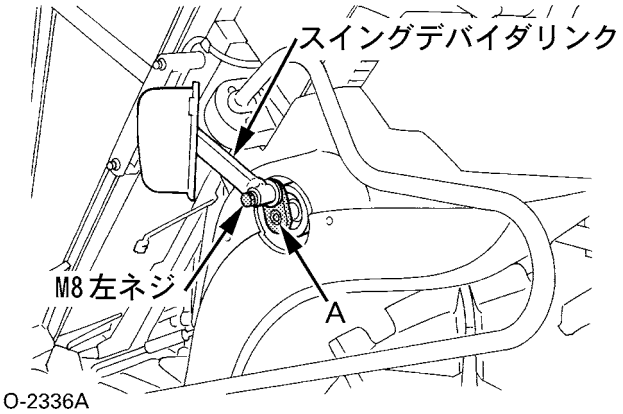
* スイングデバイダの作動を止める場合は，エンジンを止めて行なってください。
* スイングデバイダの作動時は，触れないでください。

スイングデバイダが上下に作動し，作物を分草しますので倒伏のひどい作物も楽に刈取れます。
条件の良い作物の刈取りでもスイングデバイダによる脱粒などはありません。
スイングデバイダの作動を止める場合は，次の要領で行なってください。

1. M6ボルト2本を外してスイングカバーを外し，上にずらしてください。



2. スイングデバイダリンクを取付けているM8左ネジ（**右に回すとゆるむ**）を外して，取付位置をA位置にしてください。



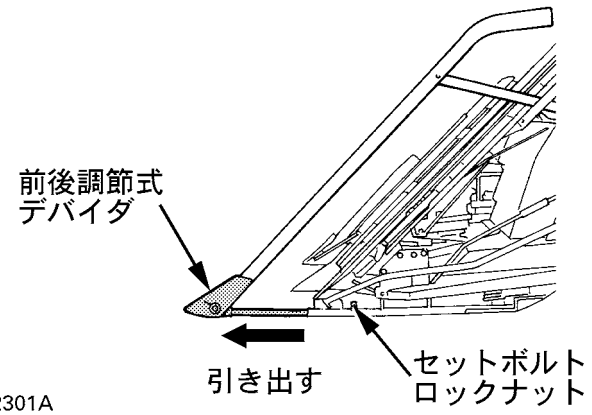
3. スイングカバーを取付てください。

前後調節式デバイダの操作

注 意

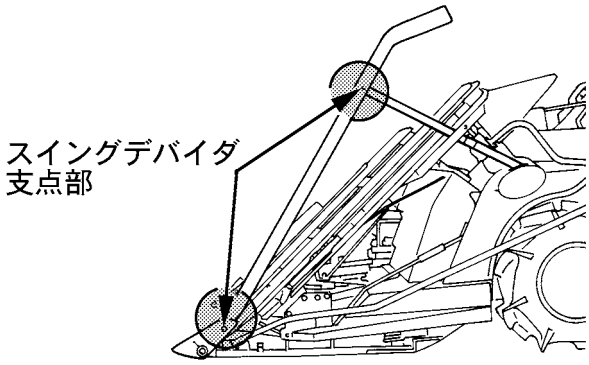
* ほ場間の移動時は必ず後方に収納してください。

デバイダ先端を前方に引出すことにより，機械前方から分草を行ないますので，スイングデバイダの働きと相まって更に分草の威力を発揮し，倒伏性能が向上します。
倒伏及びからみの激しい作物を刈取るときは前方に引出してください。
普通の作物（条件の良い作物）を刈取る場合は，収納した状態で行なってください。
調節は，デバイダのセットボルトをゆるめ，デバイダを前に出すとデバイダのストッパがセットボルトにあたりますので，あたりを確認後，ボルトを締め，ロックナットでロックしてください。



注油箇所

◆スイングデバイダ支点（上下２箇所）



O-2302A 改

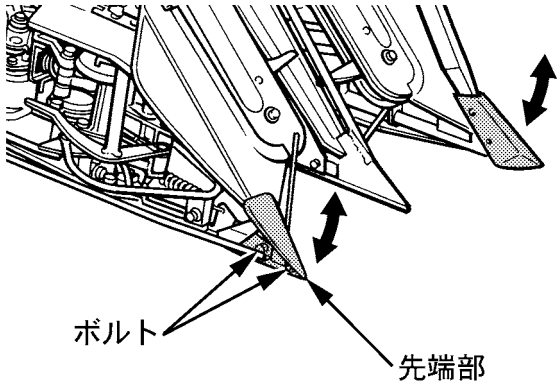
倒伏作物の刈り方

おすすめする刈り方は次の通りですが，作物の全長，倒伏方向，からみ状態，脱粒難易，ほ場条件などによっても異なりますので条件に合った刈り方を工夫してください。又，倒伏の激しい作物の刈取り，及び切れわらなどが多い場合は，エンジン回転を“🐢”（低速）で使用してください。

（〇印：おすすめする刈り方）

倒伏角度	ｽｲﾝｸﾞﾃﾞﾊﾞｲﾀﾞ	前後調節デバイダ		分草かん		主変速	
	作動	出	収納	左下	横	低速刈取	標準刈取
0～45度	〇		〇	〇	〇		〇
45度～60度	〇		〇	〇		〇	〇
60度以上	〇	〇		〇		〇	

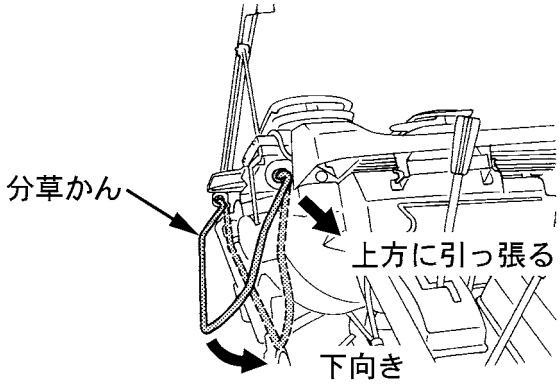
＊ 湿田や倒伏作物の刈取りなどでデバイダの先端部が地面より浮き上がり刈残しが発生する場合，又は先端部が地面に突込んだ場合は，デバイダ先端部を上下方向に調節してください。（左右共）



O-2300J

■分草かんの使い方

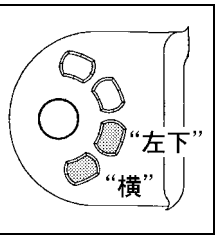
倒伏作物（特に右倒れ）を刈取る場合は，「横」または「左下」向に回動してください。



O-2306B

倒伏作物の刈り方

◆調節位置

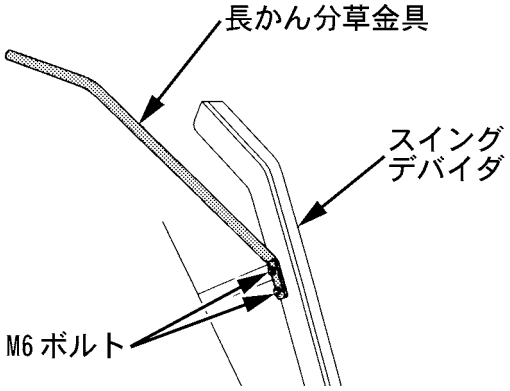
刈取り方法	分草かん調節位置	
1. 追い刈り	“横”又は“左下”	
2. 左倒伏刈り		
3. 向い刈り		
4. 右倒伏刈り		

重 要

＊ 倒伏の激しい場合（倒伏角度 45 度以上）は，刈取クラッチを“手動”で使用してください。
＊ 倒伏やからみのひどい場合は，オプション部品のトウフクブンソウカンも併せて使用してください。（78 ページ参照）

■長かん分草金具の使い方

長かんで倒伏した作物を刈取る場合に標準付属の長かん分草金具をスイングデバイダに M6 ボルト２本で取付けて使用してください。



O-2021A

【標準・D】仕様のお客様へ

結束ひもについて

注　意

＊ 結束ひもを通すときは，必ずエンジンを止めて行なってください。

＊ ニードルにひも通しワイヤを通すときは，“わら押え棒”に目があたらないよう注意してください。

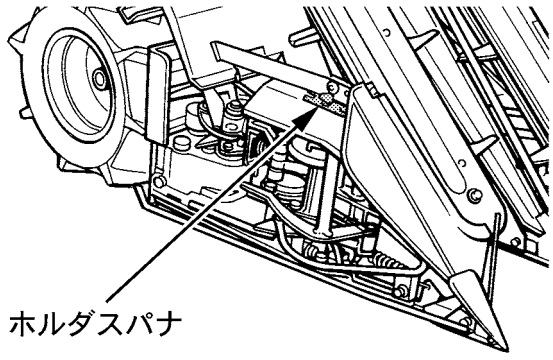
＊ ホルダに結束ひもを通すときは，搬送ベルト，パッカアーム，ニードル，放出アームなどの回転部分に触れないようにじゅうぶん注意してください。

■結束ひもの通し方

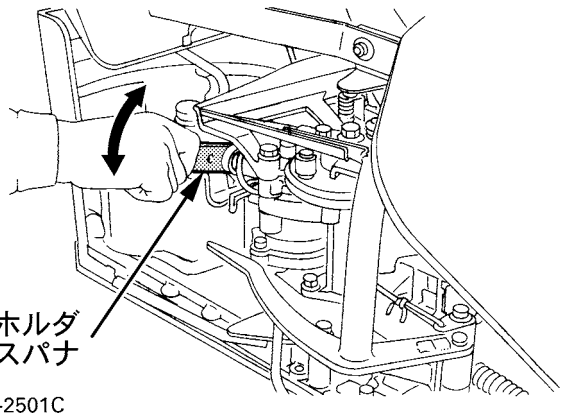
重　要

＊ ひもの通し方を間違うと，結束ミスがでたり，束の締まりがゆるくなります。

1. 結束ひもの種類によって，ホルダバネ圧を調節してください。
   調節は，付属のホルダスパナでホルダキャップを回して行ないます。



O-2300K

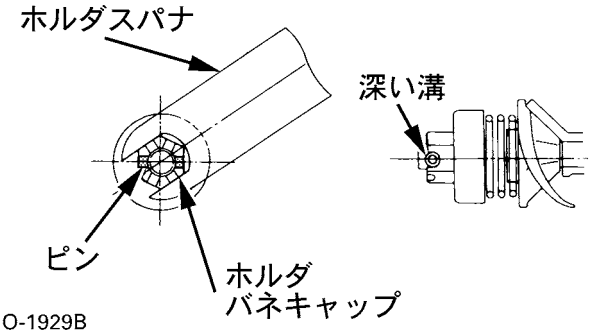


O-2501C

重　要

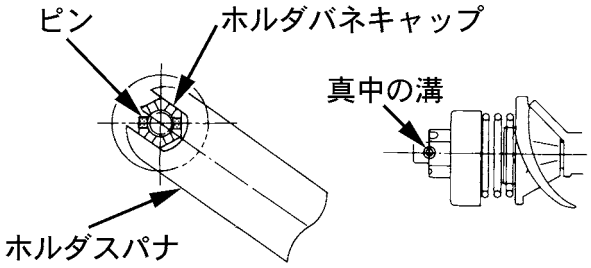
＊ 出荷時は，ジュートひも位置に合わせてあります。

(1)ジュートひもを使用するとき，
ピンと標準(深い溝)を合わす。



O-1929B

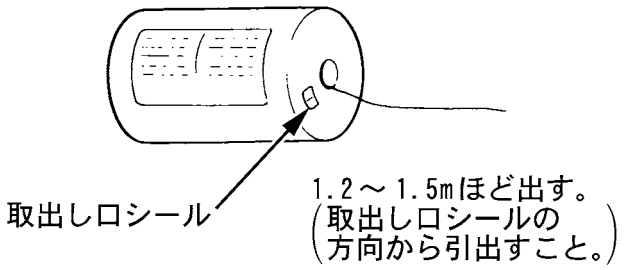
(2) 合成ひも(PPひも)／サイザルひも を使用するとき，
ピンと標準(真中の溝)を合わす。



O-1930B

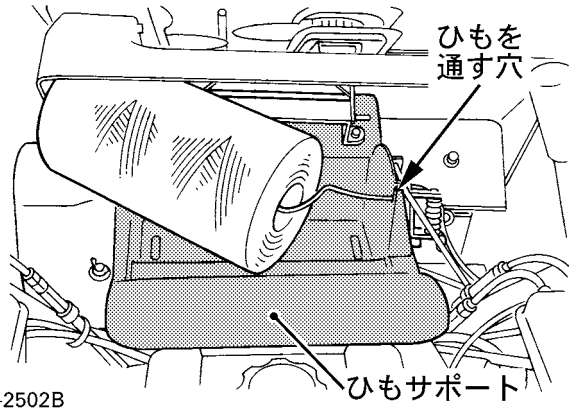
結束ひもについて

2. 結束ひもを取出し口シールの方向に1.2～1.5m ほど引出します。



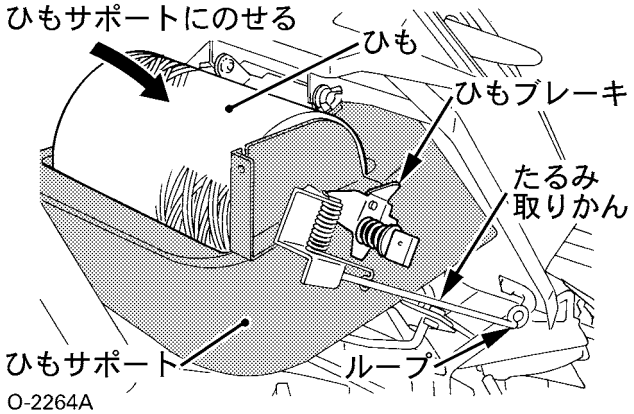
W-0006A

3. 結束ひもの先端を，ひもサポートの穴に通します。



O-2502B

4. ひもを，ひもサポートにのせます。
ひもの取出し側にすき間ができないようにのせてください。



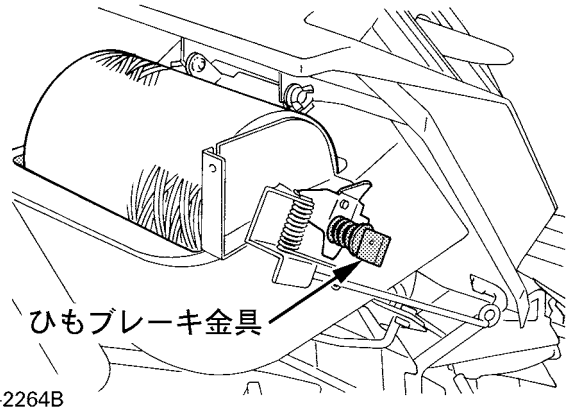
O-2264A

5. 結束ひもをひもブレーキと，たるみ取りかんのループに通します。

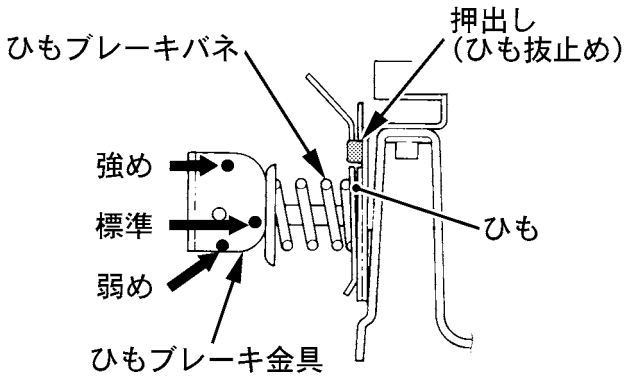
ひもの種類	ひもブレーキ金具の位置
ジュートひも 合成ひも（PP ひも） サイザルひも	“**標準**”位置

重　要

＊ ジュートひも・合成ひも（PP ひも）・サイザルひもとも通常はひもブレーキ金具を“**標準**”位置で使用してください。
＊ 束がしまりすぎるとひも切れの結束ミスが起こることがあります。そのときは，ひもブレーキ金具を“**弱め**”にセットしてください。



O-2264B



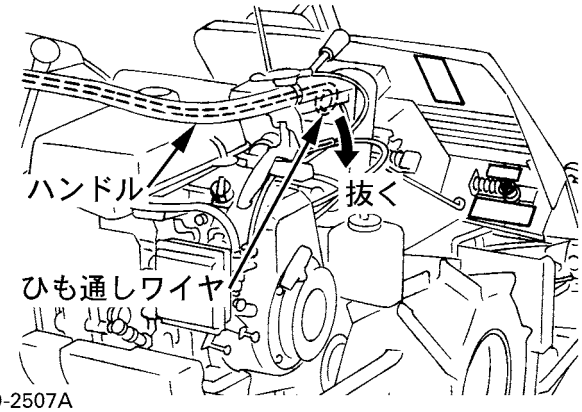
O-1980B

補　足

＊ ひもブレーキの“**押出し**”の下の位置にひもを通してください。

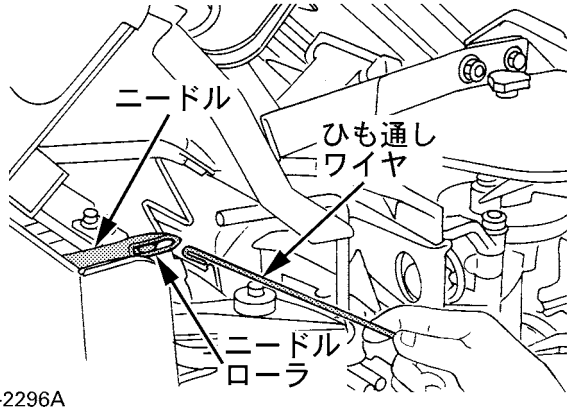
結束ひもについて

6. ひも通しワイヤをハンドルからとりだします。

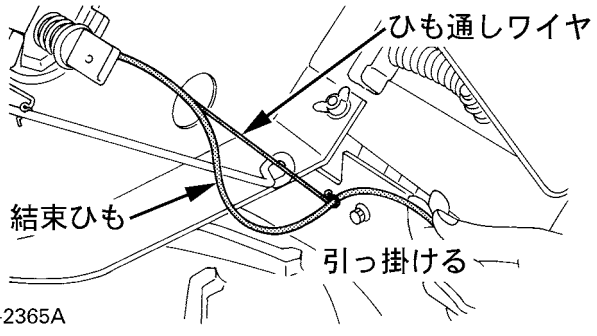


O-2507A

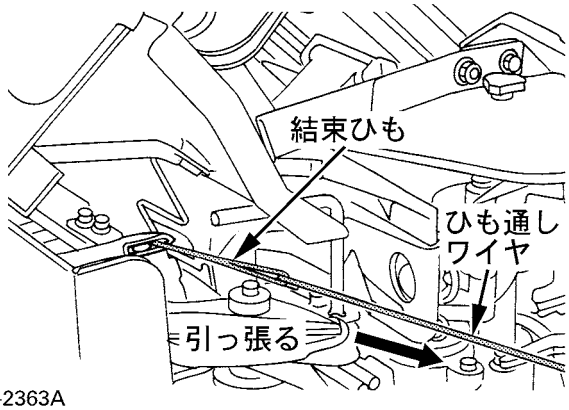
7. ひも通しワイヤをニードルローラの前側の穴よりひも通しパイプ内に入れて，その先端に結束ひもを引っ掛けて，ひも通しワイヤを引っ張り，ニードルまでひもを通します。



O-2296A

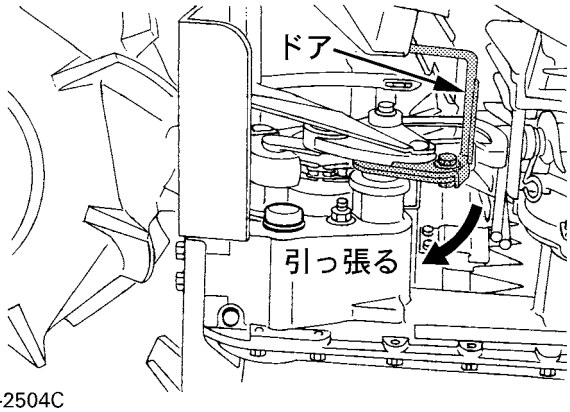


O-2365A



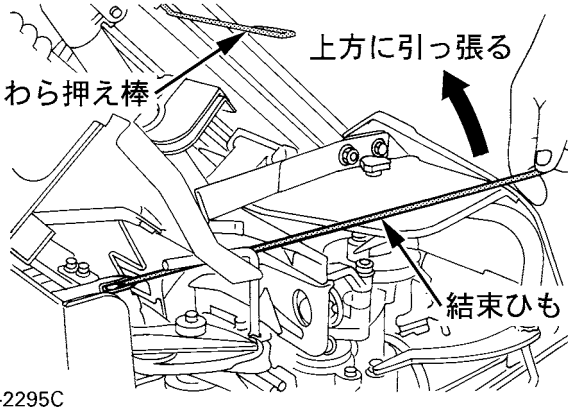
O-2363A

8. ドアを矢印の方向に“**カチッ**”と音がするまで引っ張ります。



O-2504C

9. エンジンを始動します。
10. 主変速レバーを“**N**”(中立)，刈取クラッチレバーを“**入**”にします。
11. ニードルまで通った結束ひもを片手でゆるまないように上方に引っ張りながらシャトルシフトレバーを“**前進**”に入れて結束部を作動させます。
    結束ひもを引っ張るときは“**わら押え棒**”に目があたらないよう注意してください。



O-2295C

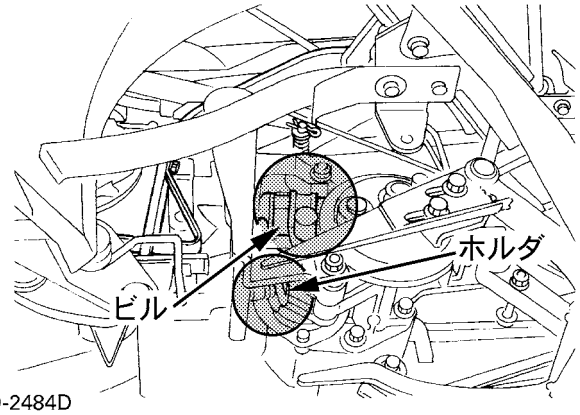
結束ひもについて

12. シャトルシフトレバーを“N”（中立）刈取クラッチレバーを“**停止**”にします。
13. 片手で持っていた結束ひもを引っ張り，ビルから抜取ります。(結束ひもを横方向に引っ張ると，容易に抜取れます。)

重 要

＊ 結束するとき，結束ひもを横方向，下方向に引っ張ると，ホルダバネ部に結束ひもが巻きついて結束しません。
＊ 空結束するときはエンジン回転は“🐢”（低速）で行なってください。

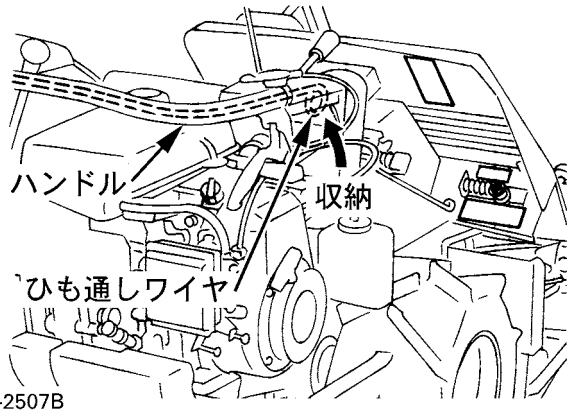
14. 結束ひもが，ホルダにしっかりつながっているか，確かめてください。



O-2484D

15. ひも通しワイヤは，ハンドルに収納してください。

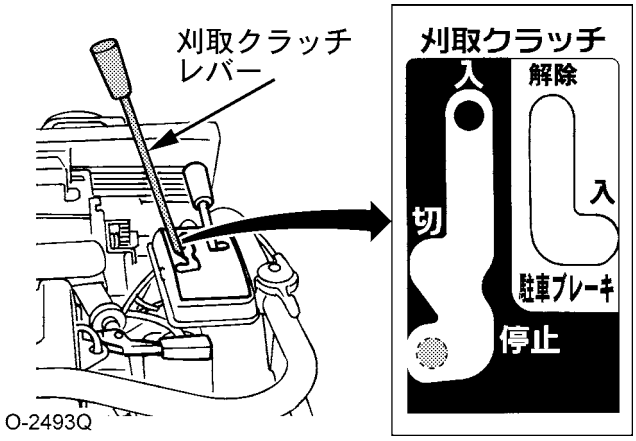
◆ひも通しワイヤ



O-2507B

刈取クラッチレバーの操作【標準】

刈取りを行なうときは，刈取クラッチレバーを“**入**”にし，旋回などで刈取部を止めるときは“**切**”にしてください。ほ場間の移動，運搬，エンジン始動及び長期格納のときは，刈取クラッチレバーを“**停止**”にしてください。



O-2493Q

付表

主要諸元

型式名			クボタRE55(２輪２条刈バインダー)								
商品名			RJN55	RJN55-S	RJN55-M	RJN55-D	RJN55-DS	RJN55-DM	RJN55-HD	RJN55-HDS	RJN55-HDM
機体寸法	全長(mm)		1770								
	全幅(mm)		795								
	全高(mm)		1070(シャトルシフトレバー)								
機体質量(乾燥)(kg)			145			147			150		
エンジン	型式名		クボタGR170-2-JA1						クボタGR170-2-JA2		
	種類		空冷４サイクル１気筒OHVガソリン								
	総排気量{L(cc)}		0.169(169)								
	出力/回転速度{kW(PS)/rpm}		2.6(3.6)/1500[最大4.4(6.0)]								
	使用燃料		自動車用無鉛ガソリン								
	燃料タンク容量(L)		2.4								
	始動方式		リコイルスタータ式(けいかるスタート，セーフティスタート)								
走行部	変速方式		選択かみ合い式(シャトルシフト付)								
	変速段数(段)		前進３，後進１								
	タイヤ	種類	広幅低ラグ	大径湿田	大径特殊低ラグ	広幅低ラグ	大径湿田	大径特殊低ラグ	広幅低ラグ	大径湿田	大径特殊低ラグ
		サイズ	18×9.0	(左)19×9.0 (右)19×11.0	19×11.0	18×9.0	(左)19×9.0 (右)19×11.0	19×11.0	18×9.0	(左)19×9.0 (右)19×11.0	19×11.0
	走行速度	前進(m/s)	0.56，0.83，1.47								
		後進(m/s)	0.53								
	駐車ブレーキ		有								
刈取部	刈取り条数		2								
	デバイダ先端間隔(mm)		600								
	刃幅(mm)		500								
	刈高さ範囲(mm)		40～60								
結束部	適用ひもの種類		ジュートひも，合成ひも(PPひも)，サイザルひも								
	束の大きさ調節段数(段)		4								
その他の装置			——			集中注油， 自動刈取クラッチ			集中注油，自動刈取クラッチ 自動ひも通し		
適応作物			稲・麦								
適応作物全長(mm)			550～1200								
倒伏適応性(度)			左倒伏，追刈85，右倒伏，向刈60								
作業能率(計算値)(分/10a)			40～55								
安全鑑定番号			——								

■自動刈取クラッチ【D・HD・SD】

方式	機械式，作物感知
センサ	株元感知
操作	“手動”，“自動”，“停止”，切換え式

性能	感知範囲	1株10本以上
	倒伏感知範囲(倒伏角度)	0～45度
	湿田性能	半湿田まで
	湿田,又は45度以上の倒伏は“手動”で使用する	

付表

主要諸元

型式名			クボタRE55(２輪２条刈バインダー)		
商品名			RJN55 -SD	RJN55 -SDS	RJN55 -SDM
機体寸法	全長(mm)		1800		
	全幅(mm)		810		
	全高(mm)		1070(シャトルシフトレバー)		
機体質量(乾燥)(kg)			156		
エンジン	型式名		クボタGR170-2-JA2		
	種類		空冷４サイクル１気筒OHVガソリン		
	総排気量{L(cc)}		0.169(169)		
	出力/回転速度{kW(PS)/rpm}		2.6(3.6)/1500[最大4.4(6.0)]		
	使用燃料		自動車用無鉛ガソリン		
	燃料タンク容量(L)		2.4		
	始動方式		リコイルスタータ式(けいかるスタート，セーフティスタート)		
走行部	変速方式		選択かみ合い式(シャトルシフト付)		
	変速段数(段)		前進３，後進１		
	タイヤ	種類	広幅低ラグ	大径湿田	大径特殊低ラグ
		サイズ	18×9.0	(左)19×9.0 (右)19×11.0	19×11.0
	走行速度	前進(m/s)	0.56，0.83，1.47		
		後進(m/s)	0.53		
	駐車ブレーキ		有		
刈取部	刈取り条数		2		
	デバイダ先端間隔(mm)		600		
	刃幅(mm)		500		
	刈高さ範囲(mm)		40～60		
結束部	適用ひもの種類		ジュートひも，合成ひも(PPひも)，サイザルひも		
	束の大きさ調節段数(段)		4		
その他の装置			集中注油，自動刈取クラッチ 自動ひも通し，スイングデバイダ		
適応作物			稲・麦		
適応作物全長(mm)			550～1200		
倒伏適応性(度)			左倒伏，追刈85，右倒伏，向刈60		
作業能率(計算値)(分/10a)			40～55		
安全鑑定番号			——		

■自動刈取クラッチ【D・HD・SD】

方式	機械式，作物感知
センサ	株元感知
操作	“手動”，“自動”，“停止”，切換え式

性能	感知範囲	1株10本以上
	倒伏感知範囲(倒伏角度)	0～45度
	湿田性能	半湿田まで
	湿田,又は45度以上の倒伏は“手動”で使用する	

付属部品

次の部品が付属していますのでお調べください。

＊保証書
＊取扱説明書
＊製品取扱エフ
＊本機カバー
＊長かん分草金具【SD】
＊工具
　工具袋
　プラグレンチ
＊油差し
＊じょうご
＊チューブ

クボタ純正オイル

オイルは クボタ純オイル をお使いください

オイルはバインダーの開発研究から生まれたクボタ純オイルをお使いください。
市販のオイルをご使用にりますと，あなたの大切なバインダーの寿命を縮めることがあります。

お買求めは，購入先へご用命ください。

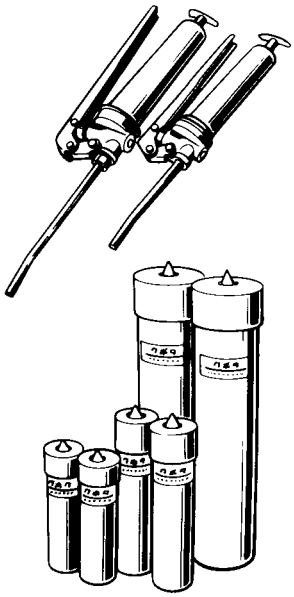
● クボタ純オイルスーパー G 10W-30
（ガソリン・灯油エンジン用）

Z-1022A

● M90（一般ミッション・各ギヤ用）

Z-1023A

● クボタスペアグリース



Z-1026A

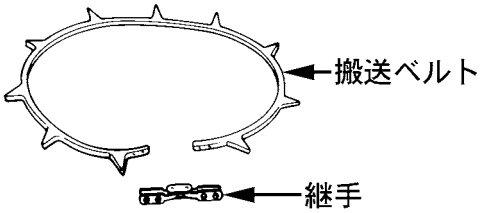
アタッチメント

このバインダーには，次のアタッチメントがありますので，購入先にてお求めの上ご使用ください。

■搬送ベルト

ベルトの突起が摩耗してくると作物の搬送が悪くなりますので，定期的に交換してください。

品　　名	品　　番	適応区分
ベルト，キット (ハンソウ，ウエ)	5A026-9710-1	全型式

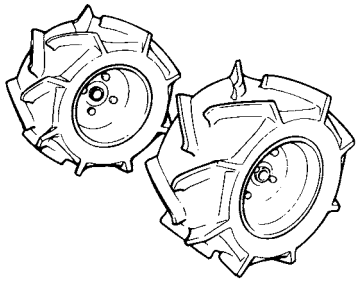


O-0777A

■車輪

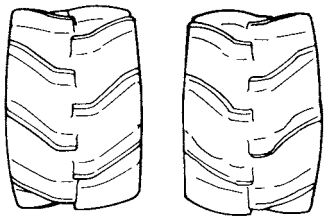
1．広幅タイヤ
(**【標準】**には，標準装備されています。)

品　　名	品　　番	適応区分
タイヤ，アッシ (ヒロハバ･セット)	5A060-2301-1	**【標準】**を除く全型式



O-0620B

2．大径湿田タイヤセット
(**【S】**には標準装備されています。)

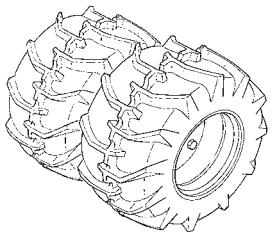


O-0247B

品　　名	品　　番	適応区分
タイヤ，キット (ダイケイシツデン)	5A062-2301-1	**【S】**を除く全型式

3.大径特殊低ラグタイヤ
(**【M】**には標準装備されています。)

品　　名	品　　番	適応区分
タイヤ，キット (マッドレス)	5A061-2300-1	**【M】**を除く全型式



O-2333B

■株元払いかん

作物条件で束の放出状態が悪く，タイヤが束の株元を踏むときは，長い払いかんと交換してください。

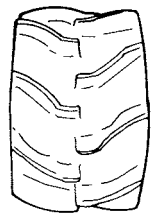
品　　名	品　　番	適応区分
ガイド (ホウシュツカブ)	5A051-6751-1	全型式

アタッチメント

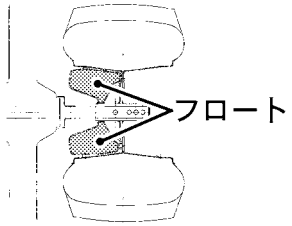
■ホイール，キット（S. フロート）

左右タイヤホイールの内側に装着し，ホイール内への土泥の溜りを防止します。
（【DS・HDS・SDS】には，標準装備されています。）

品　　名	品　　番	適応区分
ホイール，キット（S. フロート）	5A025-9340-1	【S】



O-0247A

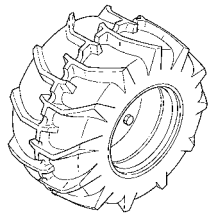


O-2337A

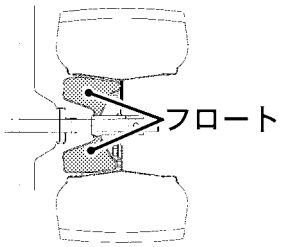
■ホイール，キット（M. フロート）

左右タイヤホイールの内側に装着し，ホイール内への土泥の溜りを防止します。
（【DM・HDM・SDM】には，標準装備されています。）

品　　名	品　　番	適応区分
ホイール，キット（M. フロート）	5A027-9340-1	【M】



O-2333A

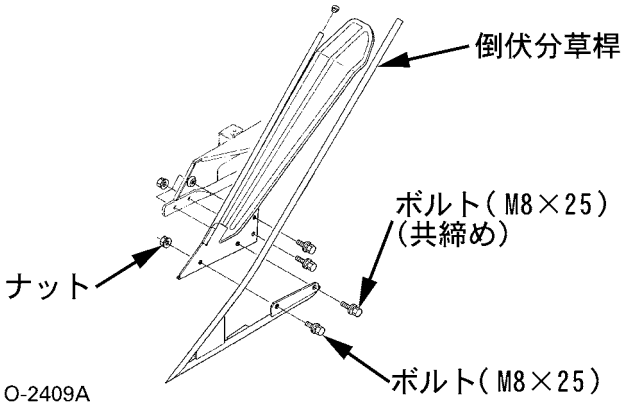


O-2338A

■倒伏分草桿

倒伏作物の引起し性能を向上します。

品　　名	品　　番	適応区分
デバイダ，キット（トウフク）	5A066-9610-1	全型式

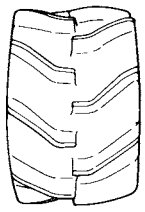


O-2409A

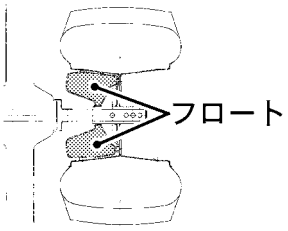
■ホイール，キット（WH. フロート）

左右タイヤ，ホイールの内側に装着し，ホイール内への土泥の溜りを防止します。

品　　名	品　　番	適応区分
ホイール，キット（WH. フロート）	5A026-9340-1	広幅低ラグタイヤ仕様



O-0620A



O-2337A

アタッチメント

■ひも通しワイヤ

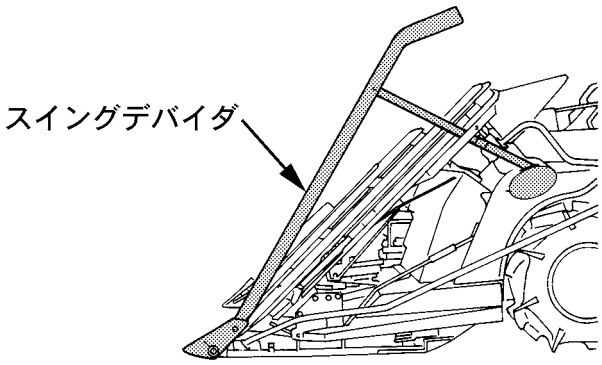
ひも通しパイプの中に異物が入ってパイプが詰まったり，バルブの故障などで自動ひも通しが使えない場合に使用してください。（**【標準・D】**には標準装備されています。）

品　　名	品　　番
ワイヤ（ヒモトオシ）	5A020-5122-4

■デバイダ，キット（スイング）

倒伏のひどい作物も，上下に運動し作物を分草します。（**【SD】**には，標準装備されています。）

品　　名	品　　番	適応区分
デバイダ，キット（スイング）	5A099-9980-1	**【SD】**を除く



O-2302B改

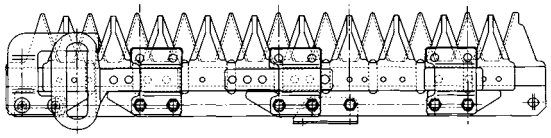
■センサキット

作物の有無を感知し，自動的に刈取部の作動を断続します。

（**【D・HD・SD】**には，標準装備されています。）

品　　名	品　　番	適応区分
センサ，キット	5A026-9960-1	**【標準】**

■セツダンバアッシ（5A066-5530-4）



O-2335C改

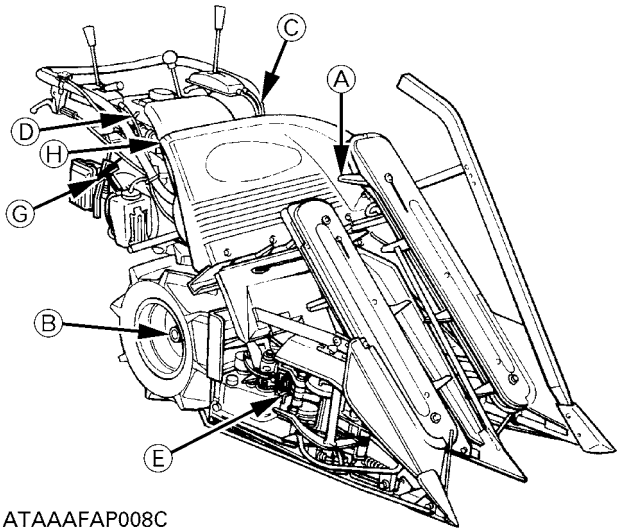
付表

アタッチメント

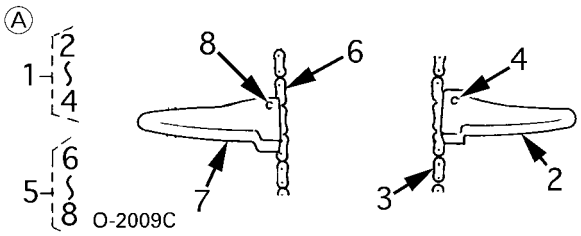
◆アタッチメント一覧表

No.	品　　名	品　　番	適用区分				備　考
			【55】				
			【標準】	【D】	【HD】	【SD】	
1	タイヤ，アッシ(ヒロハバ，セット)	5A060-2301-1	○	○	○	○	２輪２条用車輪
2	タイヤ，キット(マッドレス)	5A061-2300-1	○	○	○	○	
3	タイヤ，キット(ダイケイシツデン)	5A062-2301-1	○	○	○	○	
4	ホイール，キット(M.フロート)	5A027-9340-1	○	○	○	○	マッドレスタイヤ用
5	ホイール，キット(S.フロート)	5A025-9340-1	○	○	○	○	ダイケイシツデンタイヤ用
6	ホイール，キット(WH.フロート)	5A026-9340-1	○	○	○	○	ヒロハバテイラグタイヤ用
7	デバイダ，キット(トウフク)	5A066-9610-1	○	○	○	○	長桿倒伏作物刈取用
8	デバイダ，キット(スイング)	5A099-9980-1	○	○	○	－	
9	セツダンバ，アッシ	5A066-5530-4	○	○	○	○	切断刃交換用
10	ガイド(ホウシュツカブ)	5A051-6751-1	○	○	○	○	
11	ベルト，キット(ハンソウ，ウエ)	5A026-9710-1	○	○	○	○	
12	ワイヤ(ヒモトオシ)	5A020-5122-4	○	○	－	－	
13	センサ，キット	5A026-9960-1	○	－	－	－	
14	ランプ，キット	5A096-9940-1	○	○	○	○	

主な消耗部品一覧表

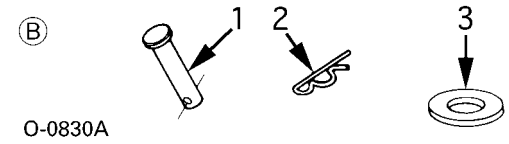


1ATAAAFAP008C



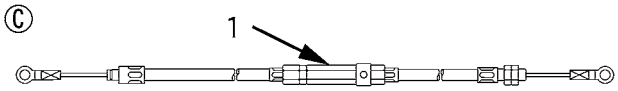
O-2009C

図番	品　　名	品　　番	個数
1	チェーンアッシ (ミギ, ヒキオコシ)	50080-5380-1	1
2	引起し爪	50140-5381-3	6
3	チェーン (ミギ, ヒキオコシ)	50080-5382-1	1
4	引起し爪ピン	50140-5383-1	6
5	チェーンアッシ (ヒダリ, ヒキオコシ)	50080-5390-1	1
6	チェーン (ヒダリ, ヒキオコシ)	50080-5392-1	1
7	引起し爪	50140-5381-3	7
8	引起し爪ピン	50140-5383-1	7

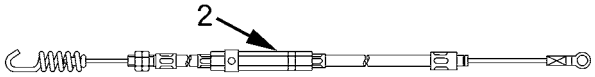


O-0830A

図番	品　　名	品　　番	個数
1	車軸ピン	50530-1517-2	2
2	スナップピン	05516-51000	2
3	平座金	04011-50100	2



O-2534A

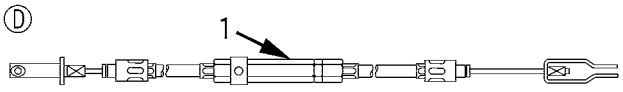


O-2535A

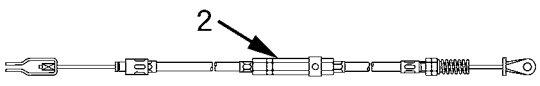
図番	品　　名	品　　番	個数
1	ケーブル (シュクラッチ)	5A026-3216-4	1
2	ケーブル (シャトル)	5A026-3224-4	1

◆樹脂部品

品　　名	品　　番	個数
カンショウゴム	50140-6723-2	1
ハネ（カイテン，シタ）	5A026-6458-2	1
ハンソウカイテンハネ	50840-5146-1	1
ハネ（1，カイテン）	50080-5731-1	1



O-2536A

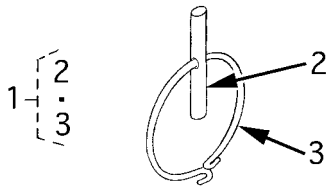


O-2537A

図番	品　　名	品　　番	個数
1	ケーブル (カリトリクラッチ)	5A026-3236-5	1
2	ケーブル (ブレーキ)	5A026-3251-2	1

主な消耗部品一覧表

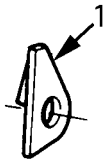
◆安全ピン



O-2412A

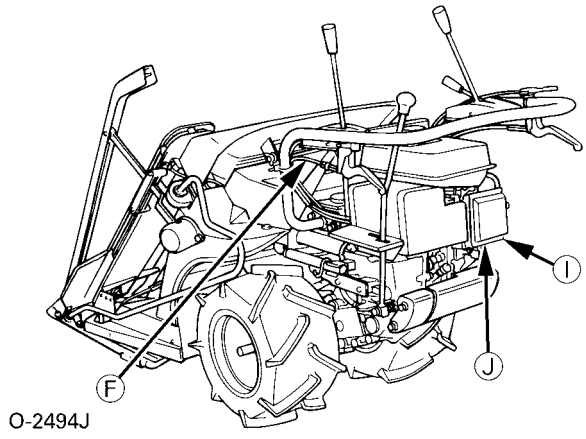
図番	品　　名	品　　番	個数
1	ピン，アッシ	5A026-1750-2	1
2	ピン	5A026-1789-3	1
3	クランプ	5A026-1773-1	1

Ⓔ



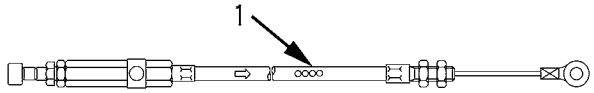
O-0828A

図番	品　　名	品　　番	個数
1	ナイフ（ヒモ）	50080-6338-1	1



O-2494J

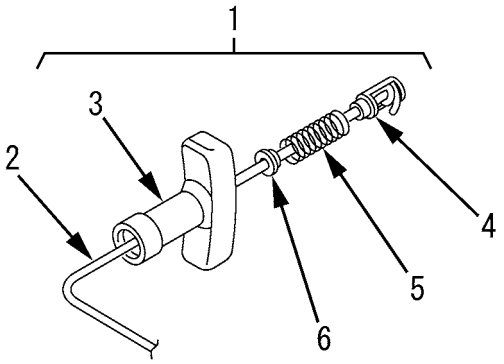
Ⓕ



O-2538A

図番	品　　名	品　　番	個数
1	ケーブル (ソウコウ)	5A026-3351-3	2

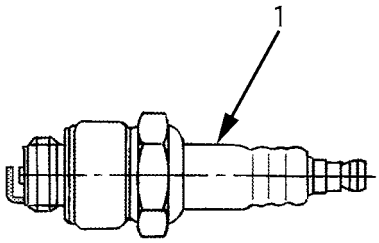
Ⓖ



1ATAAAEAP042A

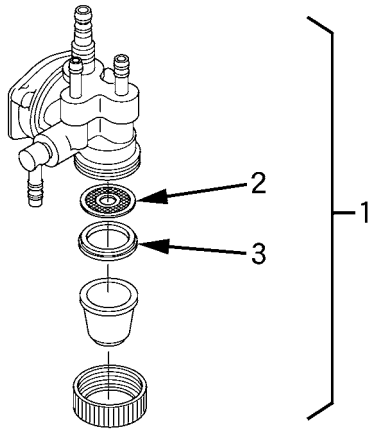
図番	品　　名	品　　番	個数
1	ロープ，アッシ (スタータ)	EG016-6109-2	1
2	ロープ	EG926-6165-1	1
3	ノブ（スタータ）	EG016-6166-1	1
4	リテーナ (1，スタータノブ)	EG016-6167-1	1
5	スプリング (スタータノブ)	EG016-6169-1	1
6	リテーナ (2，スタータノブ)	EG016-6168-1	1

主な消耗部品一覧表



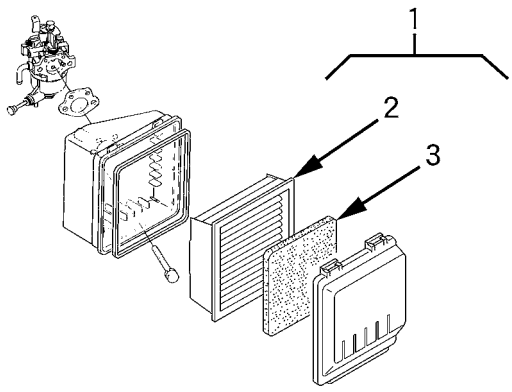
1AKACAIAP170E

図番	品　　名	品　　番	個数
1	スパークプラグ	13901-6771-2	1



1AKACAYAP145A

図番	品　　名	品　　番	個数
1	コック，アッシ (フューエル)	E2314-4301-3	1
2	フィルタエレメント	E6155-4316-1	1
3	パッキン	12123-4314-1	1



1APAAADAP041C

図番	品　　名	品　　番	個数
1	エレメント，アッシ	E2155-1121-2	1
2	エレメント (AC511)	E2155-1118-2	1
3	ウレタンエレメント	12812-1122-1	1

■結束ひも

ひもの種類	品　　番	品　　名	製　造　元	ひも 1 巻きでの刈取り面積（中束で）
ジュートひも	50080-9441-1	ヒモ(ジュート･テザック)	(株) テザック	約 12 アール
	50080-9442-1	ヒモ(ジュート･コイズミ)	小泉製麻 (株)	
合成ひも (PP ひも)	50080-9412-1	ヒモ(フィルム･コイズミ)	小泉製麻 (株)	約 15 アール
	50080-9421-1	ヒモ(ハッポウ･テザック)	(株) テザック	
	50080-9422-1	ヒモ(ハッポウ･コイズミ)	小泉製麻 (株)	
	50080-9423-1	ヒモ (ハッポウ・ツカサ)	司化成工業 (株)	
	50080-9424-1	ヒモ(ハッポウ･ダイニチ)	大日製缶 (株)	
サイザルひも	50080-9431-1	ヒモ(サイザル･テザック)	(株) テザック	約 12 アール

修理・取扱い・手入れなどでご不明の点は まず，購入先へ ご相談ください

おぼえのため，該当する項目に記入されると便利です

購入先名 担当 電話番号（　　）　　－		型式名 区分 車台番号（製造番号） エンジン型式 エンジン番号
ご購入日	キーナンバー	その他装着型式 機械番号

※ご記入の際には、サービスと保証のページをご参照ください。
なお、型式により該当しない記入項目もあります。

ご購入先でご不明の点がございましたら，下記にお問合わせください。

クボタアグリサービス株式会社

秋田事務所：電(018)845-1601	〒011-0901	秋田市寺内字大小路207-54
仙台事務所：電(022)384-5162	〒981-1221	宮城県名取市田高字原182－1
東京事務所：電(048)862-1124	〒338-0832	さいたま市桜区西堀５－２-36
新潟事務所：電(025)285-1261	〒950-0992	新潟市中央区上所上１-14-15
金沢事務所：電(076)275-1121	〒924-0038	石川県白山市下柏野町956－1
名古屋事務所：電(0586)24-5111	〒491-0031	愛知県一宮市観音町１－１
大阪事務所：電(06)6470-5850	〒661-8567	兵庫県尼崎市浜１－１－１
岡山事務所：電(086)279-4511	〒703-8216	岡山市東区宍甘275
米子事務所：電(0859)39-3181	〒689-3547	鳥取県米子市流通町430-12
福岡事務所：電(092)606-3161	〒811-0213	福岡市東区和白丘１－７－３
熊本事務所：電(096)357-6181	〒861-4147	熊本市南区富合町廻江846－1
株式会社北海道クボタ本社：電(011)661-2491	〒063-0061	北海道札幌市西区西町北16－１－１
株式会社四国クボタ本社：電(087)874-8500	〒769-0102	香川県高松市国分寺町国分字向647－３

株式会社クボタ

国内農機カスタマーセンター：電(072)241-1375	〒590-0823	大阪府堺市堺区石津北町64

RJN55
AT．G．9-15．3．AK

Kubota

安全宣言

安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者が一体となって安全宣言を行うための統一マークです。

LEMA
陸内協排出ガス自主規制適合

このラベルは「(社)日本陸用内燃機関協会排出ガス自主規制適合エンジン」であることを示しています。

株式会社クボタ
〒556-8601
大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

品番　5A096-8181-2